

利ノ廣狹ニ付テノミ擔保人タリ

賣主ノ爲ノ會社ノ前來ノ行爲ヨリ生シテ既ニ賣主ノ利益トシ又ハ其負擔トシテ清算セラレタル權利及ヒ義務ハ買主ヲ利セス又之ヲ害セス

(栗坂)本條ハ報告委員ニテ商事會社ニ於テトアルヲ商事會社ニ於ケルトシ亦ノ字ヲ刪レリ(村田)本條ハ會社ヲ區別セス單ニ會社トスルヲ可トスルニアラスヤ(南部)此ニ特定又ハ包括ト云ヘルヲ示スモ敢テ不都合ナシ(松岡)清算セラレタル權利及ヒ義務ハ買主ニ關係ナキハ勿論ナリ(尾崎)關係ナキハ勿論ナルモ此ノ如キ場合ヲ示シテモ不都合ナシ(委員長)特定會社又ハ包括會社ト云フモ最初會社ヲ設立スル際特定會社又ハ包括會社ト唱フヘキ名稱アラサルベシ(栗坂)然リ會社設立ニ就キ其性質ヲ持シタルモノナリ特定會社ト云フハ出資金ヲ定置シタ

ルモノヲ云ヒ包括會社トハ出資金ヲ安置セス自己ノ取得ハ一切其社ノ資金ニ供スルモノトスルヲ云フ(松岡)特定又ハ包括ノ民事又ハ商事會社ト云フハ民事上ノ特定包括商事上ノ特定包括會社ト云フ義ナリヤ(栗坂)此點ハ其區別ヲ云フニアラズ只資金ノ定限アルト否トノ差ヲ云フモノナリ(松岡)然ラバ商事上ニテハ殆ント包括會社ノ組織ナカルベシ包括會社ハ夫婦共働又ハ家族共働ト云フ姿ニ同シキモノナリ(南部)熟考スルニ特定包括ノ文字ナキヲ却テ宜シトスルカ如シ(清岡)商法ニ於テハ清算セラレタル買主ハ第三者ニ於ケル實ヲ免ルルヲ得サル場合アリ(委員長)商法ニ於テハ會社解散後第三者ヨリ元ノ社員ニ對抗スルヲ得ルト云フ事アルモ買者ハ其義務ヲ負擔スルモノニアラズ(南部)個ハ清算セラレサルモノハ買主ヲ害スルト云フ裏面アルモ商法ニ於テハ清算セラレサルモノト雖モ買者ヲ害ス

ル事ナキヲ以テ抵觸ノ嫌ヒアルヲ免レス（栗塚）商法ニ於テ別ニ時効ヲ規定シタルハ即チ例外ヲ示シタルモノナルベシ（清岡）起案者ハ商法ノ此ノ關係點ヲ知ルヤ（栗塚）悉クハ起案者其點ヲ了知セザルベシト雖モ必ラズ抵觸ノモノニアラザルベシ（委員長）個ハ尙ホ調査ニ附スベシ其議ニ決ス（松岡）特定包括云々ハ村田委員ノ説ノ如ク之ヲ除去スルモ可ナリト思惟ス（委員長）此點ハ第七百六十四條ニ於テ採否ヲ議スベシ第七百十條 前記ノ總テノ場合ニ於テ賣買力「擔保ナク又ハ何等ノ擔保モナク」爲サレタル事ヲ合意シタルトキト雖モ若シ買主カ追奪セラレタルニ於テハ賣主ハ代價ヲ返還スルノ責ニ任ス但買主カ同時ニ追奪ノ危險ヲ知りタルトキハ此限ニ在ラスシテ此場合ニ於テハ賣主ハ此返還ヲモ負擔セス 總テノ場合ニ於テ若シ賣買力「買主ノ危險及ヒ危難ニテ」爲サレ

タルトキモ亦同シ

然レトモ如何ナル場合ニ於テモ又如何ナル要約ニ依ルモ賣主ハ賣買ノ前又ハ後ニ已レノ付與シタル權利ヨリ生スル妨礙又ハ追奪ノ擔保ヲ免カル、事ヲ得ス

（栗塚）本條ハ起案者第一項ノ但買主カ同時ニトアルヲ但買主カ賣買ノ時ヨリトシ第二項ハ「總テノ場合ニ於テ若シ」ト云フ數字ヲ刪リ賣主ハト云フヲ挿入シ「爲サレタルトキモ亦同シ」トアルヲ爲サレタル事ノミニ因リ亦代價ノ返還ヲ免カルトシ第三項「又如何ナル」ノ下へ約定又ハト云フヲ挿入セリ報告委員ニ於テハ第一項「此限ニ在ラスシテ此場合ニ於テハ」ト云フヲ刪レリ（松岡）此限リニ在ラスト云フヲ存置シ賣主ハ此返還ヲモ負擔セスト云フヲ刪除シテハ如何（栗塚）「チモ」ト云フ語詞ハ斯ニ緊要ナルヲ以テ之ヲ存置シタシ（南部）括弧ハ除去スベ

シ（松岡）賣買力擔保ナク又ハ何等ノ擔保モナクトアルハ重複ナルヲ以テ單一ニシタシ（委員長）擔保ナクシテトスベシ可決ス（委員長）賣買力爲サレタル事ヲ合意シタルトキト云フハ爲サレタルモノニ合意ヲ要セサルニアラスヤ（南部）爲サレタル賣買力合意ニテアリシヲ云フナリ（委員長）爲サレタルト云フハ過去ニ屬スルヲ以テ爲サルベキヲ合意シタルトキトシテハ如如（西）爲サレタルト云フハ現在ニシテ爲ス事ヲト云ヘバ未來ニ屬スル詞ナリ（村田）爲サルル事ヲ合意シタルトキトシテハ如何（栗塚）賣買力擔保ナクシテ爲ス事ヲ合意シタルトキトスベシ可決ス（南部）第二項ハ賣主ハ賣買力買主ノ危険ニテ爲シタルトシタシ（栗塚）危険ト云ヒ危難ト云フハ異味アル文字ニアラス只西洋文ノ熟語ナルヲ以テ別記シタルモ個ハ危険ノミニシテ不都合ナシ即チ賣買力買主ノ危険ニテ爲シタルトセリ（

松岡）付與シタル權利ヨリ生スルト云フハ如何（南部）付與シタル權利ヨリ他ヲ妨礙スル事ノ生スルヲ云フナリ（清岡）他人ノ所有物ヲ賣附シタルトキヲモ包含スベシ（南部）否ラス約定又ハ要約トアルヲ以テ第三者アルヲ想像シタルモノナリ（松岡）第三者ノ文字ヲ挿入シタシ可決シテ前又ハ後第三者ニトシ己レノト云フヲ删除セリ

第七百十一條 賣主カ買主ノ追奪ヨリ生スル自己ノ義務ノ全部又ハ一分ヲ買主ノ惡意ノ故ヲ以テ免カレント主張スルトキハ賣ラレタル物ニ關スル所爲ヲ第三者ノ利益ノ爲メ登記シアリト雖モ其登記ハ買主ノ賣買ノ前ニ帳簿保管人ノ保證書ニ依リ又ハ其他ノ方法ニテ右ノ所爲ヲ知りタル直接ノ證ヲ供スルノ責ヲ賣買ニ免カレシメス

（栗塚）本條ハ報告委員ニテ賣主カ擔保義務ノ全部又ハ一分ヲ

買主ノ悪意ノ故ヲ以テ免カレント主張スルトキハ賣ラレタル物ニ關スル所爲ヲ第三者ノ利益ノ爲ノ登記シアリト雖モ其登記ノミニテハ買主ノ悪意ヲ證スルニ足ラズ尙ホ賣主ハ買主力賣買ノ前ニ帳簿主管人ノ保證書ニ依リ又ハ其他ノ方法ニテ右ノ所爲ヲ知リタル直接ノ證ヲ供スル事ヲ要スト修正セリ(松岡)全部又ハ一分ハ所有權ノ全部又ハ一分ト云フ譯カ(栗塚)擔保義務ノ全部又ハ一分ヲ云フ(松岡)惡意ト云フハ通言ニアラズヤ何トナレバ只其事情ヲ悉知シタルニ過キサレハナリ(栗塚)知レル以上ハ惡意ナリ惡意ト云フモ必ラズ惡事ヲ爲スト云フニアラサルナリ(村田)擔保義務ト云ハス買主ノ受ケタル追奪ヨリトスルカ買主力追奪セラルルトカシタシ追奪セラレタルニ付キ惹起スル義務ニシテ追奪以前ニ關スルモノニ非ラス故ニ擔保義務ト云フヨリ追奪ヲ受ケタルニ付キ生スル義務ト云フヲ勝レリトス

(栗塚)擔保義務ニアラズ擔保ノ義務ト云フ修正ナリ(松岡)追奪セラレサル以前ト雖モ追奪ノ惡意アル場合ヲモ見サルニアラズ(栗塚)買者其物ヲ購買セントスル場合ニモ生出スベキ問題タルベシ

第七百十二條 第四百十九條及ヒ第四百二十條ハ附帶ノ擔保ニ於ケル賣主ノ召喚及ヒ追奪ヲ受ケタル買主其擔保人ヲ訴訟ニ參カラシメサル爲メ買主ノ失權ニ之ヲ適用ス

(栗塚)本條ハ丙者或ル不動産ヲ甲某ヨリ買受ケシトキ乙者其賣買ニ故障シ丙者買受ケシ不動産ノ權利ヲ失フタル事アラン此場合ニ當テ訴訟上丙者ハ乙者ノ參加ヲ要求セサルトキハ爾後乙者ニ對抗スルヲ得サルナリ(松岡)附帶ノ擔保ト云フモ訴訟手續ノ上ニ關スルモノニシテ擔保其性質ニ附帶ノモノアリト云フニアラザルベシ(栗塚)然リ主タル擔保ノ訴ヘト云フト訴訟物ニ

附屬シタル場合トノ差アリ（委員長）適用スト云ヘルハ追奪ニ  
之ヲ適用スト云フ譯カ（栗塚）然リ

第三款 買主ノ義務

第七百十三條 買主ハ合意シタル時期ニ於テ代價ヲ辨済スル事ヲ要  
ス又此事ニ付キ特別ノ合意ナキトキハ引渡ノ當時ニ於テ之ヲ辨済  
スル事ヲ要ス

引渡ヲ遅延スル合意ハ當事者ノ意思ニ關ヒ代價ノ辨済ヲ暗ニ遅延  
スルモノト推定セラル

若シ賣主カ引渡ノ爲メノ恩惠期間ヲ裁判所ヨリ得タルトキハ買主  
ハ代價辨済ノ爲メ同一ノ期間ヲ享有ス

之ニ反シテ代價辨済ノ爲メ許與セラレタル恩惠期間ハ引渡ニ延及  
ス

（村田）之ニ反シテト云フハ如何（松岡）之ニ反シテト云フハ

又ト云フニ修正スベシ可決ス

第七百十四條 合意セラレタル場所ナキトキハ辨済ハ有體動産物ニ  
關シテハ引渡カ爲サル場所ニ於テ之ヲ爲シ又不動産、債權、學  
ニ係ル權利又ハ相續ノ權利ニ關シテハ證書ノ交付ノ場所ニ於テ之  
ヲ爲ス

若シ引渡ノ前又ハ後ニ辨済ヲ要求スル事ヲ得ベキトキハ其辨済ハ  
買主ノ住所ニ於テ之ヲ爲ス

（栗塚）本條ハ報告委員ニテ合意セラレタル場所ナキトキハト  
云ヘルヲ合意ヲ以テ辨済ノ場所ヲ定メサルトキハトシ辨済ハト  
アル上ニ其ノ字ヲ加ヘリ（南部）又ハ相續ノ權利ニ關シトアル  
點ニハ會社ノ權利ヲ示シテハ如何（村田）第七百九條ニ於テ會  
社ニ關スル場合ヲモ示シ置キタルニ付キ本條ニモ會社ニ關スル  
權利ヲ示ササルベカラス（栗塚）會社ニ於ケル權利ニ付テハ報

告委員中ニ於テモ之ヲ示スベキヲ氣付カサリシモ今マ南部委員ノ言ハルル如クスルチ是トス依テ争ニ係ル權利ノ下又ハノ二字ヲ刪リ相續ノ權利ノ下「又ハ會社ニ於ケル權利ト云フ字ヲ挿入シタシ可決ス（委員長）引渡カ爲サルル權利トアルチ引渡チ爲ストシテハ如何（栗塚）然ルベシ可決ス（南部）辨濟ノ場所ヲ定メサルトキハ買主ノ住所ニ就テ辨濟ノ要求チ爲スヘキハ當然ナリ（松岡）商法ニテハ賣主ノ住所ニ就テ辨濟チ爲ササルチ得サルヘシ（南部）商法ノ權利者ト云フハ品物引渡ノ權利者ナリト雖モ獨逸商法ニテハ債主ノ所ニ於テ支拂チ爲ス事トセリ（栗塚）其債主ト云フハ金錢ノ債主ナルカ（南部）然リ（委員長）本條ハ商法第何條ト支吾スルカ（松岡）商法第三百六十六條ト支吾スベシ（委員長）商法ノ權利者ト云フハ其指の如何（南部）品物ニ於テハ引渡チ爲スベキ者チ云ヒ金錢ニ於テハ金圓ノ

債主ナリ（西）資金ハ債主ノ許ニ就テ取立ツベシ（栗塚）商人間ノ受渡ト商人ト非商人間ノ受渡トハ差異アルベシ仕折受取ハ買者ノ許ニ就テスヘキ習慣アリ商法ニ於テ商人ト非商人ノ間ニ於テハ商法ノ支配チ受クルモノトナリシハ如何ナル理由ナルヤ知ルベカラズト雖モ随分困難ナルベシ（委員長）商人ニシテ尋常裁判所ノ支配チ受クルモノトナルモ随分困難ナルベシ（松岡）其論點ハ擱キ此點ハ先ツ此趣旨チ以テ是トスベシ（南部）此點ノ可否チ決シタシ（尾崎）此點ハ此儘ニシテ至當ナリ（栗塚）伊太利亞法トモ照量シタル商人間ト雖モ一方ノ商人ハ營業向キニアラズ自己ノ需用ノ爲メ假令ハ酒類チ買フカ如キ其場合ハ佛國ニ於テハ之チ商事上ノ取引トセズ伊國法ハ營業上ノ取引ニ屬スルモノチ以テ商法ニ屬スルモノトシタルニアラズヤ（松岡）此點ハ暫時留保シ民法商法チ對照ノ上調査チ爲スモノトシ

タシ其議ニ決ス

第七百十五條 若シ物カ果實又ハ其他金圓ニ見積ル事ヲ得ヘキ定期ノ利益ヲ生スルトキハ買主ハ引渡ノ時ヨリ當然代價ノ利息ヲ負擔ス

反對ノ場合ニ於テハ利息ハ特別ノ合意又ハ辨済スヘキ催告ニ憑ルニアラサレハ負擔セラレス

(村田)地所家屋ノ引渡ノ如キ利息ヲ生スルモノハ其引渡ノ日ヨリ利息ヲ生スベシ(松岡)金圓ニ見積ル事ヲ得ヘキ定期ノ利益ト云ヘハ有形ノ物ハ殆ント之ニ當ラサルナシ(清岡)定期ノ利息ト云ヘルモ凡ソ物ニシテ幾千カ利益ヲ有セサルモノナシ何事ヲモ網羅スルト云フハ甚シカルベシ(松岡)金圓ニ見積ル事ヲ得ヘキモノト否ラサルモノトノ區別ハ何ンニ存スルカ殆ント其境界ヲ見ル事能ハサルナリ(尾崎)定期ノ利益アルニアラサ

レハ此場合ニ當ラス(栗塚)定期ノ利益ハ何レノ點マテヲ包含スルカト云フ問題ハ大審院ニ屬スベキモノナリ(松岡)假令ハ大審院ニ屬スル問題ナルモ字面上延及スル點度ハ豫ノ議定シ置カサルベカラズ(栗塚)定期ノ利益ト云フハ假令ハ馬車アラサレハ必ラス之ヲ賃借セザルベカラス禮服アラサレハ之ヲ賃借セザルベカラスト云フカ如キ必需ニ屬スルモノナリ(南部)松岡委員ハ當然代價ノ利息ヲ負擔スト云フハ不可ナリト云フ論ナリヤ(松岡)然リ(南部)其利息ハ之ヲ使用シタルモノハ得ルモノトナルハ不可ナリ(栗塚)假令ハ個ノ時計ノ如シ其時計アラサレハ賃借セサルヲ得サル如キハ之ニ當ルベシ(委員長)時計ノ例ハ之ト別ナリ何人モ時計ヲ携ヘザルベカラサルモノニアラザレハナリ(南部)時計必需ノ人ニシテ之ヲ賃借シタルトキト假定スレハ其時計モ此場合ニ當ルベシ(尾崎)此點ハ先ツ此儘

ニシテハ如何其議ニ決ス（栗塚）第二項「負擔セラレス」ハ  
之ヲ負擔セス」ト修正シテハ如何可決ス

第七百十六條 若シ買主カ物上訴權ニ因リ妨礙セラレ又妨礙セラル  
ル事ヲ恐ルヘキ正當ノ事由ヲ有スルトキハ賣主ノ其妨礙若クハ危  
險ヲ止マシメ又ハ追奪ノ場合ニ在テハ買主ニ代價ヲ返還スルノ保  
證人ヲ立ツルマテ買主ハ右訴權ノ輕重ニ隨ヒ代價ノ全部又ハ一分  
ヲ辨濟スル事ヲ拒ム事ヲ得

此條例ハ若シ買主カ物ノ他人ニ屬スル事ヲ直接ニ證スル事ヲ得ル  
トキハ買主ニ於テ賣買ノ無效ヲ宣告セシメ及ヒ擔保ノ訴權ヲ行フ  
ノ權利ヲ妨ケス

（栗塚）本條妨礙ノ上又トアルハ「又ハ」ノ誤リ又賣主ノ其妨礙  
トアルハ賣主カ其ノ妨礙ト修正セリ（委員長）危險ヲ止マシメ  
ト云フハ止マシムルマテト云フ意カ（栗塚）然リ（清岡）妨礙

トハ如何（栗塚）追奪セラルルノ恐レアルト云フ譯ナリ（清岡）  
一保證人ヲ立テタル以上ハ追奪サレタル以後ト雖モ之ヲ拒ム事  
ヲ得ト云フカ如シ（委員長）否追奪セラレントスル際ニアラザ  
レハ不可ナリ

第七百十七條 若シ賣ラレタル不動産ニ付キ抵當又ハ先取特權ノ記  
入アルトキハ買主ハ濫除ノ方式ヲ行フタル後ニアラサレハ代價ヲ  
辨濟スルノ實ナシ但適法ノ期間ニ於テ濫除ヲ行フ事ヲ要ス

（松岡）濫除法ハ何時ニ之ヲ行フカ（栗塚）早速之ヲ行フベシ  
第七百十八條 前二條ニ定メタル場合ニ於テ若シ賣主ノ先取特權及  
ヒ第三者ニ對スル其解除ノ權利ノ保存ノ爲メ必要ナル方式カ遵守  
セラレサルトキハ賣主ハ當事者雙方ノ名ヲ以テ買主ヲシテ猶豫ナ  
ク代價ヲ供託セシメ當事者雙方ノ承諾又ハ裁判所ノ判決ニ憑リ其  
手續終了ノ後ニアラサレハ其代價ヲ引取ル事ヲ得サル據爲ス事ヲ



要求スル事ヲ得

(松岡) 賣主ノ先取特權云々ハ賣主カ其實物ニ付キ先取特權ノ方式ヲ爲サス及ヒ第三者ニ對スル其解除ノ權利ノ保存ノ爲メ其方式ヲ爲ササリシトキハト云フ譯カ(栗塚) 然リ(南部) 賣主ノ先取特權ハ賣主自身ノ先取特權ニシテ第三者ノ先取特權ニアラス(栗塚) 本條ハ其保證人ヲ立ツルヲ得サル場合ハ代價ヲ供託セシムル事ヲ得ト云フヲ配示シタルニ過キス(清岡) 第七百十六條ニ於テハ買主ハ他人ニ屬スル事ヲ直接ニ讓スル事ヲ買主ニ於テ賣買ノ無効ヲ宣告セシムル事ヲ得トアルニ本條ニ於テハ代價ヲ供託セシムル事ヲ得ト云フハ不都合ニアラスヤ(南部) 裁判所ノ判決アラサル以前ハ其物件未タ他人ニ屬スルモノト云テ得ス

第七百十九條 若シ動産物ノ買主カ代價ヲ辨済シタルト否トテ問ハス引渡ヲ受クルノ權利ヲ有スル當時ニ於テ引渡ヲ受ケサルトキハ

賣主ハ第四百九十五條乃至第五百條ニ從ヒ其實ラレタル物ノ提供及ヒ供託ヲ爲ス事ヲ得

然レトモ飲食品又ハ其他速ニ敗損スヘキ物ニ關シテハ賣主ハ若シ買主ノ爲メ之ヲ轉賣スル事ヲ得ルトキハ其轉賣ヲ爲ス事ヲ得

(栗塚) 本條二項ノ飲食品トアルハ反譯上ニテ日用品トシ轉賣ヲ爲ス事ヲ得トアルハ轉賣ヲ爲ス事ヲ要スノ誤ナリ(松岡) 引渡ヲ受クルノ權ト云フハ如何(栗塚) 受タルト云フハ取ルト云フ譯ナリ受ケサルト云ヘバ引渡アラサルトキノ意味ナルヲ以テ此字ハ反譯局ニテ妥當ノ文字ヲ採用セントス

### 第三節 賣買ノ解除及ヒ銷除

#### 第一款 義務ノ不履行ノ爲メノ解除

第七百二十條 若シ當事者ノ一方カ上ニ定メタル如キ自己ノ義務又ハ其特ニ負擔スル總テ其他ノ義務ノ全部若クハ一分ヲ履行スル事

チ缺キタルトキハ他ノ一方ハ損失アラハ其賠償ヲ得テ第四百四十一條乃至第四百四十四條ニ從ヒ契約ノ解除ヲ裁判上ニテ請求スル事ヲ得

若シ解除力當事者ノ間ニ明示ニテ要約セラレタルトキハ裁判所ハ恩惠期間ノ特許ヲ以テ其解除ヲ遲延スル事ヲ得ス然レトモ其解除ハ若シ履行ヲ缺キタル當事者力徒ラニ遲滞ニ付セラレタルトキニアラサレハ當然其效力ヲ生セス

(果報)本條ハ報告委員ニテ第一項ノ第四百四十一條乃至第四百四十四條ニ從ヒトアルヲ削リ請求スル事ヲ得ト云フ下ニ但第四百四十一條乃至第四百四十四條ニ從フト云ヘルヲ附記スルハ賠償ヲ得テ契約ノ解除ヲ裁判上ニテ請求スル事ヲ得ト云フ主旨ナルヲ明カニセンカ爲ノナリ又第二項ノ徒ラニト云フ三字ヲ削リ遲滞ニ付セラレタルトアル下ヘモ徒勞ニ屬シタルト云フ字ヲ

挿入シタルハ較レニ遲延ニ付セラレタルニアラズ全ク無用ニト云フ意味ヲ顯ハサンカ爲ノナリ(村田)第一項ハ報告委員ノ修正ヨリハ原案ノ儘ヲ可トス(果報)他ノ一方ハ第四百四十一條乃至第四百四十四條ニ從ヒ損失アラハ其賠償ヲ得トアルヲ契約ノ解除ヲ云々トシテハ如何(南部)然カスルトキハ損失ナケレハ契約ヲ解除スルヲ得サル如クナルモ然レトモ賠償ト解除トハ元來ニ致ニ屬スベキモノナレバナリ(果報)損失アラバト云ヘルハ必用ノ文句ナリ恰モ疵傷アレハ膏藥ヲ貼シト云フカ如シ(南部)受ケタル損失ノ賠償ヲ得テトスレバ可ナリ(松岡)他ノ一方ハ第四百四十一條乃至第四百四十四條ニ從ヒ裁判上ニテ契約ノ解除ヲ請求シ損失アラハ其賠償ヲ請求スル事ヲ得トシテハ如何(委員長)可ナリ(村田)請求シノ下且ト云フ字ヲ挿入スベシ可決ス(清岡)第二項遲滞ニ付セラレタルモト云フハ如何(果報)遲滞ニ付シタルモ

無効ナルトキハト云フ譯ナリ（南部）遲滞ニ付シタル行爲徒勞ニ屬セサルトキハ解除ニ至ラス付遲滞ヲ以テスルヲ得ルモノナリ（栗塚）解除ハ付遲滞ノ間ハ之ヲ爲スヲ得ス未タ遲滞ニ付セサル以前カ又遲滞ニ付シタルモ其遲滞ニ效力ヲ有セサルトキナラサルベカラズト云フニアリ（清岡）然ラバ遲滞ニ付セズ直ク解除スルノ勝レルニ如カズ（西）遲滞ニ付スル目的ハ契約ノ履行ヲ希望シタルモノナリ（栗塚）然リ假令ハ何日マテニ代價ヲ償却セヨト云ヒナカラ其契約ハ解除シタリト云フヲ得ス解除セントスルニハ一旦遲滞ニ付セサルヲ得ス（村田）遲滞ニ付セサルモ可ナルベシ（清岡）遲滞ニ付シ尙ホ其契約ヲ履行セサレハ之ヲ解除スルト云フモノニアラザルベシ（委員長）遲滞ニ付セラレタルモ徒勞ニ屬シタルト云フハ遲滞ニ付セラレタルモ無用ニ屬シタルトキニアラサレハトシテハ如何（松岡）無用ト云ヘハ爲スヲ要セサルニ

爲シタルトキノ如クナルヲ以テ不可ナリ（南部）無用ニ屬シタルトキニアラサレハトスルヲ可トス可決ス

第七百二十一條 辨濟ヲ缺キ又ハ買主ノ其他ノ義務ヲ缺キタル爲メノ解除ハ登記セラレタル賣買證書ニ買主尙ホ代價ノ全部若クハ一部分ヲ負擔スル事ヲ記載シ又ハ買主ノ責任タル其他ノ負擔及ヒ條件ヲ明示シタルトキニアラサレハ賣主ヨリ轉得者ニ對シテ之ヲ請求スル事ヲ得ス

然レトモ賣主ハ第三百七十二條ニ記載シタル如ク事後ニ右ノ負擔及ヒ條件又ハ其解除ノ請求ヲ公示シテ常ニ第三者ニ對スル其解除ノ權利ヲ保全スル事ヲ得

（栗塚）本條ハ第一項ヲ報告委員ニテ修正シ買主ト云フ字ヲ冠シ又ハノ下買主ノト云フ三字ヲ刪ル（委員長）轉得者ト云フハ第三者ヲ云フカ（栗塚）然リ

第七百二十二條 辨済ノ爲ノ期限ヲ定メテ爲シタル動産ノ賣買ニ於テ其引渡カ實行モラレタルトキハ賣主ハ辨済ヲ缺キタル爲メノ解除ノ權利ヲ買主ノ他ノ債權者ヲ害シテ行フ事ヲ得ス  
若シ賣買カ期限ナクシテ爲サレタルトキハ賣主ハ引渡ヨリ八日內ニ賣買ヲ解除セシムル事ヲ得然レトモ善意ナル第三者ノ既ニ得取シタル物權ヲ害スル事ヲ得ス

(果報) 本條第二項若シ賣買カノ下辨済ノト云フ三字ヲ挿入セリ(清岡) 本條第一項ハ如何ナル意味カ(果報) 動産ヲ賣却シタル者未タ辨済ヲ受ケサルニ買者ハ其物品ヲ第三者ニ賣附シタルトキハ最初ノ賣者ハ第三者ヲ害シ辨済ヲ求ムルヲ得スト云フ譯ナリ(清岡) 期限ヲ定メアルヲ以テ期限前引渡シタル物件カ第三者ニ轉移シタリトテ賣主ノ權利ヲ妨クル事ヲ得ス(果報) 第三者ヲ害スルヲ得サルモ買主ニ對シテ債權者ト爲ルモノナ

リ

第二款 買戻ノ機能ノ行用

第七百二十三條 賣主ハ賣買證書ノ中ニ記入シタル買戻ト稱スル約定ニ依リ若シ買主ノ辨済シタル代價及ヒ費用ノ一分ヲ定マリタル期間內ニ買主ニ返還スルトキハ其賣買ヲ解除スヘキ事ヲ要約スル事ヲ得  
其期間ハ不動産ニ付テハ五十年又動産ニ付テハ二十年ニ過クル事ヲ得ス

若シ一層長キ時期ニ付キ要約ヲ爲シタルトキハ其要約ハ當然右ノ期限ニ短縮セラル  
期間カ一旦定メラレタル上ハ二十年又ハ五十年ノ制限內ト雖モ之ヲ長伸スル事ヲ得ス

然レトモ其長伸ハ買主ニ因レル再賣ノ豫約ト看做ス事ヲ得此場合

ニ於テハ其長伸ハ第六百六十三條及ヒ第六百六十四條ノ條例ニ從  
フ

賣買ノ後ニ爲シ又ハ別證書ヲ以テ爲シタル買戻ノ要約ニ付テモ亦  
同シ

賣主ハ若シ代價ノ半額又ハ半額以上ノ辨済ノ爲メ期限ヲ與ヘ且其  
期限カ買戻ノ爲メ定メタル期間ノ半ニ等シク又ハ半ヲ餘ユルトキ  
ハ有効ニ買戻ノ權能ヲ要約スル事ヲ得ス

(栗塚)買戻ノ文字ハ起案者之ヲ妥當トセス依テ受戻トスルカ  
又引戻トスルカ將タ別字ヲ撰用スヘシト云フニアリ寺島報告委  
員ハ引戻ト云フニ妥當ナリト云ヘリ(箕作)賣買ノ受戻ト云フ  
ハ不可ナリ(尾崎)買戻ト云フハ從來日本ニモ慣用シタル語ナ  
ルヲ以テ買戻シト云ヘルヲ然ルベシトス(箕作)買戻トハ一旦  
賣買ヲ終了セサルベカラズト雖モ此點ハ未タ賣買ヲ終了シタル

モノニアラズ(栗塚)此點ハ賣買ヲ解除スルト云フ意ニ過キズ  
買戻ト云フ譯トハ異ナレリ(南部)從來年金ノ買戻ト云フ證文  
アル位ナレバ買戻ト云フヲ以テ可ナリトス(箕作)受戻ハ賣物  
受戻シト云フニ用ユル辭ニシテ賣買ヲ受戻スト云フ事ナシ(栗  
塚)買戻ノ文字ハ起案者之ヲ修正シタレバ一旦引戻シト爲シ置  
キ更ラニ本會ノ決議ヲ以テ修正スルニ差支ナカルベシ故ニ命題  
ハ賣買引戻シトシ證書中ニ記入シタルノ下買戻ノ文字ハ反譯上  
ニテ賣買引戻トセリ(尾崎)買戻シトスベシ可決ス(栗塚)記  
入ノ字ハ報告委員ニテ明記シ費用ノ一部トアルヲ費用ノ部分ト  
修正セリ(南部)買戻ト稱スルト云フ字ハ刪除シテ可ナリ(栗  
塚)明記シタル約定ニ依リトスベシ可決ス(西)不動産ニ付テ  
ハ五ヶ年又動産ニ付テハ二ヶ年ト云フハ期間延長ニ失シ世間ノ  
流通ヲ妨碍スベシ(清岡)不動産ノ買戻シ期間ヲ五年トスルハ

率口短縮ナリト云フベシ不動産買戻ノ契約アルモノ、如キハ諸種ノ事情錯綜シタルモノナレバ五年間ノ期限ヲ以テ之ヲ制限スルハ世間頗ル迷惑ヲ受クルモノアラン又買戻契約ノ期間ヲ延長シタレバトテ弊害アリヤト云フニ決シテ其弊害ヲ見ザルナリヘ南部ヘ買戻契約アルモノハ必竟徒ラニ中間ニ繋リシ未定ノ性質ヲ有スルモノナレバナリ(村田)原案ノ期間ヲ可トスベシ可決ス(松岡)動産ニ付テニ二今年ト云フ期間ハ削除シタシ(尾崎)然リ(南部)動産ニ付テハ二今年ノ期限ヲ廢スルト云フハ其買戻ヲ爲スヲ得サルモノトスルカ(尾崎)動産ニハ從來買戻ト云フ習慣アラス(栗塚)動産ノ期間ハ敢テ必用ト云フニアラズト雖モ此期間ヲ存置スレバトテ決シテ害ナシ(松岡)動産ハ相對間ニ於テ隨意ニ其期間ヲ定メテ可ナリ何ゾ特ニ二今年ノ期間ヲ用ユルヲ要センヤ此點モ結局原案ニ決ス(尾崎)期間カ一旦

定メラレタル上ハ二今年又ハ五今年ノ制限内ト雖モ之ヲ長伸スルヲ得スト云フ制限ヲ附シタルハ何ノ必用アルヤ既ニ二今年又ハ五今年ノ期限アル以上ハ其期限内ニ於テ期間ヲ伸長スルニ於テ何ノ不可アラン(松岡)此制限ハ洵ニ契約ノ自由ヲ害スルモノト云フベシ(南部)此制限ハ要用ナルベシ(村田)然リ此點モ原案ニ決ス

第七百二十四條 不動産ニ付テハ法律ノ定メタル期間内ニ其定メタル條件ヲ以テ買戻ノ權能ヲ行ヒタルトキハ買主ノ付戻シ又ハ其權利ニ依テ第三者ノ得取シタル總テノ物權ヲ免カレテ其不動産ヲ賣主ノ手裏ニ復セシム但経過スヘキ殘餘期間カ三今年ニ過キサル賃借ハ此限ニ在ラス

動産物ニ關シテハ買戻ノ權能ハ善意ニテ其動産物ニ付キ物權ヲ得取シタル第三者ニ對シ之ヲ行フ事ヲ得ス

（栗坂）本條第一項ハ報告委員ニテ條件ヲ以テノ下ニ爲シタルト云フ字ヲ加ヘ機能ヲ行ヒタルトキトアルヲ機能ノ行用ハトシ買主ノ付與シ又ハ其權利ニ依テトアルヲ買主ヨリトシ總テノ物權ヲ免カレテトアルヲ物權ヲ脱シテトセリ（清岡）買主ヨリ第三者ノ取得シタル總テノ物權ヲ脱シテト云ヘハ買主ノ脱スルカ如キ意味ナル如キ嫌ヒアリ（笑作）第三者ノ買主ヨリ取得シタルトシテハ如何（栗坂）免レシノト云フヲ得サルカ（清岡）然カスルトキハ買主カ免レシムル如クナルヲ以テ不可ナリ（笑作）報告委員ノ修正ニ從フベシ（尾崎）三ヶ年殘期ノ賃借ハ何故ニ取戻スヲ得サルヤ（栗坂）賃借ハ賃借人ノ迷惑トモナルモノナレバナリ（南部）賃借ヲ物權トシテ殘期間三ヶ年ニ過キサルモノハ此限ニ在ラスト云フ理由ヲ見ル能ハサルナリ（尾崎）賃借付ノ儘ニ置クモノトスルハ恰モ瑕疵アルカ如シ（西）殘

餘期間ト云フハ買戻ノ殘餘期間ナルニアラズヤ（南部）否ナ賃借ノ殘餘期間ナリ（清岡）不動産ノ買戻ハ五ヶ年期間ト定メアルヲ以テ賃借ノ期間ヲ云ヒシモノニハアラスルベシ（笑作）個ハ賃借ノ期間ヲ云ヒシモノナリ（村田）但書ハ顯除スベシ（笑作）不動産ニ付テハ必ラス登記スルモノナレハ賃借者ハ買戻契約即チ五ヶ年ノ期限アルヲ知ルベシ故ニ賃借人其土地ヲ取戻サルルモ苦情ヲ銘ス事ヲ得サルヘシ

第七百二十五條 賣主ノ債權者ハ賣主ニ代ハリテ買戻ノ權能ヲ行フ事ヲ得

然レトモ買主ハ右債權者カ豫メ其債務者ノ無資力ヲ證明シ且第三百五十九條ニ從ヒ買戻ノ權能ノ行用ノ爲メ裁判上ニテ賣主ニ代位スル事ヲ要求スル事ヲ得

又買主ハ物ノ保存ノ費用トシテ賣主ヨリ己レニ返還スヘキ金額ヲ

控除シテ債權者ニ皆濟スルニ因リ其債權者ノ訴ヲ止ムル事ヲ得

(今村)本條末項ハ起案者ヨリ改案スルモノアリトテ其意見ヲ  
送付シ來レリ依テ本條ハ暫時後廻シニ附セラレタシ

第七百二十六條 若シ賣主カ買戻約定ヲ以テ賣リタル物ヲ後日抵當  
トシ又ハ之ニ其他ノ物權ヲ負擔セシメタルトキハ其權利ノ効力ハ  
賣主自身又ハ前條ノ場合ニ於テハ其債權者ニ因レル買戻ノ行用ニ  
繁ル

若シ賣主カ買戻ニ服シタル物ノ所有權ヲ移付シタルトキハ其得取  
者ハ自己ノ名ヲ以テ買戻ヲ行フ事ヲ得然レトモ其得取者ハ賣主ニ  
因リ移付前ニ承諾セラレ且登記ヲ以テ公示セラレタル他ノ物權ヲ  
尊重スル事ヲ要ス但擔保ニ於ケル得取者ノ求償權ヲ妨ケス  
(栗塚)本條ハ第一項ノ「前條ノ場合ニ於テハ」トアルヲ刪リ  
又第二項ハ買戻ノ下(ニ服シタル物ノ所有)ト云フ數字ヲ除ケ

リ(笑作)買戻權ヲ移付スルト云フハ如何(松岡)賣主ハ所有  
權ヲモ有セサルヘシ(栗塚)然リ賣主ニ所有權アリトセハ買者  
ノ所有權ト共ニ二個ノ所有權アルカ如クナルヲ以テ所有權トハ  
云フベカラズ即チ賣主ハ買戻ス事ヲ得ヘキ買戻權ヲ有スルモノ  
ト云フ譯ナリ(笑作)未必條件附ノ移付ト云フヲ得ベシ(南部  
一)買戻權ト云ヘハ單ニ買戻スト云フノミナルヲ以テ不可ナリ依  
テ原案ノ體ヲ可トス

第七百二十七條 買戻ノ權能ヲ行フ賣主ハ定マリタル期間内ニ賣買  
ノ原價及ヒ契約ノ費用ノ外物ノ保存ノ爲メ爲シタル出費ヲ買主ニ  
辨償スル事ヲ要ス

若シ買主カ右ノ金額ヲ受取ル事ヲ拒ミタルトキハ其金額ハ擔保ナ  
ク供託セラル、事ヲ要ス

又賣主ハ物ヲ改良シタル出費ヲ辨償スル事ヲ要ス然レトモ賣主ハ



此事ニ付キ裁判所ヨリ猶豫ヲ受クル事ヲ得

買主ハ右ノ金額ノ皆済ヲ受クルマテ物ノ留置權ヲ有ス

(果報)本條ハ第二項ヲ報告委員ニテ其金額ト云フヲ賣主トシ  
猶豫ナクノ下ヘ之ヲト云フ字ヲ挿入シ供託セラル、ト云フヲ供  
託スルトセリ(清岡)原價及ヒ契約ノ費用ノ外物ノ保存ノ爲メ  
ニセシ費用ヲモ辨償スルト云フハ甚シキニアラズヤ(果報)買  
主ハ洪水田地ヲ荒ラスヲ防禦シ又修繕ヲ要スルカ如キハ其手入  
ヲ爲シタルカ爲メ買戻ヲモ爲スヲ得ベシ此費用ハ必用ノ費用ニ  
屬シ奢侈ノ費用ヲ包含スルモノニアラス(尾崎)從來ノ慣習ニ  
ハ此等ノ費用ヲ辨償スルモノニアラスト雖モ一旦賣渡ヲ爲シタ  
ル以上ハ保存費用ヲモ償ハシメントスルモノナルカ顯クハ此種  
ノ辨償ハ除去シタシ此儘ニ決ス

第七百二十八條 若シ買戻約定ニ於ケル賣買力不動産ノ不分ノ部分

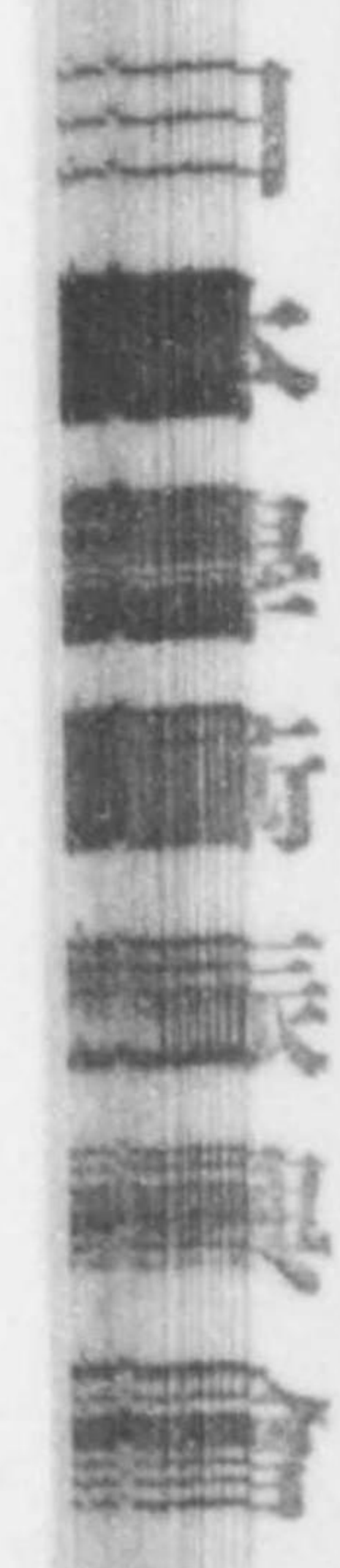
ヲ目的トシタルトキモ買主カ己レニ對シテ促サレタル公賣ニ因リ  
テ財産全部ノ競落人ト爲リタルニ於テハ賣主ハ其受取リタル代價  
ニ公賣ノ代價ヲ加ヘテ全部ノ爲メニスルニアラサレハ買戻ヲ行フ  
事ヲ得ス

又買主ハ全部ノ買戻ニ故障ヲ述フル事ヲ得ス

若シ買主カ公賣ヲ促シタルトキハ賣主ハ其賣リタル部分ニ付テノ  
買戻ヲ行フ事ヲ得

又買主ハ全部ノ買戻ニ故障ヲ述フル事ヲ得

(果報)本條第一項ノ其受取リタル代價ト云フヲ刪除シ前條ニ  
記載シタル金額ト修正シ公賣ノ下拂足ノ字ヲ加フ(今村)公賣  
ノ字ハ他ニ不分物公賣トアルニ於テ不都合ナルヲ認観ス不分物  
公賣ト云フ場合ハ必ラス公賣ニアラズ僅數ノ買者ニ競買セシム  
ル事アレハナリ(果報)然ラハ此公賣ハ反響上ノ修正ヲ以テ何



レモ競賣トスベシ（南部）拂足ノ字ハ不用ナルヲ以テ否決スベシ（栗塚）競賣ノ代價ト云ヘハ競賣全部ニ關スル嫌ヒアルニ依リ拂足トシタリ結局拂足ノ字ハ否決セラル

第七百二十九條 若シ賣主ニアラサル共有者ノ一人又ハ外人ノ利益ニ於テ公賣ノ競落アルトキハ其何レノ當事者ヨリ之ヲ促シタルヲ問ハス賣主ハ若シ公賣ニ召喚セラレサリシ場合ニ於テ其賣リタル部分ノミニ付キ競落人ニ對シ買戻ノ權利ヲ保存シ之ニ反スル場合ニ於テハ其權利ヲ失フ

（栗塚）本條ハ冒頭ニ公賣カ何レヨリ促サレタルヲ問ハスト云フ字ヲ加ヘ又外人トアル下「ニ」ノ字ヲ加ヘ「ノ利益ニ於テ公賣ノ」トアルヲ刪リ競落アルトキハト云フヲ競落シタルトキハトシ「其何レノ當事者ヨリ之ヲ促シタルヲ問ハス」ト云ヘルヲ刪リ「場合ニ於テ」ノ下「ハ」ノ字ヲ除ケリ可決ス

第七百三十條 若シ現物ヲ以テ派分ヲ爲シタルトキ賣主力派分ニ召喚セラレタルニ於テハ賣買ハ何レノ當事者ヨリ派分ヲ促シタルヲ問ハス他ノ所有者ニ歸シタル部分ニ付キ何等ノ要求ヲモ爲ス事ヲ得ス其賣主ハ買主ニ歸シタル部分ヲ取回ス事ヲ得ルノミ但當事者雙方買主ノ供給シ又ハ受取リタル補足額ヲ互ニ計算スル事ヲ訪ケス

若シ賣主力派分ニ召喚セラレサリシトキハ賣主ハ其選擇ヲ以テ成ハ爲サレタル派分ヲ確認シテ買主ニ對シ前ニ指示シタル權利ヲ行ヒ或ハ自己ノ受取リタル代價ヲ買主ニ辨償シテ共有者ニ對シ再派分ヲ促ス事ヲ得

（栗塚）本條ハ報告委員ニテ第一項ノ賣買ハ何レノトアルハ賣主ハ何レヨリト云フ寫字上ノ誤リ何レノ當事者トアルノ當事者ノ四字ヲ刪リ但ノ下當事者雙方ノ文字ハ補足額ヲトアル下ニ轉

入シ又第二項ハ自己ノ受取りタル代價ト云フヲ第七百二十七條ニ記載シタル金額ト云フ字ニ換正セリ可決ス

第七百三十一條 若シ不分物ノ共有者カ一箇ノ契約ヲ以テ唯一代價ニテ其物ヲ買戻約定ヲ以テ賣リタルトキハ買主ハ一分ニ付キ買戻ニ服スルノ義務ナシ  
又買主ハ賣主ノ一人ヨリ爲ス全部ノ買戻ニ故障ヲ述フル事ヲ得但其賣主ノ一人カ他ノ賣主ノ委任ニ憑リ買戻ヲ行ヒタルトキハ此限ニ在ラス

若シ一人ノ賣主カ數人ノ相續人ヲ遺シテ死亡シタルトキモ亦同シ  
若シ之ニ反シテ數人ノ共有者カ各別ノ契約ヲ以テ其各部分ヲ賣リタルトキハ各自ハ各別ニテ買戻ヲ行フ事ヲ得但第七百二十八條及ヒ第七百三十條ヲ適用スヘキトキハ之ヲ適用スル事ヲ妨ケス  
(果報)本條第一項ハ報告委員ニテ買戻ニ服スルノ義務トアル

民事三ノ一二七

ヲ買戻ヲ受クルノ賣ト修正ス可決ス

第七百三十二條 若シ數名ノ買主カ一箇ノ契約又ハ各別ノ契約ニ因リ買戻約定ヲ以テ一箇ノ不動産ヲ得取シタルトキ賣主カ買主ノ間ニ派分ヲ爲サル、前ニ買戻ヲ行ハント欲スルニ於テハ賣主ハ或ハ併合シテ或ハ各別ニテ各買主ニ對シ其部分ニ付キ買戻ヲ行フ事ヲ得

若シ既ニ派分アリタルトキハ賣主ハ各買主ニ對シ派分又ハ公賣ニ因リテ其各自ニ歸シタル部分ニ付テノミ買戻ヲ行フ事ヲ得  
若シ一人ノ買主カ數名ノ相續人ヲ遺シテ死亡シタルトキハ右同一ノ規則ヲ適用ス

(果報)本條第一項ハ報告委員ニテ買戻約定ヲ以テトアルヲ買戻約定付ノトシ賣主ハ或ハノ下「併合シテ或ハ各別ニテ各」トアルヲ刪リ總テノ買主ニ對シ或ハ一名若クハ數名ノト修正シ其

部分ト云テ各自ノ部分トセリ（實作）各自ノ部分ト云フハ元ノ如ク其部分ト云フテ宜シトス（村田）買戻約定付ト云フハ元ノ如ク買戻約定ヲ以テトスルヲ可トス（實作）各自ノ部分ニ付ト云フテ圖リテハ如何可決ス

第三款 折損ノ爲メノ銷除

第七百三十三條 若シ不動産ノ賣買カ契約ノ日ニ於ケル其實價ノ半以下ノ代價ニテ爲サレタルトキハ賣主ハ折損ノ爲メ銷除ヲ請求スル事ヲ得但賣主カ契約ヲ以テ明示ニテ此銷除ヲ拋棄シ又ハ代價ノ補足ヲ拋棄スル事ヲ述ヘタルトキモ亦同シ  
折損ノ爲メノ銷除ハ代價カ當事者間ニ合意シタル第三者ニ因リ定メラレタル場合ニ於テハ之ヲ許サス但第六百七十條第三項及ヒ第四項ノ適用ヲ妨ケス

（今村）本款即チ折損ノ爲メノ銷除ト云フハ全廢セラレン事ヲ

希望ス何トナレバ凡ソ獨立ノ一個人カ既ニ契約ヲ爲シタル後之ヲ折損アリトシテ其契約ヲ銷除セント云フ理由アラサレハナリボアソナード氏ハ對手人ノ一方ニ折損ヲ生スル位ナレバ他ノ對手方ハ恰モ不當ノ利益ヲ得ルモノナリト云フテ以テ此原案ヲ作爲シタルモノナリ又一種ノ論議ハ動産賣買ハ假令高價ノ品物ヲ何程低價ニ賣却スル事アルモ法律ノ干渉ヲ要セサルニ不動産ハ動産ト等シキ方法ニ處スルヲ得ズト云フニアリ然ルニ實際ヲ考究スルニ金額急需ノ爲メ所有ノ不動産ヲ賣却シ其需用ヲ達シタル以上折損アリトシテ其契約ヲ銷除セントスルカ如キハ甚不都合ヲ感ズルモノナレハ本款ハ側底不利ノ條款タルモノトス（南部）本款刪除説アルモ一應各條ヲ審議シ利害ヲ考究シタル以上ニ於テ其可否ヲ決シタシ（栗塚）本款存置ト云フニ決スレバ本條ノ實價ノ半以下ヲ十分ノ一ト云フニ修正シタシ

第七百三十四條 銷除ハ賣買力條件附ナルトキト雖モ契約ノ時ヨリ  
二年内ニ之ヲ請求スル事ヲ要ス  
此期間ハ賣買契約ヲ以テ之ヲ増減スル事ヲ得ス  
若シ買戻ノ権能力要約セラレタルトキハ二箇ノ期間ハ最モ短キ期  
間ニ滿ツルマテ混同ス

(要塚)本條第二項ハ報告委員ニテ但書ヲ附シ但日後特別ノ契  
約ヲ以テ其期間ヲ減縮スル事ヲ得ト云フヲ増入ス(清岡)但書  
ニ於テ減縮スルヲ得ト云フハ如何(村田)但書ニ依リ減縮スル  
ヲ得ルモ増延スルヲ得ズト云フヲ見ルニ足ルベシ(要塚)起案  
者ノ精神ハ銷除ハ側底是認シタルニアラサルヲ以テ成ル可ク短  
期ニスルヲ得セシメ之ヲ存在セサラシメントスルニアリ(今村  
)ボアソナードノ説ハ賣主至當ノ代價ヲ得サルト云フヨリ事口  
買者ノ不當ノ利益ヲ得ントスルヲ許サ、ルモノナリ(南部)此

修正ハ採用スベシ可決ス

第七百三十五條 賣買ノ日ニ於ケル不動産ノ價額ハ證書及ヒ證人又  
ハ鑑定人ヲ以テ之ヲ證ス

當事者ハ各常ニ一人ノ鑑定人ヲ選任スル事ヲ請求スル事ヲ得  
總テノ場合ニ於テ裁判所ハ職權ヲ以テ鑑定人一人ヲ選任スル事ヲ  
要ス

右ノ外後ノ第五編及ヒ民法訴訟法ニ定メタル鑑定ノ一般ノ規則ヲ  
適用ス

(要塚)本條第二項ノ各常ニトアル各ハ當事者ノ上ニ冠セシメ  
タシ可決ス

第七百三十六條 折損ノ爲メノ銷除ハ第三百七十二條第一項ニ從ヒ  
爲シタル請求ノ公示ニ先タチ證書ヲ登記シタル物權ノ轉得者ニ對  
シ之ヲ行フ事ヲ得ス

無異議

第七百三十七條 若シ買主カ第五百七十六條ヲ以テ許與セラレタル  
正當代價ヲ補足スルノ權能ヲ行ハント欲スルトキハ請求ノ日ヨリ  
ノ補足額ノ利息ヲ負擔ス  
若シ買主カ物ヲ返還スル事ヲ欲スルトキハ其辨濟シタル代價ヲ請  
求後ノ利息ト共ニ請求後ニ收取シタル果實ヲ返還ス  
此終ノ場合ニ於テ買主ハ代價ノ管濟ヲ受クルマテ占有ヲ留置スル  
事ヲ得

(粟塚) 本條第二項ハ請求後ノ利息ト共ニトアル下ヘ反響上ニ  
テ回取シ且ト云フ字ヲ挿入セリ(村田) 末項ノ買主ハ代價トア  
ル下ニ及ヒ其利息ト云フ字ヲ挿入シタシ(粟塚) 其文字ハ反響  
上ニテ挿入スル事トスベシ

第七百三十八條 買戻權能ノ可分又ハ不可分ノ行用ニ付キ第七百二

民事三ノ二一〇

十八條乃至第七百三十二條ニ定メタル規則ハ折損ノ爲メノ銷除ニ  
之ヲ適用ス

無異議

第七百三十九條 公賣ニテ爲シタル賣買ニ於テハ其賣買力任意ナル  
モ折損ノ爲メノ銷除ハ存立セス但裁判所ノ權ヲ以テ爲シタル賣買  
ノ爲メ定メタル公示及ヒ期間ヲ遵守シ且公賣ノ自由ニ何等ノ妨礙  
ヲモ加ヘサリシ事ヲ要ス

(粟塚) 本條ハ公賣ニテ爲シタル賣買ニ於テハトアルヲ公ノ賣  
買ニ於テハトシ其賣買カトアルヲ其續賣カトシ但裁判所ノ權ヲ  
以テノ下爲シタルトアルヲ爲ストシ賣買ヲ賣却トシ公賣ハ競買  
トセリ競買ト云フハ競リニ於テト云フ譯ナレトモ競リニ於テモ  
ト云フヲ得サルニ付キ競買ト云ヘリ(松岡) 競買ノ自由ニ何等  
ノ妨礙ヲモ加ヘサリシト云ヘハ買者ノ自由ヲ妨グルモト云フ如

シ(尾崎)競リト云フトキハ買者ノミナラス競賣トモ云フベキ  
 ニ付キ賣者ニモ適用スルモノナリ(西)競リト云フハ買者ニシ  
 テ賣者ヨリスレハ競チスルト云フモノナリ(委員長)競方トシ  
 テハ如何(栗塚)競方ト云フトキハ呼聲チ云フモノ、如シ(松  
 岡)本條ニ公ノ競賣ト云フハ如何(栗塚)不分物ノ競賣ニ於テ  
 ハ公ニアラサルヲ以テ公ノ字ヲ除クベシトシタシヨシト云フト  
 キハ競賣トシタルナリ(委員長)競賣ト云ヒ競買ト云ヘバ兩意  
 味ノ場合ニ於テハ競賣買ト云ハサルベカラサルニ至ル故ニ競ト  
 云ヘハ恰モ其兩意ヲ包有スベシ(南部)公賣ト云フチ公ノ競リ  
 トシタルトマテ何モ區別ヲ見ス(栗塚)競賣ノ自由ト云フ場合  
 ノミ競リトスベシ可決ス

第七百四十條 賣ラレタル權利又ハ辨濟スベキ代價ノ本性ニ因リ射  
 律ノ性質ヲ有スル賣買ハ折損ノ爲ノ之ヲ銷除スル事ヲ得ス

(委員長)過日本款即チ折損ノ場合ヲ全廢セント云フ論アリシ  
 ハ如何ナル譯ナルヤ(栗塚)日々ノ商賣取引ニ於テハ損益アラ  
 サルモノナシ損益ハ商賣取引ノ常價ナルニ本款ハ其常價ヲ矯制  
 セント云フモノナレハ不都合ト云フベシ高利貸ノ金圓ハ價値ス  
 ルニ及バスト云フニ等シ(今村)本款刪除ニ付テハ起業者ノ同  
 意セサル所ナリト雖モ其精神ハ不當ノ利得ハ許スベカラズト云  
 フニアリ換言スレハ偶然ノ次第ナリト云フニ過キズ然ルニ起業  
 者ハ富豪家ノ折損ハ斷續成立セズト云ヒ又之ヲ第三者ニ賣却シ  
 タルトキハ回收スルヲ得スト云フハ其論旨甚タ模範據着タルヲ  
 免レス佛國ニ於テモ一旦此點ヲ廢却シ又獨逸法ニハ全ク此點ア  
 ラス日本民法ニ於テ特ニ此規定ヲ置クベキ必要ナシ(委員長)  
 理論上ニ於テハ不用ニ屬スルモ實際ニ於テ偶然タル場合アリ(今  
 村)法律上ニ於テハ種々ノ理由ヲ附スルモ其實偶然タリト云

フニ過キズ（尾崎）本款ノ如キハ實際上必要ヲ感スルモノ少カ  
ラサルヲ以テ存置シタシ（西）然リ結局全廢説ハ存立セズ

第四款 隠レタル瑕疵ノ爲ノノ賣買廢却訴權

第七百四十一條 動産ト不動産ト中間ハス賣ラレタル物ニ賣買ノ當  
時ニ於テ買主ノ知ラサル不表見ニシテ修補スル事ヲ得サル瑕疵ア  
リテ若シ其瑕疵カ物ヲ其本性若クハ當事者ノ一致ニ因リ供セラレ  
タル用方ニ不適當ナラシメ又ハ買主其瑕疵ヲ知レハ購買セサルベ  
キ程ニ物ノ使用ヲ減スルトキハ買主ハ賣主ニ因レル引取即チ取回  
ヲ請求スル事ヲ得

此場合ニ於テ買主ハ其辨濟シタル代價ト契約費用トチ回収ス然レ  
トモ代價ノ利息ハ請求ノ日ニ至ルマテノ物ノ収益又ハ使用ト相殺  
セラル

（粟塚）本條ハ報告委員ニテ當事者ノ一致ノ下ニ因リ供セラレ

タルト云フ數字ヲ削リ「ヨリ出ツル」ト云フ字ヲ挿入セリ又取  
回ト云フヲ賣買廢却トシタリ（今村）取回ヲ賣買廢却トシタル  
ハ此點ノ元意ハ取回セト云フ譯ナルモ日本文ニシテ取回セト云  
フ事ヲ得ヘカラサルヲ以テ賣買廢却トシタリ（今村）代價ノ利  
息ハ物ノ収益ト相殺スト云フモ其収益ヲ得サルトキハ如何（南  
部）法律上収益アリト見做スノ原則ヲ立テタルモノナリ（清岡  
）修補スル事ヲ得サルト云フトキハ完全ニ復セサルモ可ナル如  
シ（南部）原狀ニ復正スベキモノナリ（松岡）些少ノ損傷アル  
ヲ以テ賣買廢棄ニ屬スルト云フハ不可ナリ（西）用方ニ不適當  
ナラシメト云フニ至ラサレバ廢却スルヲ得ス

第七百四十二條 若シ買主ニ於テ隠レタル瑕疵カ賣買廢却訴權ヲ行  
フ程ニ重大ナル事ヲ證スル能ハズ又ハ物ヲ保有スル事ヲ欲スルト  
キハ買主ハ其受クル便益喪失ノ割合ニ應シテ代價ノ減額ヲ請求ス



ル事ヲ得

（栗塚）代價ノ減額トアルハ反譯上代價ノ減少トスヘキ限ナラ  
ン（清岡）便益喪失ノ場合トアルハ便益ノ喪失ノ割合トシテハ  
如何（栗塚）其受クルトアルヲ以テ此儘ヲ可トス

第七百四十三條 買主カ賣主ニ對シテ物ノ取回又ハ代價ノ減少ヲ得  
タル二個ノ場合ニ於テ若シ賣主カ瑕疵ヲ知リタルトキハ買主ハ右  
ノ外其受ケタル損害又ハ失フタル利益ノ爲メ損害賠償ヲ要求スル  
事ヲ得

（栗塚）本條ハ報告委員ニテ物ノ取回トアルヲ賣買廢却トシ代  
價ノトアル「ノ」ヲ關リ受ケタル損害ト云フヲ受ケタル損失ト  
シ利益ノ爲メトアルヲ利益ニ付テノトセリ（村田）二個ト云フ  
字ハ不用ナリ（栗塚）存置スルモ害ナク删除スルモ差支ナシ即  
チ删除ス

民事三ノ一二三

第七百四十四條 「隠レタル瑕疵ヲ擔保セストノ要約ハ賣主チシテ其知

リナカラ詐僞ヲ以テ隱秘シタル瑕疵ノ責任ヲ免レシノス

（栗塚）本條ハ隠レタル瑕疵ヲ擔保セスト云ヘバ隠レタル瑕疵  
ハ之ヲ知レルモ其實ナシ然ルニ詐僞ヲ以テ隱蔽シタル瑕疵ニハ  
其實ヲ免レシノス（村田）知リナカラト云フ字ヲ關ルヘシ（南  
部）知リナカラト云フ字アルヲ以テ詐僞ト隱秘シタル瑕疵トノ  
區別ヲ見ルベシ（西）隠レタル瑕疵ヲ擔保セスト云フハ瑕疵ア  
ルヤ否ヲ知ルベカラサルニ付キ能ク意味ヲ盡シ之ヲ購買セラル  
ベシト云フ譯ナラン（栗塚）然リ（西）然ラハ瑕疵アルヲ知ラ  
サルモノナリ（尾崎）瑕疵ヲ知リシモノナリ（委員長）知リナ  
カラト云フハ知リツ、ト云フ譯ナリ（栗塚）詐僞ト云フ字ハ反  
譯局詭譎ト云フ誤ナリ（西）知ルトキハ詐僞トナルベシ故ニ知  
レルト詐僞トノ區別ナシ（栗塚）隠レタル瑕疵ヲ擔保セストノ

要約ハ責任ヲ免ル但シ詭譎ヲ以テ隠秘シタル瑕疵ハ此限ニ在ラ  
スト云フ譯ナリ(松岡)本條ノ文面ニテハ瑕疵ヲ知リタルモノ  
ハ其實ナシト云フヲ見ル能ハス(委員長)其知リナカラト云フ  
ヲ其知リ且詭譎トシテハ如何可決ス

第七百四十五條 賣買ノ當時ニ於テ物ニ瑕疵アリタル事竝ニ其瑕疵  
ヨリ買主ノ爲ノ損害ノ生シタル事及ヒ買主又ハ賣主カ其瑕疵ヲ知  
リタル事ハ人證、鑑定又ハ總テ其他ノ適法ナル證據方法ヲ以テ之  
ヲ證ス

(松岡)本條ハ證明スルニハ別ニ證據ヲ用ヒスト云フカ如キ譯  
ニシテ敢テ必要ニモアラサレハ刪除シテハ如何(尾崎)刪除セ  
サルモ害ナシ(南部)起案者ハ鑑定人ニアラサレハ證明スルヲ  
得スト云フ誤解ヲ避ケント云フニアリ

第七百四十六條 賣買廢却ノ訴及ヒ代價減少竝ニ損害賠償ノ訴ハ左

民事三ノ二二四

ノ期間ニ於テ之ヲ起ス事ヲ要ス

不動産ニ付テハ六個月

動産ニアラサル動産物ニ付テハ三個月

動産ニ付テハ一個月

此期間ハ引渡ノ時ヨリ之ヲ計算ス

然レトモ此期間ハ買主カ瑕疵ヲ知リタルノ證アリタル日ヨリ其半  
ニ短縮セラル

若シ買主カ意外又ハ不可抗ノ情況ニ因リ右ノ期間内ニ隱レタル瑕  
疵ヲ發見スル事能ハサリシ事ヲ證スルトキハ其期間滿了ノ後ニ於  
テモ訴ヲ受理スル事ヲ得

(栗塚)本條第六項ノ下ハ起案者ヨリ但其殘期カ此半ヲ超過ス  
ルトキニ限ルト云フヲ挿入シ末項ノ下ニ此場合ニ於テハ瑕疵ノ  
發見シ得ベキトキヨリ通常期間ノ三分ノ一ヲ以テ新期間トスト

云フ事ヲ挿入セリ（松岡）瑕疵ノ發見シ得ベキトキヨリト云フハ如何（栗塚）意外又ハ不可抗ノ情況ノ止ミタルトキヨリト云フ意ナリ（南部）此場合ニ於テハ意外又ハ不可抗ノ情況ノ止ミタルトキヨリトシテハ如何可決ス

第七百四十七條 隠レタル瑕疵ニ基キタル代價減少ノ訴權ハ物ノ無價ノ移付ニ因テモ又其有價名義ノ移付ニ因テモ買主ノ爲メ喪失セス但有價名義ノ移付ノ場合ニ於テハ其移付カ瑕疵ノ爲メ損失ヲ以テ爲サレ又ハ買主自ラ其讓受人ヨリ訴ヘラレ若クハ訴ヘラル、ノ危険ニ在ルトキニ限ル

（栗塚）本條ハ報告委員ニテ買主ノ爲メ喪失セストアルヲ買主之ヲ失ハストシ「移付カ」ノ三字ヲ削リ損失ヲ以テ爲サレトアルヲ損失アリタルトキトシ訴ヘラレノ下「タルトキ」ト云フヲ挿入セリ移付ト云フ字ハ皆讓渡シト云フ字ニ換正シタシ（清岡）

買主ハ讓受人ヲ云フカ（南部）買主ハ最初ノ買主ナリ買主之ヲ他ニ移付スル後ト雖モ之ヲ爲スニ妨ケナシ（清岡）但書以下ハ刪除シテハ如何（委員長）名義ノ字ヲ刪除スベシ可決ス

第七百四十八條 若シ賣ラレタル物カ意外ノ事又ハ不可抗力ニ因リ全部又ハ半以上滅失シタルトキハ賣買廢却訴權ハ最早受理セラレ

ス  
物ノ一分ノ滅失ノ多少ニ拘ハラズ代價減少ノ訴權ハ其殘存スル部分ノ割合ニ應シテ存立ス  
總テノ場合ニ於テ賣主ハ隠レタル瑕疵其モノヨリ生スル全部又ハ一分ノ滅失ノ責ニ任ス

（南部）本條ハ四分半ノ滅失ニ係ルトキハ賣買廢却訴權ヲ爲スヲ得ベシ（清岡）末項ハ如何（栗塚）賣物個有ノ瑕疵ニヨリ滅失シタルトキハ其實ニ任スヘシ

第七百四十九條 合式ニテ爲シタル強賣ハ廢却訴權ヲモ又代價減少ノ訴權ヲモ生セス

（果探）本條強賣トアルハ推賣リト云フ或ヒアルヲ以テ報告委員ニテ強制賣却トシ差押ヲ以テ賣買シタルモノヲ云ヘリ

第七百五十條 或ル動産及ヒ或ル物品又ハ飲食品ノ賣買ニ於ケル不表見ノ瑕疵ノ効力ヲ特別法ヲ以テ定ムルニ至ルマテ此法律ノ條例ハ區別ナク總テノ物品ノ賣買ニ之ヲ適用ス

（果探）飲食品ハ反譯上日用品トスベシ本條ハ馬疋賣買ノ如キヲ云フモノニシテ馬疋賣買ノ如キハ瑕疵ヲ隱蔽シテ賣買スルモノアリ故ニ此等ハ特別法ヲ以テ規定スル事アルベキモ其特別法ヲ立ツルニ至ルマテハ此法ヲ適用スト云フニアリ（清岡）本條ノ如キハ假令ハ此民法ハ他日改正スルマテ之ヲ施用スト云フカ如シ奇異ナラスヤ（南部）定ムルニ至ルマテト云フハ奇異ナリ

（委員長）特別法ヲ以テ之ヲ定ムトシテハ如何此條文ナキトキハ此等ハ特別法ニ入ルモノカ否判然セサレハナリ（松岡）本條ノ如キハ不体裁ニ屬スベシ（委員長）不体裁ト云フハ此條ニ止マラズ不体裁ト云フ點ヲ以テ之ヲ除去セントスレハ他ニ如此條項ハ皆之ヲ刪ラサルベカラサルニ至ラン之ヲ刪除スルモ別ニ刪除スベキ理由ヲ見ス（南部）本條ナキモ民法ニ屬スル點ニシテ特別法ヲ設ケサルベカラサル場合ハ之ヲ設クルヲ得ベシトシタシ（委員長）然リ馬商ノ如キハ是非特別法ヲ以テ要スベシト雖モ本條ヲ刪ルト否トハ違テ設法ヲ盡シタル上ニスベシ

附錄 不分物公賣

第七百五十一條 不分財産ノ派分ヲ爲ストキ若シ所有者ノ一人カ現物ノ派分ヲ拒ムニ於テハ財産ノ熟議賣却又ハ公賣ヲ爲シ代價ハ有權者ノ部分ノ限度ニ關ヒテ之ヲ其各自ニ配當ス

（栗塚）公賣ノ字ハ總テ反譯上ニテ競賣トスベシ

第七百五十二條 若シ利害ノ關係人カ或ハ其間ノ一人又ハ第三者ニ熟議賣却ヲ爲スニ付キ或ハ其間ニ公賣ヲ爲スニ付キ一致スル事ヲ得ス又ハ其利害關係人中ニ失踪者若クハ無能力者アルトキハ不分物ノ公賣ハ裁判所ニ於テ又ハ裁判所ノ指定シタル公吏ノ前ニテ他ノ公賣ノ爲メ要セラレタル公式ヲ以テ且民事訴訟法ニ定メタル方式ニ從ヒテ之ヲ爲ス

共同公賣者ノ各自ハ常ニ公賣ニ付キ外人ノ參加ヲ許ス事ヲ要求スル事ヲ得ス共有者ノ一人カ失踪シ又ハ無能力ナルトキハ外人ノ參加ハ當然ニシテ且必要ナリ

（栗塚）本條ハ報告委員ニテ第三者ノ上又ハトアルチ若クハトシ或ハ其間ニト云フチ其利害關係人トシ一致スル事ヲ得サルトキトシ公吏ノ前ニテトアル下「之ヲ爲ス但民事訴訟法ニ定メタ

ル公賣ノ方式ニ從フチ要スルト云フ數字ヲ挿入セリ可決ス

第七百五十三條 共有者ノ一人カ物ノ全部ヲ得取シタルトキハ不分物公賣又ハ熟議賣却ハ其共有者間ノ派分ノ行爲ト看做サレ會社及ヒ相續ノ派分ニ關シテ定メタル効力ヲ生ス若シ第三者ニ競落又ハ熟議賣却ヲ爲シタルトキハ不分物公賣ハ第三者ト原共有者トノ間ニ此章ニ規定シタル如キ賣買ノ効力ヲ生ス

（栗塚）本條ハ報告委員ニテ看做サレノ下「テ」ノ字ヲ入レ關シテトアルチヲ除去セリ（村田）派分ト賣買ノ差異ハ如何（栗塚）派分ノ場合ハ最初ヨリ所有權アルモノト看做サレ賣買ト云ヘバ賣買其當時ヨリ所有權ヲ生スベシ（松岡）看做サレ然シテト云フ意味ナルチ以テ看做サレト云ヒシモノナラン（委員長）

此章ニ規定シタルト云フハ尋常ノ賣買ヲ云ヒシヤ（栗塚）然リ（南部）附錄ナルチ以テ此章ト云ヒシモノナリ（栗塚）第七百

二十三條ニテ買戻ト云フ字ハ起案者ノ意ニハ羅馬法以來ノ慣習  
字ナルヲ以テ佛國法ニモ之ヲ記用シタルモ元來妥當ノ字ニアラ  
ズ最初日本法律取調委員會ニ於テハ買戻ノ字ヲ採用セサル意見  
ナリト云フヲ以テ甚タ之ヲ贊成シ居タルニ爾後同會ハ其說ヲ捨  
テ、買戻ノ字ヲ取用セラレシトハ遺憾ニ堪ヘサルナリト云フニ  
アリ

### 第十三章 交換

第七百五十四條 交換ハ一方ノ當事者カ己レノ得取シ又ハ己レニ約  
東セラレタル物又ハ權利ノ對價ト看做サレタル物ノ所有權又ハ總  
テ其他ノ權利ヲ他ノ一方ニ移轉シ又ハ移轉スル事ヲ約スル契約ナ  
リ  
若シ互ニ讓渡シタル權利ノ一方價額ニ於テ他ノモノニ劣ルトキハ  
其不均等ハ金圓又ハ其他ノ物ニ於ケル補足額ヲ以テ之ヲ増補ス

若シ金圓ニ於ケル補足額カ受取りタル有價物ノ對換トシテ供給セ  
ラレタル有價物ノ價ニ超ユルトキハ其契約ハ賣買ト看做サル  
(粟塚)本條ハ報告委員ニテ己レノト云フ三字ヲ刪リ得取シノ  
下「タル物若クハ權利」ト云フ數字ヲ挿入シ物ノ下又ハトアル  
ヲ若クハトシ第二項増補ストアルヲ均一ニストシ第三項供給セ  
ラレタルトアルヲ供給シタルト修正セリ(清岡)本條若シ以下  
ハ如何ナル意味カ(粟塚)甲ノ馬ト乙ノ犬ト交換スルニ乙ハ犬  
ナルヲ以テ馬ト同價值ヲ有セサレハ金圓ヲ添へ交換スルヲ云フ  
(箕作)佛國ニテハ金圓ニ物ノ伴フタルトキハ交換トナレバナ  
リ

第七百五十五條 當事者ハ對換トシテ供給シ又ハ約束シタル物又ハ  
權利ニ關スル總テノ妨礙及ヒ追奪ノ擔保ヲ互ニ負擔ス  
若シ當事者ノ一方カ己レニ約束セラレタル權利ヲ得取セサリシト

キハ自己ノ撰擇ヲ以テ或ハ金圓ニ於ケル對價ヲ要求シ或ハ契約ノ解除ヲ請求シテ自己ノ與ヘタルモノヲ取回ス事ヲ得但何レノ場合ニ於テモ損害賠償ヲ受クベキトキハ之ヲ受ク

此場合ニ於テ解除ハ取戻ニ服スル不動産ニ付キ權利ヲ得取シタル第三者ニ對シテ之ヲ行フ事ヲ得ス但第三百七十二條第一項ニ從ヒ請求ノ公示前ニ其第三者ノ名義ノ登記又ハ記入アリタル事ヲ要ス（栗塚）約束セラレタル權利ヲ得取セサリシトキトアルハ約束セラレタル物又ハ權利ヲ得取スルヲ得サリシトキトスベシ可決ス報告委員ニテ損害賠償ヲ受クベキトキハ之ヲ受クトアルヲ損害賠償ヲ妨ケストセリ（箕作）損害アラハ其賠償ヲ受クトスベシ可決ス

第七百五十六條 賣買ノ規則ハ交換ニ之ヲ適用ス但左ノ例外ハ此限ニ在ラス

民事三ノ二二九

第一 交換ハ配偶者ノ間ニ許サル但互ニ供給シタル價額ノ不均等カ間接ノ利益ヲ成ストキハ贈與ヲ禁制シ又ハ制限スル規則ノ適用ヲ妨ケス

第二 定マリタル期間内ニ於ケル交換ノ任意ノ解除ニシテ當事者ノ一方又ハ雙方ノ爲ノニ要約セラレタルモノハ第六百六十四條ニ從ヒ賣買ノ豫約カ第三者ニ對抗セラル、事ヲ得ル條件ニ從フニアラサレハ之ヲ第三者ニ對抗スル事ヲ得ス

第三 交換ハ折損ノ爲ノ之ヲ銷除スル事ヲ得ス

（栗塚）本條ハ報告委員ニテ交換ノ上ニ左ノ例外ヲ以テト云フ字ヲ挿入シ但以下ヲ刪除ス交換ノ任意ノ解除ニシテトアル「ニシテ」ヲ「カ」トシ「モノハ」ヲ「トキハ」トシ「之ヲ」ヲ其解除ヲトセリ可決ス

第十四章 和解

民事三ノ二二九

第七百五十七條 和解ハ當事者カ交互ノ讓合又ハ損給ヲ爲シテ既ニ發シタル爭ヲ結了シ又ハ發スル事有ルヘキ爭ヲ豫防スル契約ナリ和解ハ其組成、有効、効力及ヒ證據ニ付テハ下ノ改様ヲ以テ合意ノ一般ノ規則ニ從フ

(栗塚)本條ノ「發」ハ報告委員ニテ皆「生」トセリ(清岡)損給ト云フハ物ヲ遺ルト云フ譯カ(栗塚)然リ

第七百五十八條 無能力者ニ關スル和解ノ有効ニ付キ要セラレタル條件ハ此法律ノ第一編ニ之ヲ定ム

國「デバルトマン」「コンミューヌ」及ヒ公設所ニ關スル和解ハ行政法ヲ以テ管知セラル

本條ハ國「デバルトマン」「コンミューヌ」トアルヲ國、府縣、市、町村、トシ管知セラルトアルヲ之ヲ管知ストセリ

第七百五十九條 和解ハ法律ノ錯誤ノ爲ノ之ヲ銷除スル事ヲ得ス但

錯誤カ相手方ノ誤謬ニ出ツルトキハ此限ニ在ラス

無異議

第七百六十條 和解ハ偽造ノ書類又ハ無効ノ名義若クハ所爲ニ憑リ承諾シタルモノトシテ之ヲ銷除スル事ヲ得ス但是等ノ事ヲ證據スル事ヲ得ヘキ當事者ニ於テ偽造又ハ法律カ所爲ノ無効ヲ附屬セシメタル事實ヲ知ラザリシトキハ此限ニ在ラス

(栗塚)本條ハ報告委員ニテ名義ノ下若クハトアルヲ即チトシ當事者ニ於テノ下ニ書類ノト云フ三字ヲ挿入シ書類ノ偽造ヲ知ラストシ又ハ法律ガ所爲ノトアルヲ又ハ所爲ノ法律上無効タルヘキトセリ(村田)名義即チ所爲トアル所爲ノ義ハ證書ト云フ所ナルヲ以テ證書トシテハ如何(南部)證書ノミニ限ラズ(栗塚)契約ト云フ義ナリ(清岡)本條ノ前段ハ偽造ノ書類タルヲ知リト云フヲ見ル能ハス(栗塚)本條ノ全文ヲ見レハ前段ノ意



味明カナルベシ（清岡）承諾シタルモノトシテアルチ承諾シ  
タリトノ申立チ以テトスレハ稍了解シ易カルベシ（松岡）偽造  
ノ下「チ知ラスト云フ文字ハ挿入スルニ及ハサレハ之ヲ認ルベ  
シ其議ニ決ス

第七百六十一條 定マリタル争ノ一箇又ハ數箇ノ原由ニ憑リ爲シタ  
ル和解ハ若シ新ニ發見シタル證據ニ因リ當事者ノ一方カ争ノ一箇  
若クハ數箇ノ目的ニ付キ何等ノ權利チモ有セサリシ事又ハ他ノ一  
方カ之ニ付キ完全ニシテ且争フ事チ得サル權利チ有セシ事ノ顯ハ  
レタルトキハ事實ノ錯誤ノ爲ノ亦之ヲ銷除シ又ハ取消ス事チ得  
若シ確定シタル判決又ハ攻擊スル事チ得サル契約チ以テ既ニ争チ  
結了シタルニ其判決又ハ契約チ知ル事ニ付キ利害ノ關係アリシ當  
事者カ之チ知ラサリシトキモ亦同シ  
然レトモ若シ和解力當事者雙方ノ前來ノ原由ニ憑リ爲ス事有ルヘ

キ總テ何等ノ争タリトモ之チ結了シ又ハ豫防スル事チ目的トシタ  
ルトキハ當事者ノ一方ノ利益ニ於ケル確定證書ノ發見ハ其證書カ  
相手方ノ所爲ニ因リ控留セラレタルトキニアラサレハ銷除チ生セ  
ス

（栗坂）本條ハ報告委員ニテ第一項ノ銷除シ又ハ取消ス事チ得  
トアルチ銷除スル事チ得トシ第二項ハ契約チ知ル事ニ付キ利害  
ノ關係アリシトアルチ契約チ知ルノ利益チ有スルトシ第三項ハ  
前條ノ原由ニ憑リ爲ス事アルベキトアルチ前條ノ原由ヨリ生ス  
ル事有ルベキトシ總テトアル下ニ「ノ」チ加フ（清岡）知ルノ  
利益チ有スルトハ如何（栗坂）知ラサルチ得サルト云フ譯ナリ  
（清岡）知ル事ニ付キ利益ト云ヘバ可ナリト雖モ知ルノ利益ト  
云フハ不可ナリ（南部）原文ノ通ニスベシ可決ス（栗坂）第三  
項和解力當事者雙方トアル當事者雙方ト云フ字ハ必要ナシ銷除

ニ決ス（松岡）總テノ何等ノ争タリトモ之ヲ結了シトアルハ總  
テノ争ヲ結了シトスヘシ可決ス

第七百六十二條 有効ナル和解ハ當事者ノ各自ノ利益ニ於テ互ニ認  
知セラレタル權利又ハ利益力既ニ生シ又ハ發見セラレタル争ニ係  
リシトキハ當事者ノ間ニ於テ確定判決ノ純然タル權利認定ノ効力  
ヲ生ス此場合ニ於テ右ノ權利又ハ利益ハ前來ノ原由ニ憑リ保有セ  
ラレタリト看做サル但當事者雙方ニ更改ヲ爲スノ意アリシトキハ  
此限ニ在ラス

若シ之ニ反シ互ニ供給セラレ又ハ約束セラレタル權利又ハ利益力  
全部若クハ一分ニ於テ争ニ係ラサリシトキハ和解ハ右權利又ハ利  
益ニ付テハ物權又ハ人權ヲ生シ移轉シ若クハ消滅スル有價名義ノ  
合意ノ規則ニ從フ

（果塚）本條ハ報告委員ニテ第一項ノ各自ノ利益ニ於テト云ヘ

ルヲ刪リ通知セラレタルトアルヲ通知シタシトシ當事者ノ間ニ  
ノ上ニ其ト云フ字ヲ加ヘ純然タルノ文字ヲ刪リ此場合ニ於テノ  
トアル下「ハ」ノ字ヲ加ヘ「右ノ」ト云フ二字ヲ其ニ換フ第二  
項ハ供給セラレテ供給シトシ又ハ約束セラレトアルヲ約束シト  
シ權利又ハ利益ノ下カ全部若クハ一分ニ於テトアルヲ刪リ利益  
ノ内トシ争ニ係ラサリシトキハトアルヲ争ニ係ラサリシモノア  
ルトキハトシ和解ハ右ノ權利又ハ利益トアルヲ刪リ其物ト云フ  
字ヲ挿入セリ（清岡）利益ノ内トセシハ利益ノ全部若クハ一部  
ニシテトスベシ可決ス（松岡）權利又ハ利益トスヘキ例ナシ（  
松岡）權利又ハ利益ト云フハ尙ホ起案者ニ質問スルヲ可トス（  
清岡）確定判決ノ權利認定ノ効力トハ如何（果塚）和解ハ如何  
ナル効力アルカ權利ノ移付ニアラスシテ確定判決ノ如ク元來權  
利ヲ存有セシモノ、如ク効力ヲ生スト云フニアリ

第十五章 特定會社

第一節 會社ノ本性及ヒ設立

第七百六十三條 會社ハ二人又ハ數人カ其間ニ配當セラルベキ利益ヲ收ムル爲ノ財産ヲ共通シ又ハ共通セント約スル契約ナリ

(清岡) 包括會社ニ付テハ如何(栗塚) 包括會社ノ點ハ此他ニ規定スベシ

第七百六十四條 會社ハ包括又ハ特定ナリ

包括會社ニ特別ナル規則ハ此編ノ第二部第二章ニ之ヲ定ム  
特定會社ハ各社員カ或ハ定マリタル物ヲ共通シテ利用スル爲ノ或ハ作業ヲ成シ又ハ定マリタル職業ヲ行フ爲ノ其定マリタル物ノ出資ヲ爲シ又ハ之ヲ約スル會社ナリ

(栗塚) 本條第三項ハ報告委員ニテ特定會社ハノ下各社員カトアル四字ヲ職業ヲ行フ爲ノト云フ下ニ換置セリ(松岡) 又ハ定

マリタル職業ヲ行フ爲ノトアル定マリタルノ字ハ制リタシ(南部) 一定マリタルノ文字ヲ制ルトキハ職業ノ定リタルト云フ義ヲ見ル能ハス(松岡) 起業者モ會社ハ出資ヲ一定スレバ事業ニハ變換アルモ間フ所ニアラズト云ヘリ(南部) 然ラバ或ハ定マリタル物ヲト云フ字ハ無効タルニ至ラン(栗塚) 此點ハ特定會社ハ各社員カ其定マリタル物ノ出資ヲ爲シ又ハ之ヲ約シ其物ヲ共通シテ利用シ或ハ作業ヲ爲シ又ハ職業ヲ爲スモノナリト云フ譯ナレハ定マリタル職業ト云フ定マリタルノ文字ヲ制ルベシ(松岡) 或ハ定マリタル物ト云フ其定マリタルノ文字ヲ制除スベシ(栗塚) 特定會社ハ各社員カ其定マリタル物ノ出資ヲ爲シ又ハ之ヲ約スルモノニシテ其物ヲ共通シテ利用スル爲ノ或ハ作業ヲ爲シ又ハ職業ヲ行フヲ目的トスル會社ナリトシテハ如何(村田) 各社員カ共通利用スルモノナルヲ以テ特定會社ハノ下各社員

カト云フ文字ヲ置キタシ（栗塚）各社員之ヲ共通利用スルモノ  
ニアラズ會社ト云フ無形人カ之ヲ共通利用スヘシ（南部）二ケ  
ノ定マリタルト云フ文字ヲ削リ其他ハ原案ニ決シタシ（清岡）  
或ハノ字ヲ削ルベシ（栗塚）或ハト云フハ文例ナルヲ以テ追テ  
再調査ノ節一定スル事ニシタシ其議ニ決ス  
第七百六十五條 社員ノ出資ハ或ハ不動産又ハ不動産ノ所有權若クハ  
收益權或ハ金圓勞力<sup>或</sup>ハ藝術ヨリ成ル事ヲ得  
出資ハ不均等及ヒ別異ノ本性タル事ヲ得

（清岡）本條次項ハ別ニ必要ナシ別異ノ本性ノ如キハ前項既ニ  
之ヲ記述シタルモノナレバナリ（松岡）金圓ト不動産ニハ差別ア  
ルカ（栗塚）不動産ト云ヒ金圓ト云フニシタルトテ別ニ不都合ナ  
カルベシ勞力ヲ不動産トモ云ヒ難ケレバ金圓勞力ヲ併合スルモノ  
ナレバナリ（南部）末項ハ出資ハ不均等タルヲ得トスベシ可決

ス

第七百六十六條 民事會社ハ當事者ノ意カ之ヲ無形人ト爲スニ在ル  
トキハ無形人ヲ成ス

此場合ニ於テハ會社ニ一ノ社名ヲ付シ且其契約ハ商事會社ノ公告  
ノ爲ノ法律ノ定ノタル方式ニ從ヒ披露ヲ以テ之ヲ公告スル事ヲ要  
ス

會社ニ社名ヲ付シ又ハ結社契約ヲ公告シタルノ所爲ノミヲ以テ社  
員ニ會社ヲ無形人ト爲スノ意アリト推定セラル

（南部）公告ノミニシテ登記ヲ脱セリ（栗塚）公示ノ爲ノトス  
ベシ公示ト云ヘバ登記ヲモ包含スベケレバナリ（松岡）公示ト  
云フ文字ハ登記公告ト云フ意味ニ用ヒタル場合ナシ（南部）登  
記ハ公示ナリ結局公示ノ爲ノ法律ノ定ノタル方式ニ從ヒ之ヲ登  
記公告スル事ヲ要ストス（松岡）登記公告ヲ爲サ、ルモ社名ヲ

附シタルノミニシテ無形人ト爲スノ意アリト推定シテ可ナルヤ  
（栗塚）個ハ會社ニ義務ヲ負ハシメタルモノナリ（松岡）會社  
ニ義務ヲ負ハシムルノミナラズ社員ノ權利ニモ關係スルヲ免レ  
ズ假令ハ社員中ノ財産ハ自己ニテ處分スルヲ得サルニ至ラン（  
清岡）本條ハ未タ有限無限ノ性質モ判然セサルニ社名ヲ附シタ  
ルノミニシテ無限責任ヲ負ハシメラル、ニ至ルノ悉レアリ（栗  
塚）登記公告ヲ爲シタルモノト社名ヲ附シタルモノトニ於テハ  
何ノ差異アリヤ（清岡）當事者ノ意思ノミニ於テ無形人ヲ形成  
シタルニ過キズシテ未タ公衆ノ間ニ表囑シタルモノニアラズ（  
栗塚）社名ヲ附シタル以上ハ無形人タルニ付キ即チ登記公告ス  
ベシト云フニ過ギズ社名ヲ附シテ登記公告セサルヲ云ヒシニア  
ラス（村田）第三項ハ無用ナルヲ以テ刪除スベシ何トナレバ前  
項ニ於テ無形人ハ登記公告スベシトアルヲ以テナリ（南部）無

形人ハ登記公告スベキモ之ヲ無形人トスル意思ハ何ニ因テ知ル  
事ヲ得ヘキヤ（栗塚）登記公告スルモ當事者ニ於テ無形人トス  
ル意思アルヤ否ヲ推知スル能ハサルナリ（清岡）會社力社名ヲ  
附シテ登記公告ヲ爲ササルトキモ無形人ト爲スモノト思惟セラ  
ルニ付キ當事者無形人トスルノ意思アルトキハ社名ヲ附シ登記  
公告ヲ爲スベシト云ハサレバ明カナラス（栗塚）第二項ハ無形  
人ハ登記公告スベシトシ第三項ニ於テハ社名ヲ附シタルノミチ  
以テ無形人トセラレ登記公告ヲスルニ及ハスト意味セラルルト  
云フ譯カ（松岡）然リ（栗塚）個ハ其意味ニアラス（松岡）第  
二項ト第三項トチ互ニ換置シテハ如何（南部）第一項ハ民事會  
社ハ當事者之ヲ無形人ト爲ス事ヲ得トシ末項ヲ除去シテハ如何  
（松岡）社名ヲ付シタリト雖モ商法ニ所關共算商業組合ヲ組織  
スルヲ得ヘシ必ラズ無形人ト認ムルニ及ハサルナリ結局第一項

ハ民事會社ハ當事者ノ意ニ因リ之ヲ無形人ト爲ス事ヲ得トシ末  
項ヲ删除スルニ決ス

第七百六十七條 合意ノ一般ノ規則ハ會社ニ之ヲ適用シ殊ニ當事者  
ノ承諾並ニ能力、目的、原由及ヒ證據ニ關スルモノハ會社ニ之ヲ  
適用ス

商事會社ニ特別ナル規則ハ商法又ハ特別法ニ之ヲ定ム

（村田）會社ニ之ヲ適用スト云フモ會社ノ何ニ之ヲ適用スルヤ  
知ルベカラス（清岡）末項ハ删除シタシ（南部）末項ハ民事ト  
商事ノ分ルル點ニシテ甚ダ要用ナリ

第七百六十八條 目的ノ商事タラサル會社ハ商法ニ從ヒ資本ヲ株式  
ニ分チ且之ヨリ生スル有限責任ヲ以テ合資又ハ無名ノ會社ノ組織  
ヲ受クル事ヲ得之カ爲メ民事會社タル事ヲ妨ケス

（栗塚）本條ハ商法ノ第五百五十五條ト全ク反對ナリ報告委員ノ

說ニ於テハ資本ヲ株式ニ分ツヘキモ事業上民事ノ目的ニ關スル  
モノハ民事會社タルベキモノナルベシト云フニアリ（南部）資  
本ヲ株式ニ分ツトキハ株式流通シテ利益ヲ受クヘキモノナレハ  
商事ノ會社ニ屬セシムルヲ可トス（尾崎）民事會社ト云ヘバ開  
業會社礦山會社建築會社ノ類ヲ云フカ（栗塚）然リ（尾崎）資  
本ヲ株式ニ分ツトキハ商事タルニアラズヤ（清岡）本條ハ起案  
者ニ改正ヲ求ムベシ（栗塚）起案者ハ改正スルヲ請セサルベク  
レバ本會ニ於テ決セラレタシ但以下ヲ删除スレバ可ナリ（南部  
）目的ノ商事タラサル會社ト雖モ資本ヲ株式ニ分ツトキハ商法  
ノ規定ニ從フトシテハ如何（清岡）然カスルモ之ヲ民法ノ上ヨ  
リ云フトキハ適當トセズ（村田）合資會社ニハ無限責任アルヲ  
以テ有效責任ヲ以テ合資又ハ無名ノ會社ノ組織ヲ受クル事ヲ得  
ト云フヘカラス（松岡）此合資ト云フハ佛國ノ株式合資會社ノ

如キナルベキモ商法ノ草案ノ上ヨリ見ルトキハ合資會社ニハ株式ヲ爲サシノサルモノトシタレバ不都合タルヲ免レズ（清岡）會社ハ其目的商事タラサルトキト雖モ資本ヲ株式ニ分ツトキハ商法ノ規定ニ從フトシテハ如何（栗塚）會社ハ其目的商事タラサルモ其資本ヲ株式ニ分ツトキハ商法ノ規定ニ從フトシテハ如何可決ス

第七百二十五條（栗塚）本條ハ舊ニ起業者ヨリ第三項ヲ改正スベキニ付キ留保ヲ乞ヒ置キタルナリ其第三項ハ起業者今マ之ヲ改正シ來タレリ買主ハ同一ノ場合ニ於イテ鑑定人ノ評價シタル物ノ現時ノ價ト債權者カ第七百二十七條ニ從カヒ賣主ノ權利ニテ己ノレニ返還スヘキ金額トノ差額ニ違スルマテ債權者ニ對シテ自己ノ負擔スルモノヲ辨濟シテ亦其債權者ノ訴ヲ止ムルコトヲ得トセリ報告委員ニテ更ニコレニ修正ヲ加ヘ第七百二十七條ノ上ニアル債權

者カノ字ヲ削リ第七百二十七條ニ從ヒ賣主ノ權利ニテトアルヲ第七百二十七條ヨリトシ差額ニ違スルマテノ下債權者ニ對シテ自己ノ負擔スルモノトアルヲ削リ賣主ノ債務ヲト云フ字ヲ挿入シ「亦其」ト云フ二字ヲ除ケシ（尾崎）此項ハ如何ナル意味カ（栗塚）假令ハ乙、甲ヨリ買戻ヲ得ヘキ約束ニテ一個ノ地所ヲ代價五百圓ヲ以テ讓受ケタリ他日此土地ノ代價千圓トナル此際甲ノ債權者丙此土地ヲ買戻サントス乙ハ甲ニ對シテハ五百圓ニテ買戻サルヘキモ丙ニ對シテ其代價ニテ買戻サルヘキ義務ナシ依テ賣主ニ賣戻セハ受取ルヘキ代價五百圓ヲ以テ評價額ノ時價千圓即チ五百圓ノ差額ニ限り賣主ノ債務ヲ辨濟シテ丙ノ訴ヲ止メシムルヲ得ト云フ譯ナリ

第二節 社員ノ權利及ヒ義務

第七百六十九條 會社ハ契約ノ日ヨリ始マル但明示又ハ默示ニテ他

ノ期限又ハ條件ニ服シタルトキハ此限ニ在ラス  
各社員ハ前同一ノ日ニ於テ及ヒ前同一ノ留保ヲ以テ其約束シタル  
出資ノ差出ヲ實行スル事ヲ要ス若シ之ヲ爲ササルトキハ其社員ハ  
當然果實並ニ利息及ヒ金額ニ對スルトキト雖モ遲延ノ爲ノ損害ア  
ルトキハ其賠償ヲ負擔ス

(果實)本條ハ報告委員ニテ他ノ期限ト云フ下ニ「ヲ定ム」ノ  
三字ヲ挿入シ條件ニ服シタルトアルヲ條件ヲ付シタシトシ各社  
員ハトアル下「前同一ノ日ニ於テ及ヒ前同一ノ留保ヲ以テ」ヲ  
刪リ會社ノ始マル時ニ於テトセリ當然果實トアル下並ニ及ヒ  
トシ利息ノ下「及ヒ金額ニ對スルトキト雖モ」ヲ刪リ利息ヲ負  
擔ス且云々トシ損害アルトキハノ下ニ出資ノ金額ナルトキト雖  
モト云ヘルヲ挿入セリ(村田)商法ニテハ會社ハ登記シタル以  
后第三者ニ對シテ權利義務ヲ有スルヤ(本尾)然リ本條ハ社員

間ノ權利義務ナルヲ以テ少シク差異アリ(南部)果實及ヒ利息  
ヲ負擔ストアルモ社員間ニ於テ果實及ヒ利息ヲ負擔スルヲ得サ  
ルトキハ如何(果實)民法ノ精神ハ社員間ノ一人ト雖モ其義務  
ヲ負擔スルヲ得サルトキハ解散スヘク同法ニ於テハ商法ト異ニ  
シテ會社ハ無形人ト視認セス各個人ノ組織シタルモノナレハナ  
リ資金ヲ目的トセス人ヲ目的トスル會社ハ其社員ノ一人カ退社  
シタルトキハ解社スベシ(南部)商法ニハ社員ノ一人出資ヲ欠  
シトキハ除名セラレ民法ニテハ解社トナルト云フニ付キ商事ト  
民事ト各別ナリト云ヘバ各別ナリト雖モ個ハ既觸タルヲ免レス  
(清岡)前條ニ於テ資本ヲ株式ニ分ツトキハ商法ノ規定ニ從フ  
トシタルニ依リ本條ニ於テ會社ハ契約ノ日ヨリ始マルト云フハ  
除去セザルベカラズ尤モ會社ハ契約ノ日ヨリ始マルトアルモ資  
本ヲ株式ニ分ツトキハ契約ノ日ヨリ始マルモノニアラズト云フ



解釋ニスレハ差支ナカルベキモ商法ニ於テハ此規定ト同シカラ  
サレハナリ(栗塚)此點ハ社員間ニ對スル規約ナリ第三者ニ對  
スルトキ即チ無形人トスル場合ニ於テハ登記公告セザルベカラ  
ズ(南部)商法ト既觸スル場合ハ特リ本條ノミニ限ラス會社ニ  
關スル各條ニ付キ起案者ニ質問シタシ

第七百七十條 社員カ會社ニ對シ自己ノ藝術又ハ勞力ヲ約束シテ之  
ヲ會社ニ供スル事ヲ欠キタルトキハ其社員ハ他ノ社員ノ撰擧ニ隨  
ヒ會社ニ對シ或ハ其義務ノ履行ヲ欠キタル當時ヨリ會社ノ受ケタ  
ル損害ノ賠償或ハ其時間又ハ藝術ヲ會社外ニ用ヒテ得タル利益ノ  
交付ヲ負擔ス

(栗塚)本條ハ報告委員ニテ社員カトアルチ社員ニシテトシ約  
束シテトアルチ約束シタル者カトセリ(南部)勞力ト云ヒ藝術  
ト云ノモ同事實ニシテ差異ナシ(尾崎)差異ナケレハ同一ニシ

タシ(栗塚)藝術又ハトアルチ制ルベシ可決ス(尾崎)時間ノ  
字ヲモ制ルベシ(南部)時間ト云フ字ハ時間ヲ以テ勘定スルチ  
モ得ベキチ示シタルモノナレバ存置シタシ(栗塚)時間ヲ會社  
外ニ用ユルト云フハ即チ勞力ヲ會社外ニ用ユルト云フ譯ナレバ  
藝術ノ文字ノミニシテ不都合ナシ即チ時間又ハト云フ四字ヲ制  
ルニ決ス

第七百七十一條 動産ト不動産ト中間ハス特定物ノ所有權ヲ會社ニ  
出賣ト爲ス事ヲ述ヘタル社員ハ會社ニ對シ賣主ニ對シ物ノ遺棄、  
面積又ハ數量ノ不足及ヒ隱レタル瑕疵ノ擔保人タリ  
若シ社員カ物ノ收益ノミチ會社ニ約シタルトキ貸賃人ニ等シタ擔  
保ノ責ニ任ス

(栗塚)本條ハ報告委員ニテ賣主ニ對シトアルチ賣主ノ如クト  
シ賃賃人ニ等シクトアルチ賃賃人ノ如クトセリ可決ス

第七百七十二條 若シ結社契約ヲ以テ社員中ニテ一名又ハ數名ノ  
理人即チ業務擔當者ヲ指定シタルトキハ其各自ハ己レニ付與セラ  
レタル委任ノ權限ヲ除ユサル事ヲ要ス

權限ノ定マラサル管理人即チ業務擔當者ハ共同ニテ又ハ各別ニテ  
管理ノ通常ノ所爲ヲ爲スニ止マル

又管理人即チ業務擔當者ハ會社ノ目的中ニ存スル最大重要ノ所爲  
ヲ共同ノミニテ爲ス事ヲ得異議アル場合ニ於テハ爭ハレタル所爲  
ノ中止スル事ヲ要シ其所爲ハ會合シタル社員議決權ノ多數ヲ以テ  
之ヲ決ス

（栗塚）本條第二項「即チ業務擔當者」ノ文字ヲ刪リ第三項「  
即チ業務擔當者」トアルヲ除キ共同ノミニテトアルヲ共同ニテ  
ノミトシ異議ノ上ニ但シト云フ字ヲ加フ（村田）管理人ト云フ  
ハ業務擔當者トシテハ如何（南部）第一項ニ管理人即チ業務擔

當者トアルニ付キ第二項及ヒ第三項ハ業務擔當者ト云ヘルヲ存  
在スベシ（村田）第一項モ管理人即チト云フ字ヲ刪除シテハ如  
何（南部）不可ナリ（栗塚）第三項ノ會合シタルト云フ五字及  
ヒ議決權ノ文字ハ起案者ヨリ刪除シ來レリ會合シタルト云ヘバ  
集會シタルモノ、如クナレバナリ（村田）第一項結社契約トア  
ルハ會社契約トシタシ他ノ場合ニ於テモ會社ノ文字ヲ用ヒタレ  
バナリ（西）第七百六十五條金圓ノ下「又ハ」ト云フ字ヲ入ル  
ベシ可決ス（委員長）管理人即チ業務擔當者ノ文字ハ第一項ハ  
其儘ニシ第二項及ヒ第三項ニ在ルモノヲ刪ルベシ可決ス（栗塚  
）多數ノ文字ハ過半数ノ意味ナルモ個ハ尙ホ比較多數ナルカ完  
全多數ナルカヲ起案者ニ質問中ナリ

第七百七十三條 若シ結社契約ヲ以テ何レノ社員ニモ管理權ヲ與ヘ  
サリシ場合ニ於テ該社員ノ一致ニテ之ヲ定メサルノ間ハ社員ノ各

自ハ前條ニ定メタル所爲ヲ同條ニ記載シタル條件ニ從ヒテ爲スノ  
權ヲ有ス

原案通

第七百七十四條 結社契約ヲ以テ管理人ニ選任セラレタル社員ハ正  
當ノ理由アルトキ又ハ管理人タル社員ノ承諾ヲ併セ總社員ノ同意  
アルトキニアラサレハ其委任ノ期限内ハ其解任ヲ爲ス事ヲ得ス  
結社契約以後ノ所爲ヲ以テ選任セラレタル者ハ之ヲ選任シタルト  
同一ノ方法ヲ以テ其承諾ヲ要セスシテ其解任ヲ爲ス事ヲ得

(栗塚)本條ハ報告委員ニテ管理人タル社員ノトアルヲ制リ其  
ト云フ字ヲ挿入シ其委任トアリ其解任トアル其ノ字ヲ制レリ(南  
部)第二項會社契約以後ノ所爲トアル所爲ハ合意トスベシ(栗  
塚)契約トスルモ可ナリ即チ契約トス(尾崎)會社契約以後  
ハ契約ヲ以テ選任セラレタル者ハ其承諾ヲ要セス總社員ノ同意

ヲ以テ解任スルヲ得ルヤ(南部)然リ前項ハ會社定款ニ關スル  
ヲ以テ管理人ノ無承諾ヲ以テ之ヲ解任スルヲ得ス(委員長)解  
任ヲ爲ス事ヲ得ト云フハ自ラ選任スルカ如クナレバ解任セラ  
トシテハ如何(南部)之ヲ解任スル事ヲ得トスベシ可決ス

第七百七十五條 社員又ハ社員ニアラザル管理人ヲ選任シタル方法  
ノ如何ヲ問ハス若シ其中ノ一人又ハ數人ノ死亡、辭任又ハ解任ア  
リテ是等ノ事件ニ因リ會社ノ解散セサルトキハ社員議決權ノ多數  
ヲ以テ其補闕ヲ爲ス

(栗塚)本條議決權ノ字モ起案者ノ刪除ニ係ル(村田)社員又  
ハ社員ニアラサル管理人ト云ヘハ社員ト社員外ノ管理人トノ如  
クニシテ社員ニシテ管理人ト社員ニアラサル管理人タルトテ認  
ムルヲ得ス(尾崎)社員ニシテ管理人ヲ兼ヌルト社員外ニシテ  
管理人タルトアルベシ(清岡)社員ノ多數ヲ以テ其補欠ヲ爲ス

ト云フハ社員一人ノ補欠ニ社員多數ノ人員ヲ充ツルカ如クナル  
ヲ以テ種ナラス（栗塚）補欠ヲ決ストシテハ如何可決ス

第七百七十六條 會社定款ノ執行ニ付キ爲スベキ總テ其他ノ處分ハ  
亦社員議決權ノ完全多數ヲ以テ之ヲ定ム

定款ヲ變更スル事又ハ定款ニ定メサル所爲ヲ爲ス事ニ關シテハ總  
社員ノ一致ヲ必要トス

右ハ其定款又ハ法律ノ之ニ反スル規定ヲ妨ケス

（栗塚）本條議決權ト云フモ前例ニ依リ刪除ス完全多數ト云フ  
字ハ本條ニ初テ現出シタルモ前各條ニアル多數ト云フモ完全多  
數ノ意味ナルニ何故ニ本條ノミ完全ノ字ヲ用ヒシヤト云フヲ起  
案者ニ質問中ナリシ（村田）第二項ノ定款ヲ變更スルト云フハ  
定款ニ違反スルト云フ意ナルヲ以テ變更ト云フハ不可ナリ（栗  
塚）定款ニ違フ事トスベシ可決ス（村田）第三項冒頭右ハト云

フハ然レドモトスベキニアラズヤ（栗塚）總テト云ヘバ意味ヲ  
有セリ（委員長）初項ノ其他ト云フ字ハ定款執行外ニ係ルヲ以  
テ定款ニ違フ事ニ當ルニアラズヤ（栗塚）其他ノ字ハ刪ルベシ  
（清岡）其他ノ字ヲ刪ルトキハ前條ヲ置キシ効用ナシ（南部）  
其他ノ字ハ冒頭ニ冠置スベシ可決ス

第七百七十七條 若シ第三者カ會社ト業務擔當ノ任アル社員ノ一人  
トニ對シテ同本性ノ債務ヲ負擔シタルトキ其第三者カ二箇ノ債務  
ヲ消滅セシムルニ足ラサル金額又ハ有價物ヲ右ノ社員ニ辨済スル  
ニ於テハ其社員ハ會社ノ債權ノ價額ニ比較シタル自己ノ債權ノ價  
額ノ割合ヲ以テスルニアラサレハ自己ノ債權ノ辨済ニ充當スル事  
ヲ得ス然レトモ債務者ノ爲シタル充當ハ之ヲ遵守スル事ヲ要ス  
然レトモ若シ債務者カ社員ノ債權ニ付キ全部ノ充當ヲ爲スニ正當  
ノ利益ヲ有セスシテ其充當ヲ爲シタルトキハ社員ハ辨済ニ於テ其

割合ニ應スル部分ヲ會社ニ交付スルノ責ニ任ス  
債務者又ハ社員カ有効ナル充當ヲ爲サ、ルトキハ第四百九十三條  
ニ從ヒ法律上ノ充當ノ規則ヲ適用ス

（栗塚）本條ハ報告委員ニテ業務擔當トアルヲ管理トシ第二項  
部分ノ字ハ起案者ニテ持分トシ來レリ（清岡）本條第二項ハ如  
何（栗塚）第二項ハ全部ノ充當ニ關シ初項ハ一部ニ關シ充當ヲ  
行フモノナリ（清岡）初項ノ然レトモ以下ハ債務者ヨリ充當返  
濟ハ之ヲ遵守セサルヲ得スト云フ譯カ（栗塚）然リ（南部）部  
分ヲ持分トスルハ最初ノ如ク部分トスルヲ可トス（栗塚）持分  
ハ部分トスヘシ可決ス（村田）英文ニテハ辨濟ノ割合ノ部分ト  
ナレリ（栗塚）辨濟ニ於ケル割合ト云フ譯ナリ（清岡）全部ノ  
充當ト云ヘバ負債額ノ全部ト云フ嫌ヒアリ（尾崎）第二項ハ債  
務者カ充當ヲ爲スニハ正當ノ利益アルモノナラサルベカラサル

義ナリ（栗塚）債務者正當ノ利益アルモノニ充當スルニアラサ  
レバ債權者債務者ト通謀シ自己ニ償却セシムルモノアルチ免レ  
サレハ若シ其所爲アルトキハ其債權者ノ受取リタル金額ハ會社  
ニ交付セサルヲ得ス（尾崎）清岡委員ノ説ハ第三者ハ會社ニ償  
却スルモ社員ニ償却スルモ可ナリ只債務者ノ正當ノ利益ヲ有セ  
サルトキハ其償却シタル金額ハ會社ノ爲メニ交付セシメラルル  
ト云フ譯ナラン即チ其説ノ如クナルニアラスヤ（栗塚）然リ（  
委員長）第二項ハ社員ノ債權ニ付キ正當ノ利益ヲ有セスシテ全  
部ノ充當ヲ爲スニトシテハ如何（栗塚）不可ナリ（尾崎）全部  
ノ充當ト云ヘハ負債額悉皆ヲ云フ如クナルモ此點ハ只一方ノミ  
ニ償却シタル場合ナラン（栗塚）然リ（清岡）全部ト云フ字ハ  
刪除シタシ（南部）全部トアルモ前項ニ自己ノ債權ノ償額ノ割  
合ト云フモノアルチ以テ全部ト云フモ負債満額ト見ラルベキニ

アラズ（委員長）起案者ハ債権満額ヲ想像シタルモノナラン  
債権満額ト解スルモ不都合ナシ（栗塚）其充實ノトアルヲ  
謂リ之ヲトスベシ可決ス（村田）割合ニ應ズル部分ト云フハ  
組合部分トシテハ如何（栗塚）個ノ意味ハ辨濟ノ金額中ヨリ  
會社ノ債権ニ屬スル部分ト云フ譯ナリ（清岡）其辨濟ノ内割合  
ノ部分ヲトシテハ如何可決ス

第七百七十八條 管理人タルト否トチ問ハス社員ニシテ  
會社ノ債務者カ會社ニ對シテ負擔シタル物ノ一分ヲ其債務者  
ヨリ受取リタル者ハ場合ノ如何ニ拘ハラズ「自己ノ部分ノ爲  
ノ受取證書ヲ與ヘタルトキト雖モ其共同社員ニ之ヲ利セシムル  
事ヲ要ス

（栗塚）本條ハ報告委員ニテ會社ノ債務者カトアルチ會社ノ  
債務者ヨリトシ會社ニ對シテ負擔シタル物ノトアルチ會社ニ  
對スル債務ノト修正シ其債務者ヨリトアルチ關レリ（清岡）  
會社ノ

債權ニ付キ社員中ノ一人カ自己ノ受取書ヲ發スヘキ譯ナシ  
（南部）社員中ノ一人ハ連帶債權者ナルチ以テ債權ノ全額ヲ  
受取ルニ差支ナキモ其受取金額ハ自己ノミノ利益トスルチ得  
スト云フ譯ナリ（栗塚）部分ハ持分ノ誤リナリ（南部）「レ」  
チ除クベシ（委員長）此「レ」ハ有用ニアラスヤ（南部）法文  
ニ「レ」アルハ不可ナリ（栗塚）「レ」ハ圖點ノ代用ナリ自己  
ノ持分ノ爲メトシテト云フカ如シ（清岡）「レ」チ置キ割註チ  
用ユルモ別段差支ナカルベシト思考ス（栗塚）此點ハ債權者  
カ債務者ノ無資力トナリシ場合ヲ想像シタルモノニシテ債務者  
假令無資力トナルモ債權者ハ自己ノ部分ノミ債却セシムルチ  
得ズ若シ自己ノ部分ノミノ受取證書ヲ出スモ其受領シタル金額  
ハ自己ノミノ利益ニ歸スルチ得ズト云フ譯ナリ結局場合ノ如何  
ニ拘ハラズ其共同社員ニ之ヲ利セシムル事ヲ要ス但シ自己ノ  
持分ノ爲メ受領證書ヲ與ヘ

タルトキト雖モ亦同シトス

第七百七十九條 支配人タルト否トチ問ハス各社員ハ其過愆又ハ懈怠ニ因リ會社ニ加ヘタル損害ヲ補償スルノ責ニ任ス

此損害ハ社員カ他ノ業務ニ於テ會社ニ得セシメタル利益ト相殺セラル、事ヲ得ス但其業務カ互ニ牽連シタルトキハ此限ニ在ラス

(栗塚)本條支配人トアルハ反譯上管理人ノ誤ナリ(南部)本條ハ商法ノ第九十二條ニ該當セリ

第七百八十條 結社契約ヲ以テ管理人ヲ指定セサル爲メニ業務ヲ擔當シタル社員ハ會社ノ業務ニ自己ノ業務ト同一ノ注意ヲ加ヘサルトキニアラサレハ其過愆ノ責ニ任セス

(栗塚)本條結社契約ハ前例ニ依リ會社契約トシタリ又本條ハ商法第九十二條ニ該當セリ(村田)業務ヲ擔當シタル社員ハ管理人タル社員ト云フヘキニアラスヤ(委員長)第七百七十七條

ノ業務擔當ヲ管理トシタルヲ原案ニ復シ本條ハ此儘ニ據置クベシ(松岡)商法第九十二條ハ齊整ナル商人トアルヲ以テ普通ノ注意ニテハ足レリトセス(栗塚)普通ノ注意ヲ爲シタルモノヲ以テ足レリトセサルト云フベキ理アルヲ知ラス本條ノ如キハ響ヘハ親ニ事ルニハ牽連セヨト云フカ如キモノニシテ敢テ不考ヲ標的トセズ牽連ヲ目安トスルガ如シ

第七百八十一條 各社員ハ會社資本ニ於テ處分スル事ヲ得ル金額ナキトキハ會社ニ屬スル物ニ關スル必要及ヒ保持ノ出費ヲ自己ノ權利ノ割合ニ應シテ分擔スルノ責ニ任ス

(栗塚)本條ハ報告委員ニテ各社員ハノ下會社資本ニ於テ處分スル事ヲ得ル金額ナキトキハトアル數字ヲ削リ結尾ニ但書ヲ附シ但會社資本ニ於テ處分スル事ヲ得ル金額ナキトキニ限ルトセリ(清岡)本條ノ修正ハ如何ナル必要アルカ(栗塚)原案ノ通

リニテハ會社資本中ニ何チ處分スルチ得ル金額アルヤノ疑點アルチ以テナリ本條ハ原案ニ決ス（松岡）會社ニハ資本金アルモ其資本金ヲ貸付シアルトキハ社員ハ各自ノ新出費ヲ負擔セサルベカラザルカ（南部）其場合ハ立換ノ名義トナルベシ（清岡）社員ハ屢々保持ノ出費ヲ爲サ、ルチ得スト云フハ社員ニ於テハ困難ナルベシ（松岡）御合ノ出費ヲ否拒スルトキハ如何（栗塚）解散セサルチ得ス又本條ハ商法ノ第九十六條ト抵觸ス（委員）長（起案者）ニ質問スベシ（松岡）一時會社ノ資金他ニ流通セシニ付キ欠乏シタルトキナレバ立換金ヲ爲スベキモ寡婦孤兒ノ如キ配當金ノ利益ニ依リ漸ク生計ヲ營ミシモノ、如キハ甚ダ迷惑ナリ（栗塚）尙ホ起案者ニ質問スベシ（南部）本條ハ會社力未タ無形人ヲ表示セサル場合ナリ（栗塚）然リ各自ノ資本會社中ニ係ルモノニアリ

第七百八十二條 右ニ反シ業務擔當者タルト否トチ問ハス各社員ハ會社ヲシテ自己ノ出資外ニ會社ノ爲メ有益ニ立換ヘタル金額ヲ返還セシメ又ハ會社ノ利益ノ爲メ善意ニテ負擔シタル約務ヲ確認セシメ又ハ會社業務ノ爲メ自己ノ財産ニ受ケタル避クル事ヲ得サル損害ヲ賠償セシムル事ヲ得

本條ハ報告委員ニテ負擔シタルトアルチ結ヒタルトセリ（委員）長（爲シタルトスベシ可決ス（清岡）本條修正ノ理由ニ約務ヲ負擔シタルト云フ嫌ヒアルチ以テトアルハ如何（栗塚）會社力約務ヲ負擔シタル嫌ヒアリト云ヘリ（清岡）其嫌念ナシ結局原案ニ決ス

第七百八十三條 會社業務ノ爲メ社員ノ立換ヘタル金額ハ其使用ノ日ヨリ右社員ノ利益ニ於テ當然利息ヲ生ス之ニ反シ各社員ハ自己ノ業務ノ爲メ會社資本中ヨリ取用ヒタル金



額ノ利息ヲ當然會社ニ對シテ負擔ス但此場合ニ於テ一層大ナル損害アリタルトキハ之ヲ賠償スル事ヲ妨ケス

(稟報) 本條ハ第二項ノ取用ヒトアルヲ引出シトセリ(清岡) 引出ト云ヘルハ借用シタル事カ(稟報) 然リ(松岡) 利息ハ民法ニテハ百分ノ六ナルカ(稟報) 然リ(尾崎) 損害賠償ハ利息拂ヒテスルモ尙ホ會社ノ損害アルヲ免レサルトキナラン(松岡) 商法ニテハ賠償スルノ義務アリトナレリ(清岡) 引出シト云フヨリ取用ヒトスルヲ可トス自己カ勝手ニ使用セシトキナレバナリ(南部) 此點ハ會社カ或ル事業ニ使用セントスル金額ヲ社員カ之ヲ引出スニ付キ會社ノ資本ヲ轉用スル事ナリ遂ニ報告委員ノ修正ニ決ス

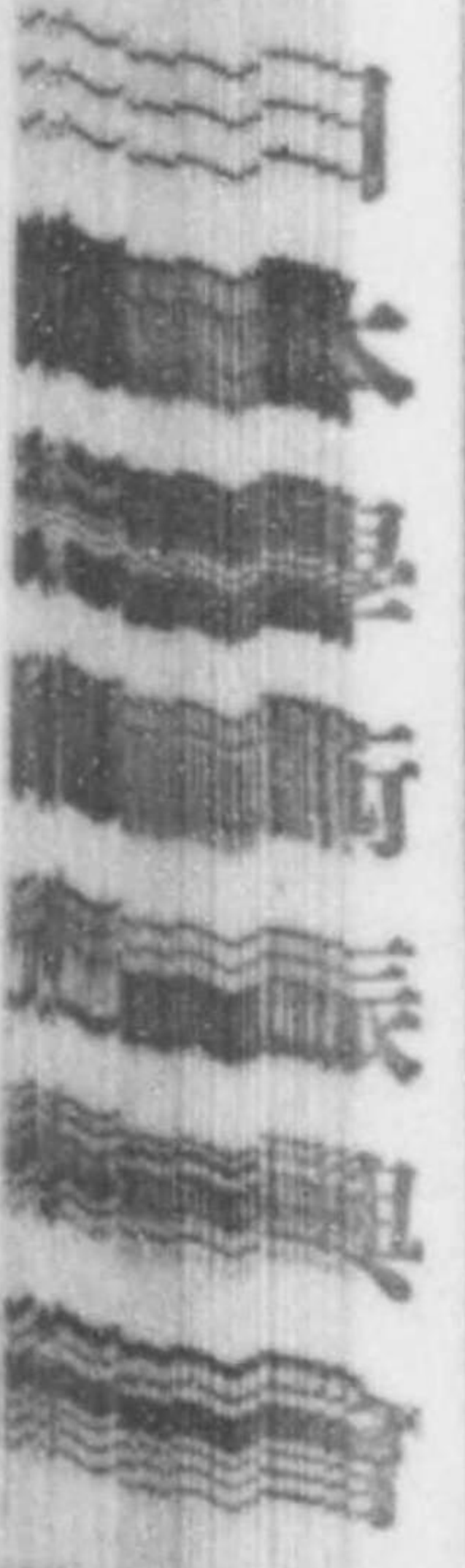
第七百八十四條 社員ハ會社ノ存續中ニ得タル利益ニ因リ増加シ又ハ受ケタル損失ニ因リ減少シテ會社解散ノ際ニ存スル會社資本ニ

於テ其相互ノ部分ヲ結社契約又ハ其後ノ所爲ヲ以テ自己ノ隨意ニ定ムル事ヲ得但第七百八十六條ニ記載シタル二箇ノ例外ハ此限ニ在ラス

(稟報) 本條ハ報告委員ニテ會社資本トアル會社ヲ關リ資本ニ於テトアルヲ資本ニ付キトシ部分ハ反譯上ニテ持分トナリ結社ハ前各條修正ノ例ニ依リ會社トナリ其後ノ所爲ヲトアルヲ其後ノ契約トシ自己ノ、三字ヲ關リ例外ハトアルヲ場合ハトセリ(村田) 會社資本トアル會社ハ原文ニモ記載シアレバ刪除セサルヲ可トス(稟報) 原文ニハ記存セルト雖モ語勢ヲ圓滑ナラシメシニ過キズ結局刪除ニ決ス

第七百八十五條 又社員ハ其中ノ一人又ハ數人ノ部分カ利益及ヒ損失ニ於テ同一ナラサル事ヲ合意スル事ヲモ得

然レトモ利益ノミヲ豫見シテ右ノ部分ヲ定メタルトキハ損失ニ付



テモ同一ノ定テ合意シタリト推定セラル

續テノ場合ニ於テ受ケタル損失ヲ控除シ會社ノ貸方トシテ殘ル所ノモノニアラサレハ配當スヘキ利益ト看做サス又右貸方ヲ端シタル後負擔トシテ殘ル所ノモノニアラサレハ損失ト看做サス

右ハ會社ノ存續中利益又ハ損失ノ一分ノ配當アリタルトキト雖モ會社解散ノ際確定ニ計算セラル

(栗塚)本條第三項負擔ト云フ字ハ報告委員ニテ借方トセリ(清岡)第三項ノ右貸方ヲ端シタル後ト云フハ如何(栗塚)控除シタル后チト云フ譯ナリ(村田)悉皆貸方ヲ取戻シタルチ云フ(栗塚)本條末項ハ報告委員ヨリ此規定ノ如クナラバ會社解散ノ際配當部分ノ確定ノ計算ヲ爲サル、モノトナラハ五年若クハ十年前ニ配當サレタル金額ト雖モ更ニ計算ヲ改メラル、モノトナルチ以テ社員ハ甚ダ不安心ノモノト云ハサルベカラズ依テ毎

年確定計算ヲ爲スモノトセザルベカラズト云フ主旨ヲ以テ起案者ニ質問シタルニ起案者ハ更ラニ此項ヲ改テ然レトモ會社ノ存續中爲シタル利益又ハ損失ノ詐欺ナリ一分ノ配當ハ維持セラルト爲シ來レリ(委員長)詐欺ナクト云フハ存續中ノ下へ挿入シ詐欺ナクシテ爲サレタルトスヘシ(村田)維持セラルトアル上ニ解散ノ際ト云フ字ヲ置キタシ(清岡)此場合ハ會社解散ノ事柄ヲ云フモノナレハ解散ト云フヲ挿入スベシ(南部)維持セラルト云フハ會社解散ノ際ニ限ラズ一旦計算シタル配當ハ更ラニ再計算ヲ爲サ、ルチ云フモノナリ(委員長)維持セラルト云ヘハ一旦計算シタル配當ノ會社解散ノ際ニ至ルマテ維持セラルト云フニ疑ヒナシ(尾崎)會社存續中ニ爲シタル計算ハ假計算ニシテ確定ノ計算ニアラズト雖モ其會社解散ノ際ハ右假計算タリシモノヲ確定ノ計算トナスニアリ(清岡)第三項ノ如キハ貸方

ヲ竭シタル後ニアラサレハ配當スルヲ得ス依テ會社ハ追々損失  
ヲ嵩増シアルニ其利益配當ヲ受クベキ理由ナシ結局此儘ニ決ス  
第七百八十六條 會社資本ノ全部又ハ會社ノ得タル利益ノ全部ノミ  
ヲ社員中ノ一人ニ歸スヘキ約款ハ無効タリ

藝術ノミヲ出資ト爲シタル社員ニアラサル社員ニ總テ損失ノ分擔  
ヲ免レシムル約款ニ付テモ亦同シ

若シ結社契約中ニ右ノ約款ヲ附記シタルトキハ其約款ハ契約ヲシ  
テ全ク無効タラシム若シ又日後ニ右ノ約款ヲ採用シタルトキハ其  
約款ハ原契約ヲ存立セシメ會社ノ清算ハ第七百八十九條ニ從ヒテ  
爲サル

（栗塚）報告委員ニテ第七百八十九條ハ商法ノ第九百九條ニ抵觸  
スルヲ以テ起案者ニ此點ヲ質問スベシト云フニアルカ本條第二  
項モ其關係アルヲ以テ他日共ニ議定セラル、マテ留保アリタシ

可決ス第三項ハ其約款ハトアル下ニ會社ノ二字ヲ挿入シ採用ヲ  
合意トセリ（委員長）會社ノ二字ヲ挿入セサルモ感ヒナカルベ  
シ（清岡）約款ノ契約ト云フ嫌ヒナキニシモアラズ（委員長）  
末文ノ爲サルトアルハ之ヲ爲ストスベシ可決ス（栗塚）第二項  
約款ニ付テモトアル「ニ付テ」ノ三字ヲ刪レリ（清岡）第一項  
ノ全部ノミヲト云フハ如何（委員長）利益ノミヲ云ヒ損失ヲ云  
ハサルニ付キノミト云ヒシナラン（栗塚）否此點ハ資本ノ全部  
ト利益ノ全部ト云フ譯ニシテ單ニ會社ノ利益ノ全部ト云フ譯ナ  
リ（南部）ノミト云フヲ除去シテハ如何（今村）佛文ニテハ必  
要ノモノナリ（南部）日本文ニテハノミト云ハサルモ通スベシ  
（栗塚）此ノミハ會社資本及ヒ會社ノ利益ト云フ二様ニ係ル嫌  
ヒアリ（西）ノミヲ利益ノ下ニ轉置シテハ如何其議ニ決シ且報  
告委員ノ修正ヲモ可決ス

第七百八十七條 社員ハ自己ノ選任シタル又ハ撰任スヘキ社員又ハ外人タル一人若クハ數人ノ仲裁人チシテ會社解散ノ際各自ノ持分ヲ定メシムル事ヲ結社契約又ハ其後ノ所爲チ以テ合意スル事ヲ得仲裁人ノ爲シタル定方ハ仲裁人カ仲裁契約ヲ以テ已レニ命セラレタル方式若クハ條件ヲ履行セヌ又ハ明カニ公平ニ違ウタルトキニアラサレハ之ヲ攻撃スル事ヲ得ス

右定方ノ無効ノ請求ハ之ニ因リテ審セラレタリト主張スル社員ノ方ニ在テハ其社員カ其定方執行ヲ助成シタルトキ又ハ之ヲ知りタルヨリ三個月ヲ經過シタルトキハ之ヲ受理セス

(稟報) 本條ハ報告委員ニテ第一項所爲ヲ契約トシ第二項履行セストアルヲ履行セサルカトシ第三項執行ヲ助成シタルトアルヲ執行ニ加ハリトセリ(清岡) 第一項自己ノ選任シタルトアルハ自己ノ選任シトシテハ如何(委員長) 選任シト云ヘルハ不可

民三ノ一五〇

ナリ(稟報) 選任セシトシテハ如何又一人若クハ數人ト云フ字ハ不用ニアラズヤ(清岡) 選任シタル又ハト云フ文章ハ甚ダ奇異ナリ(委員長) 奇異ハ奇異ナリト雖モ選任シト云フニ勝レリ此二項ハ自己ノ選任シタル仲裁人條件ヲ履行セサルトキハ其委任ヲ解カサルヘカラス(村田) 條件ヲ履行セサルトキハ無効トシ之ヲ取消スヘシ

第七百八十八條 結社契約ヲ以テ持分ノ定方ヲ仲裁人ニ任スヘキ事ヲ定メタル場合ニ於テ少ナクトモ社員ノ過半數カ仲裁人ヲ選任スル事ニ一致スル事ヲ得サルトキハ裁判所ニ於テ其選任ヲ爲ス若シ指定セラレタル仲裁人カ定方ヲ爲ス事ヲ欲セス又ハ之ヲ爲ス事能ハサルニ當リ社員カ之ヲ改選スル事ニ一致セサルトキモ亦同シ

(稟報) 本條ハ報告委員ニテ第一項一致スル事ヲ得サルトアル

ヲ一致セサルトキハトセリ可決ス

第七百八十九條 社員自身ニテ若クハ仲裁人ヲ以テ持分ノ定方ヲ爲サス又ハ仲裁人ノ決定力取消サレタルトキハ會社資本及ヒ利益又ハ損失ハ社員交互出資ノ價額ノ割合ニ應シテ之ヲ其間ニ分配ス  
社員カ其義務ノミヲ出資ト爲シタルトキ之ヲ評價セサルニ於テハ其社員ハ他ノ社員中出資ノ最モ少ナキ者ニ等シキ取扱ヲ受ク  
社員ニシテ同時ニ其義務ト他ノ財産ヲ出資ト爲シタル者ハ前項ニ定メタル持分ノ外尙ホ右ノ財産ノ價格ニ隨ヒ計算シタル他ノ持分ヲ收受シ又ハ之ヲ負擔ス

(果報) 本條第二項モ商法第百五條ニ從ヒ修正スベキモ尙ホ起案者ノ返答ヲ待ツヘキニ付キ留保セラレタシ(清岡) 決定力取消サレタルトキト云フハ如何(果報) 第七百八十七條ニアリシ如ク攻撃セラル、チ云フ(清岡) 攻撃ハ取消シカ(果報) 然リ

又義務ノ字ハ皆努力トスベシ(委員長) 財産ハ權利ナリト云フ元則アルヲ以テ努力ト財産トヲ分ツハ抵觸スルニアラスヤ(果報) 財産ニハ遺棄シタルモノヲモアルヲ以テ財産ハ權利ト云フヲ以テ推スベカラズ(尾崎) 持分ノ上ニアル他ノト云フ二字ハ其外ト云フ如キ嫌ヒアルヲ以テ刪除スベシ可決ス

第七百九十條 各社員ハ自己ノ持分ニ第三者ヲ加入セシメ又自己ノ持分ヲ抵當トシ又ハ讓渡ス事ヲ得ルト雖モ是等ノ所爲ハ會社ニ對抗セラル、事ヲ得ス但結社ノ原契約ヲ以テ此權利ヲ認メ又ハ資本ヲ株式ニ分チタルトキハ此限ニ在ラス  
右二箇ノ場合ニ於テ若シ會社カ社員ノ讓渡サント欲スル持分又ハ株式ヲ廢滅スル爲メ先買權ヲ留保シタルトキハ其約款ハ遵守セラレ社員ハ會社カ其先買權ヲ行ヒ又ハ拋棄スル事ニ付キ之ヲ遲滞ニ付スル事ヲ要ス

（栗塚）本條ハ報告委員ニテ第一項ノ加入セシメトアルヲ乗合  
ハシメトシ抵當ヲ質トシ此權利ノ上ニ社員ニト云フ字ヲ挿入シ  
又自己ノ持分トアルヲ又其持分トシ第二項ノ先買權ヲ行ヒトア  
ルヲ先買權ヲ行フカトセリ（清岡）乗合ハシメト云フヨリ加入  
セシメトスルヲ可トス（栗塚）此點ハ社員ノ一人自己ノ出資額  
ヲ或ル者ト共ニ組合ヒ其半額ヲ差出サシメ其二人ノ間ハ恰モ一  
個ノ會社ヲ組立テタルカ如キモノヲ云フニアリ（委員長）組合  
ハシメトスベシ可決ス（南部）各社員ハノ下自己ノ持分ヲ其ト  
スベシ（委員長）自己ヲ其トスルハ不可ナリ即チ否決セラル（  
村田）但ノ下ハ會社ノ原契約トセサルベカラス（栗塚）原契約  
ハ會社ノ契約ト云フ譯ニシ社員中組合契約ヲ爲シタルトキハ別  
ニ一個ノ會社ヲ爲シタル如キヲ以テ原契約ト云ヘリ（清岡）報  
告委員ニハ原契約ノ原ヲ圖ラントシタルハ如何（栗塚）原契約

ト云フモ即チ會社契約ナルヲ以テ原ノ字ヲ除去シタルモ組合契  
約ハ別ニ會社ヲ組立テタル如キモノナレハ原契約ト云フヲ可ト  
スト云フニテ圖除セサルニアリ

第七百九十一條 業務擔當者カ會社ノ名ヲ以テ又ハ會社ノ業務ノ爲  
ノ有効ニ負擔シタル約務ハ會社カ無形人ヲ爲ストキハ各社員ノ一  
身上ノ債權者ニ先タテ會社資本ヲ以テ擔保セラル

會社資本ノ不充分ナル場合ニ於テ又ハ訴追シタル債權者ニ會社資  
本ヲ示サ、ル場合ニ於テハ總社員ハ連帶シテ會社ノ義務ヲ負擔ス  
但資本ヲ株式ニ分テタル場合ハ此限ニ在ラス

會社カ無形人ナラサルトキモ亦同シ

右二箇ノ場合ニ於テ確定ノ定方ハ第七百八十四條乃至第七百八十  
九條ニ定メタル如キ貸方及ヒ借方ニ於ケル各自ノ持分ニ從ヒ社員  
ノ間ニ爲サル

(栗坂)本條ハ第一項業務擔當者トアルヲ管理人トシ第二項ノ  
 場合ニ於テトアル「ニ於テ」ヲ刪リ訴訟ノ上ニ其資本カト云フ  
 字ヲ挿入シ會社資本ヲト云フ五字ヲ刪リ示サ、ルトアルヲ示サ  
 レサルト改メ第四項ハ確定ノ定方トアルヲ刪リ各社員間ノ決算  
 ト云フヲ挿入シ末尾ノ社員ノ間ニトアルヲ刪除シ爲サルトアル  
 ハ之ヲ爲ストセリ(尾崎)第二項ハ無限責任ナルカ(栗坂)民  
 事ニ於テハ株式ニアラサルトキハ皆無限責任ナリ(清岡)第二  
 項ハ總社員連帶シテ會社ノ義務ヲ負フト云フトキハ資本ヲ株式  
 ニ分タサルトキハ無限責任トナルカ(委員長)株式會社ニアラ  
 サルトキハ無限責任ヲ負ハサルベカラスト雖モ有限責任ヲ表示  
 シ置クニ不都合ナカルベシ(南部)定款ニ有限責任ノ契約ヲ爲  
 ストキハ有限責任會社ト爲スヲ得ルモノトスルモ果シテ然ルト  
 キハ但書ヲ附シテ之ヲ明記セサルヘカラス(栗坂)起案者ハ關

ヘラク佛國ニ於テハ民事會社ハ無形人ヲ爲サスト雖モ民事會社  
 ト雖モ無形人ヲ爲サ、ルニアラス然ラハ社員ハ連帶責任ヲ負フ  
 ヘシト云フニアリ(清岡)民事會社ハ資本不十分ナル場合ニハ  
 連帶責任ヲ負フモノトセハ民事會社ハ解散スル時必ラス連帶責  
 任ヲ負フルニアルヘシ(南部)資本不十分ト爲リタル爲メ連帶  
 責任トナルモノナレハ有限無限ヲ區別スルノ効用ナキニ至ラン  
 (清岡)此點ハ報告委員ニテ研究ヲ盡サレタシ(委員長)無形  
 人ヲ爲サ、ルトキハ純然タル會社ニアラサルヲ以テ己ノ負債ト  
 ナルベシ連帶責任トナルヘキ理由ヲ見ス連帶責任ヲ負ハントス  
 ルニハ組合人數ヲ知ラシメサレハ合同組織トナラサルモノナリ  
 (栗坂)會社資本ノ不十分ナルト云フハ最初ヨリ不十分ナルニ  
 アラス前項ヲ受ケ會社ノ債權者ニ義務ヲ執行セシムルモ尙ホ不  
 足スルトキハ社員ノ財産ニ請求スルヲ得ベキト云フノ意ナリ(

委員長一尙ホ本條ハ研究ヲ盡スベシ

第三節 會社ノ絶止

第七百九十二條 會社ハ左ノ諸件ニ因リ當然了終ス

第一 會社ノ契約セラレタル時期ノ滿了又ハ會社ノ服スル解除條件ノ成就

第二 會社ノ目的タル作業ノ成功又ハ右成功ノ不能

第三 拂込ミタル會社資本ノ全部又ハ半以上ノ滅失

第四 社員ノ一人ノ爲メ勢力又ハ收益ニ於ケル其繼續ノ出資ヲ爲ス事ノ不能

第五 社員中ノ一人ノ死亡、治産禁、宣告セラレタル破産又ハ顯然ノ無實力但第七百九十五條ニ記載シタルモノヲ訪ケス

(果報)本條第一ハ會社契約ヲ定メタル時期ノ滿了又ハ解除條件ノ成就トシ第二ノ右ノ字ハ其ニ換ヘ又第四ノ爲メト云フ二字

ヲ其ニ換フ第五ハ治産禁トアルヲ禁治産トシ顯然ノトアルヲ顯然タルトセリ(村田)會社ノ解散トアル中ニモ會社了終ノ場合アリ(果報)斷權ニテ止ム場合ヲ解散トシ當然了終スル場合ヲ絶止トス(村田)解散ニモ當然了終ノ場合アルヲ以テ文字上ニ於テハ抵觸ノ氣味アルカ如シ(委員長)社員一人死亡シタル爲メニ會社ノ絶止スルト云フ理由ハ如何(果報)此會社ハ金儲チ目的ニセス人身ヲ目的トシタルヲ以テ社員中ノ一人死亡シタルトキハ最早舊狀ノ會社ニアラズ依テ絶止スルモノトナレリ(清岡)會社ノ絶止セスシテ事足ルモノトスレハ了終セサルヲ可トス(委員長)社員一人ノ死亡ニ依リ當然了終スト云フハ強斷ナルカ如シ(果報)會社カ止ムト云フモ會社ノ事業止ムニアラス新ニ會社契約ヲ結ハサルベカラズト云フ譯ナリ(委員長)會社契約ヲ變スルトキハ會社ノ總計算ヲ改メサルヘカラストナルヘシ



(委員長)本條モ報告委員ニテ研究ヲ盡スヘシ

第七百九十三條 會社ハ左ノ諸件ニ因リ解散セララル、事ヲ得

第一 總テノ場合ニ於テ總社員ノ一致ノ意思

第二 會社ノ爲ノ明示又ハ默示ノ定マリタル期間ヲタ且其他請求  
カ惡意ヲ以テモ又不都合ナル時期ニ於テモ爲サレサルトキハ社  
員中一人ノ意思

第三 社員中一人ノ義務不履行ニ基キタル解除ノ訴又ハ會社ノ爲  
ノ定マリタル期間アルトキト雖モ正當ノ理由ニ基キタル解散ノ  
請求

(果報)本條第一ノ總ノ字ヲ刪リ第二ノ其他トアルヲ解散ノト  
セリ(委員長)第二ハ如何ナル場合ナルカ(果報)商業上ノ變  
動アルニ依リ解散シタルトキハ清算上大ニ損害ヲ受クルトキハ  
爲スヲ得スト云フヲ顯シタリ(清岡)個ハ社員中一人ノ意思ト

云フヲ主的トセルモ此文体ニテハ通シ難シ依テ文章ヲ倒置シテ  
ハ如何此儘ニ決ス

第七百九十四條 當事者ハ會社ノ存續期ノ滿了セサル前ニ明示又ハ  
默示ニテ之ヲ長伸スル事ヲ得

又默示ノ長伸ハ定マリタル時期ノ滿了後ニ於テ會社業務カ何レノ  
社員ノ故障モ無ク繼續セラレタル事業ヨリ生スル事ヲ得此場合ニ  
於テ長伸セラレタル會社ハ第七百九十三條第二號ニ從ヒ一人ノ社  
員ノ意思ヲ以テ解散セララル事ヲ得

(果報)本條ハ報告委員ニテ第一項冒頭ノ當事者トアルハ社員  
トシ存續中期トアルヲ期間トセリ又第二項ノ第七百九十三條ト  
アルハ前條トセリ可決ス(清岡)二項ノ時期ト云フヲ期間トシ  
テハ如何(果報)期間トスルモ差支ナシ(清岡)前條第二號ノ  
ミヲ解散スルヲ得ヘキモノトスレハ如何(果報)此場合ハ元來

期間アルヲ云フモノナレハ其期間カ長伸シタルトキハ一人ノ社員ノ意思ヲ以テ解散セラル、チ云フ

第七百九十五條 會社資本カ譲渡ヲ許シタル株式ニ分タレタルトキ第七百九十二條第五號ニ指定シタル理由ノ一カ株主中一人ノ一身ニ生スルニ於テハ右ノ理由ニ因ル會社ノ解散ナシ  
又他ノ會社ニ於テハ右ノ理由カ會社ノ解散ヲ行ハスシテ會社ハ社員タルヲ止メタル者ノ持分ヲ定メテ他ノ社員ト共ニ繼續スヘキ事ヲ合意スル事ヲ得又會社ハ死亡シタル社員ノ相續人又ハ無能力若クハ無資力ト爲リタルモ合式ニ代理セラレタル社員ト共ニ繼續スヘキ事ヲモ合意スル事ヲ得

(果報)本條ハ報告委員ヨリ起案者ニ質問シ起案者更ラニ改正シ來レルモ未タ反譯成ラサルニ付キ留保ニ附置カレタシ

#### 第四節 會社ノ清算及ヒ配當

民華三ノ一五六

第七百九十六條 會社解散ノ後ハ社員ノ各自又ハ其承續人ヨリ清算ヲ請求スル事ヲ得

清算ハ配當前ニ之ヲ爲ス事ヲ要ス但社員ノ多數カ全部又ハ一分ノ配當ヲ失ニスル事ヲ請求シタルトキハ此限ニ在ラス

又會社ノ各債權者ハ清算前ニ配當ヲ爲ス事ニ付キ故障ヲ申立ツル事ヲ得

(果報)本條モ商法ニテハ清算前ノ配當ヲ許サ、ルニ本條ニテハ清算前ノ配當ヲ爲スヲ得ヘキモノトナルヲ以テ全ク抵觸シタレバ尙ホ起案者ニ質問スベシ

第七百九十七條 清算ニハ左ノ諸件ヲ包含ス

第一 始メタル業務ノ成就

第二 會社債務ノ辨濟及ヒ第三者ニ對スル其債權ノ回收

第三 各社員ト會社トノ間ノ特別ナル計算ノ定方

第四 配當スヘキ貸方又ハ負擔スヘキ借方ニ於ケル各社員又ハ其代人ノ持分ノ指定

(栗塚)本條第二會社ノ下「ノ」ト云フ字ヲ加フ(清岡)始ノタル業務ノ成就ト云フハ仕掛リ仕事ノ成就ナルヤ(南部)然リ(村田)前條會社解散ハ絶止ノ場合モ包含セルナラン(栗塚)然リ

第七百九十八條 清算人ノ選定及ヒ其權限ニ關スル結社契約ノ約款ハ若シ右ニ付キ妨礙ノ生セザリシトキハ之ヲ遵守スル事ヲ要ス右ノ約款ナキトキハ清算ハ或ハ總社員ニ因リ或ハ社員ノ一致ヲ以テ選任シタル一人又ハ數人ノ社員ニ因テ爲サレ又ハ社員ノ一致ヲ以テ選定シタル第三者ニ因リテモ爲サル  
若シ社員力清算人ノ選定ニ付キ一致スル事ヲ得サルトキハ裁判所ニ於テ之ヲ選任ス

本條ハ結社ヲ會社トシ一致スル事ヲ得サルトキハトアルチ一致セサルトキハトスルハ前修正ノ例ニ依ルモノナリ(栗塚)第二項社員ニ因テ爲サレトアルハ社員ニ因リ之ヲ爲シトシ第三者ニ因リテモ爲サルトアルチ第三者ニ因リテモ之ヲ爲ストセリ(委員長)總社員ニ因リト云フト社員ノ一致ト云フトハ差異アルカ(栗塚)總社員ニ因リ又ハ社員一致ヲ以テ委任シタル社員ニ因リト云フ譯ナリ(南部)第一項若シ以下ハ殆ント無用ニ近シ(委員長)云々會社契約ノ約款ナキトキハトシテモ可ナリ(栗塚)本條ハ此兩項ヲ合併シ會社契約中清算人ノ選定及ヒ其權限ニ關スル約款ナキトキハ云々トスヘシ可決ス

第七百九十九條 清算人ハ總テノ場合ニ於テ速ニ毀損又ハ滅盡スヘキ物ヲ移付スル事ヲ要ス

若シ滿期ノ債務ノ辨償ノ爲メ其他ノ動產物ヲ移付スルノ必要アル

トキハ之ヲ移付スル事ヲ得

不動産ニ關シテハ清算人ハ社員ノ特別ナル委任ニ憑ルニアラサレハ之ヲ抵當トシ又ハ移付スル事ヲ得ス

此終ノ場合ニ於テ移付ハ公賣競落ニ因ルニアラサレハ之ヲ爲ス事ヲ得ス但熟議上ニテ約定スル事ヲ許シタルトキハ此限ニ在ラス且右ハ總テ社員ノ多數決ニ因ル

清算人ハ社員ノ名ヲ以テ原告又ハ被告トシテ訴訟ヲ爲ス事ヲ得清算人カ會社ノ債務又ハ債權ニ付キ承諾シタル和解及ヒ仲裁ハ第三者ト通謀シタル詭譎ノ爲メニアラサレハ之ヲ攻撃スル事ヲ得ス(栗塚)本條第二項ハ報告委員ニテ若シ滿期ノ債務ノ辨償ノ爲メ必要アルトキハ其他ノ動產物ヲ移付スル事ヲ得トセリ(元尾崎)移付ト云フハ賣却スル義ナリヤ(栗塚)起案者ノ註釋ニテハ賣却ノ義トナレリ清算人ハ毀損又ハ滅盡スベキ處アルモノハ

早ク之ヲ賣却シ代金ニ換置カサルベカラサレハナリ(元尾崎)攻撃ハ排斥トスルヲ得サルカ(村田)攻撃ノ字ハ既ニ之ヲ認存シタルニ付キ變更スルヲ得ス

第八百條 清算ノ總計算ハ社員ノ認可ヲ受クル事ヲ要ス

右ノ計算ヲ認可スルニハ社員ノ多數決ヲ以テ足レリトス

其議決ハ併合セラレタル總テノ計算ニ付キ又ハ計算ノ或ル部分ニ付キ各別ニ之ヲ爲ス事ヲ得

認可セラレヌシテ仕直ス事ヲ得ヘキ計算ハ清算人ノ費用及ヒ注意ヲ以テ之ヲ爲ス若シ仕直ス事ヲ得サルトキハ清算人ハ代理ノ規則ニ從ヒ其過愆ニ因テ加ヘタル損害ノ責ニ任ス

清算人ノ已レニ委任セラレタル權限ニ憑リ又ハ前條ニ從テ爲シタル所爲ハ常ニ善意ナル第三者ノ爲メ之ヲ維持ス

(栗塚)本條ハ報告委員ニテ第三項ノ其議決ハノ下併合セラレ

タルトアルヲ刪リ總テノ計算ニ付キ合併ニテ之ヲ爲シトシ第四  
項ハ認可セラレスシテトアルヲ認可セラレス且トシ清算人ノ費  
用ノ下「及ヒ注意」ヲ刪レリ（横村）其議決ハ總テノ計算ニ付  
キ合併ニテ之ヲ爲スト云ヘハ社員カ合併スルカ如シ（南部）計  
算ヲ合併シテトスベシ（元尾崎）計算ヲ合シテ之ヲ爲シトスベ  
シ（栗塚）計算ヲ合シテ之ヲ爲シトスベシ可決ス（清岡）清算  
人ノ費用ヲ以テトアルハ不明ナリ（尾崎）清算人其費用ヲ以テ  
トスベシ可決ス（南部）本條ハ商法ノ第三百三十二條ニ照應セリ  
（元尾崎）之ヲ維持スト云フハ如何（栗塚）日後之ヲ廢セサル  
ヲ云フ維持セラルノ義ナリ（横村）維持セラルト云ヘハ可ナリ  
（南部）原案ノ儘ヲ可トス（元尾崎）尙ホ此等ノ文字ハ報告委  
員ノ再考ヲ煩シタシ

第八百一條 若シ民事會社カ株式ヲ以テ組織セラレタルトキハ商事

株式會社ノ規則ニ從ヒテ清算ヲ爲ス

（村田）本條ハ之ヲ刪除シタシ（南部）本條ノミナラス會社ノ  
條項ハ總テ商法ト照量刪除スルモノトナレリ

第八百二條 會社ノ清算ノ後ハ不分ニ存スル財産ノ配當ハ舊社員ノ  
各自又ハ其承継人ヨリ之ヲ請求スル事ヲ得但當事者カ此法律第四  
十條ニ從ヒ不分ニ留マル事ヲ會社解散ノ後ニ合意シタル場合ハ此  
限ニ在ラス

（栗塚）本條ハ報告委員ニテ社員ノ上ニアル舊ノ字ヲ刪リ不分  
ニ留マルトアルヲ不分ニテ存スルトセリ（南部）此法律ト云フ  
三字ハ不用ナリ即チ刪除セラル（元尾崎）不分ニ存スルト云フ  
ハ如何（栗塚）未分ノ儘ニテ共有スル有様ヲ云フ

第八百三條 配當部分ノ組成又ハ各當事者ニ對スル其配付ニ付キ當  
事者ノ一致セサルトキハ相續及ヒ其他財産ノ共通ノ派分ノ爲メ此

事ニ關シ此法律及ヒ民事訴訟法ニ定メタル規則ヲ遵守ス

(元尾崎) 財産ノ共通ノ派分ト云フハ如何(栗塚) 獲得額ノ包括名義ノ部ニ記示セリ(南部) 配當部分ノ組成ト云フハ財産ノ配當額前ヲ云フカ(栗塚) 然リ(元尾崎) 配當部分ノ上ニ其財産ノ文字ヲ加ヘテハ如何原案ニ決ス

第八百四條 會社資本中ノ物ニテ配當ニ因リ各社員ニ歸シタルモノニ關スル各社員ノ權利ハ會社解散ノ日ニ溯リ他ノ社員ヨリ其物ニ付キ付與シタル權利ハ解除セララル

(栗塚) 本條ハ報告委員ニテ關スルノ下各社員トアルチ其社員トシ會社解散ノ日ニ溯リトアル下ニ「テ効力ヲ有シ不分中ノ」トアル數字ヲ刪レリ(元尾崎) 不分中ノ他ノ社員ヨリ其物ニ付キ付與シタルト云フハ如何(南部) 會社解散前共有ノ地面ヲ社員中ノ一人之ヲ抵當ニ附スル場合ノ如シ其他ハ不分中ノモノニ

シテ未タ何人ノ權利ニ屬スヘキモノナルヤ知ルヘカラサルナリ(清岡) 付與ノ上ニ第三者ノ字ヲ用ユヘシ可決ス(元尾崎) 解除セラルトアルチ之ヲ解除ストシタシ可決ス

第八百五條 共同配當者ハ配當ヲ以テ約束セラレタル權利ニ於テ受クル事有ルヘキ妨礙及ヒ追奪ニ付キ其各自ノ部分ニ應シテ互ニ擔保人タリ

若シ共同配當者ノ一人カ無資力ナルトキハ其一人ノ負擔シタル賠償ノ部分ハ被擔保人ヲ加ヘテ他ノ各共同配當者ノ間ニ之ヲ分配ス本條ハ報告委員ニテ第一項ノ配當ヲ以テ約束セラレトアルチ配當ニ因リ得取シトシ權利ニ於テトアルチ權利上ニ於テトシ第二項ノ末文分配ストアルチ分ツトセリ可決ス

第八百六條 配當ハ成年者ノ間ニ爲サレ且動産有價物ヲ目的トシタルトキト雖モ不分ノ財産中ニテ受クヘキ部分ノ四分一ニ超エル折

損ヲ被リタル者ノ利益ニ於テ之ヲ銷除スル事ヲ得

折損ノ爲メ賣買ノ銷除ノ行用ニ付キ第七百三十四條以下ニ定メタル條件ハ會社ノ配當ノ折損ニ關スル銷除ニ付キ遵守セラル

(南部)配當ハ成年者ノ間ニ爲サレトアルハ爲シトシタシ可決ス(栗塚)第二項銷除ノ行用トアル「ノ行用」ノ三字ヲ刪リ銷除ニ付キトシ末文ノ銷除ニ付キ遵守セラルトアルヲ之ヲ適用ストスベシ可決ス(横村)不分ノ財産ニテ受クヘキ部分ノ四分ノ一ニ超ユル折損ヲ被リタル者ノ利益ニ於テ之ヲ銷除スル事ヲ得ト云フハ如何(栗塚)社員自己ノ受クヘキ財産中ノ部分ノ四分ノ一ヲ損スル場合ニ於テハト云フ關ナリ(元尾崎)不分ノ財産ト云フ字ハ不用ノ字ナルノミナラス却テ誤解ヲ生スヘシ(横村)利益ニ於テト云フハ不明ナリ(栗塚)其人ノ利益ノ爲メニト云フ關ナリ(尾崎)折損四分一ニ超ユルトキ銷除スルトハ何國

ノ法ニ依ルカ(栗塚)伊佛ノ法律ニ依レリ(元尾崎)本條ノ意味ハ報告委員ノ説明ニ依リ領知シタルモ此文面上ニテハ不明ナルヲ免レス(栗塚)不分ノ財産中云々ヲ配當ヲ受ケタル者カ其受クヘキ部分ノ四分ノ一ニ超ユル折損ヲ被リタルトキハ其者ノ爲メ之ヲ銷除スル事ヲ得トシテハ如何(尾崎)配當ヲ受ケタル者カ其受クヘキト云フハ其文ヲ爲サス(栗塚)其配當ヲ受ケタル者カ自己ノ受クヘキ部分ノ四分一ニ超ユル折損ヲ被リタルトキハ其者ノ爲メ之ヲ銷除スル事ヲ得トシテハ如何可決ス

### 第十六章 射倖契約

#### 前置條例

第八百七條 射倖契約ハ、契約者双方若クハ一方ノ利益又ハ損失ニ關スル其効力ノ全部又ハ一分カ將來ニシテ且不断的確ナル事件ニ關ル合意ナリ(第一千四百四條、第一千九百六十四條)

（栗坂）本條ハ報告委員ニテ一方ノ利益ニ又ハ損失ニトアルチ一方ノ損益ニト修正シ將來ニシテ且トアルチ將來ノトセリ（清岡）將來ト不的確トノ兩要件ヲ要スベシ依テ將來ニシテ且ト云フテ可トス（南部）將來ノト云フト不確的ト云フトノ二條件ナ  
ルヘシ故ニ將來且トシテハ如何可決ス

第八百八條 契約ハ其本性ニ因リ又ハ當事者ノ意思ニ因リ射俸ノモノタリ

博奕及ヒ賭事終身年金權又ハ其他終身權利ノ設定陸上及ヒ海上ノ保險海上ノ利益ニ於ケル貸借即チ冒險貸借ハ其本性ニ因リ射俸ノモノタリ（第一千九百六十四條）

其他ノ契約ハ其成立又ハ効力ヲ停止又ハ解除ノ偶然ノ條件ニ繋ルトキハ當事者ノ意思ニ因リ射俸ノモノタリ

（栗坂）本條第二項ハ報告委員ニテ本性ニ因ル射俸契約ハ博奕

及ヒ云々トシ冒險貸借ハ云々トアルチ冒險貸借ナリトシタシ（村田）本性ニ因ル射俸契約ハト云フチ冒險ニ冠セシノントスレハ第三項モ當事者ノ意思ニ因リト云フチ其冒險ニ冠セシノサルヘカラス（清岡）原案ノ儘チ可トス（村田）海上ノ利益ニ於ケル貸借即チ冒險貸借ト云フハ商法中ニ規定セシモノナレハ此點ハ刪除シテハ如何（南部）此點ヲ刪除スルハ不可ナリ（元尾崎）利益ヲ利害トシタシ可決シ報告委員ノ修正ハ否決セラル（南部）其本性ト云フ其字ハ不用ナリ之ヲ刪リタシ即チ其字ヲ刪レ  
リ

第八百九條 海上保險及ヒ海上ノ利益ニ於ケル貸借ハ海商ニ關スル法律ニ因テ管知セラル（第一千九百六十四條）

（栗坂）本條ハ報告委員ニテ海商ニ關スル云々トアルハ海商法律ニ因リ之ヲ管知ストセリ（村田）海上ノ利益ニ於ケル貸借ハ



トアルハ冒險貸借ハトシタシ可決ス

第八百十條 若シ博奕カ博奕者ノ勇氣、力量、巧技ヲ發達スヘキ本性ナル體態ノ運動タルニアラサレハ其約務履行ノ爲メ裁判上ノ斷權ヲ許サス(第一千九百六十六條第一項)

賭事ニ基ク訴權ハ右ノ如キ運動ヲ爲ス人ノ利益ニ關シ又ハ農業工業若クハ商業ニ係ル作業ニシテ博奕ノ直接ニ參カルモノ、成功ニ關スルニアラサレハ亦之ヲ許サス

若シ右ノ博奕又ハ賭事ニ於テ約束セラレタル金額又ハ有價物力情況ニ照シテ過度ナリト見ユルトキハ裁判所ハ之ヲ減スル事ヲ得ス全ク其請求ヲ棄却スル事ヲ要ス(第一千九百六十六條)

本條ハ報告委員ニテ第二項ニ賭事ニ基ク訴權ハ右ノ如キ運動ヲ爲ス人ノ爲メ利益ニ關シ又ハ賭者ノ直接ニ參カル農工商ノ作業ノ成功ニ關スルニアラサレハ亦之ヲ許サストシ第三項ハ全ク其

トアルヲ且其トシ請求ヲ棄却スルトアル請求ヲ全ク棄却スルトセリ(元尾崎)假令ハノルマントン號探偵ニ五百圓ヲ賭シタル如キハ如何(村田)巧技中ニ屬スヘシ(元尾崎)此等ハ裁判官ノ問題ニ屬スルナラン(櫻村)且其請求ヲトアルハ但其請求ヲトシタシ(南部)此點ハ然レトモト云フ意味ニ當ルベシ(元尾崎)約束セラレタルハ約束シタルトスベシ可決ス(尾崎)且其請求ヲ全ク棄却スルトシタル修正ハ原案ノ儘ニスベシ可決ス(元尾崎)英文ニテハ運動スル其人ニアラサレハ賭事スルヲ得サルモノトナルモ本條ハ運動ヲ爲ス人ノ利益ニ關シト云ヘハ運動者自身ニ限ラサルカ如シ(栗塚)此點ハ運動ヲ爲ス人ニアラサレハ此點ニ當ラサルナリ(南部)運動ヲ爲ス人ノ爲メ又ハ賭事ノ直接ニ參カル農工商ノ作業ノ成功ノ爲メニアラサレハトシテハ如何可決ス(元尾崎)圍碁ノ如キハ如何(南部)圍碁ハ此中

ニ包含セサルヘシ（栗塚）注解上ニテハ國基ノ巧妙ナルモ別段ノ利益ヲ有セサレハ此中ニ包含セサルナリ（清岡）博奕ト賭事トハ何ノ差別アルカ（元尾崎）博奕ハ自ラ爲スルヲ云ヒ賭事ハ他人ノ行爲ニ付キ之ヲ賭スルモノナリ（尾崎）敢テ別段ノ區別ナシ

第八百十一條 其他ノ場合ニ於テ博奕及ヒ賭事ハ法定又ハ天然ノ何等ノ義務ヲモ生セスシテ之カ爲ノ爲シタル債務ノ認知、更改又ハ保證ハ無効タリ（第九百六十五條）

然レトモ有能力者カ右ノ約務ニ憑リ任意ニテ辨濟シタルモノニ付テハ取戻ス事ヲ許サス但シ勝者ノ方ニ於テ讒誣又ハ欺瞞アリタルトキハ此限ニ在ラス（第九百六十七條）

（栗塚）本條ハ義務ヲモ生セストシテアルヲ報告委員ニテ義務ヲモ生セス且トセリ可決ス（清岡）勝者ノ方ニ於テト云フハ如

何（栗塚）勝敗ニ詐術ヲ用ヒタルトキハ此限ニ在ラスト云フ事ナリ

第八百十二條 官許ヲ得サル富商ハ訴權ナキ博奕及ヒ賭事ト同視セラル

被告カ初ヨリ當事者ハ約束シタル金額又ハ有價物ノ引渡及ヒ辨濟ヲ實行スルニ意ナク只互ニ相場最低ノ差額ヲ計算スルノミノ意アリタル事ヲ證スルトキハ商品又ハ公ノ證券ノ投機ノ定期賣買ニ付テモ亦同シ（第八百八十五年三月廿八日ニ議定シ四月□八日ニ頒布シタル佛法律）

（栗塚）本條第二項ハ報告委員ニテ被告ガト云ヘル冒頭ノ文字ヲ刪除シ商品又ハ公ノ證券ノ投機ノ定期賣買ニ付テモト云ヘルヲ冠シ證スルトキハトアル上ニ被告カノ文字ヲ置キ被告カ證スルトキハ亦同シトセリ可決ス

第八百十三條 若シ前二條ノ場合ニ於テ被告ヨリ無効ノ抗辯ヲ對抗セサルトキハ判事ハ職權ヲ以テ右無効ノ抗辯ヲ補充スル事ヲ得但契約又ハ請求ニ於テ債務カ博奕、富騰又ハ相場差額ニ關スル賭事ノ原由トスル事ヲ明示シタルトキニ限ル

(栗塚) 本條ハ報告委員ニテ相場差額ノ下ハ「ノ賭事ヲ原由トスル事ノ明白ナルトキニ限ルトセリ可決ス(元尾崎) 判事カ抗辯ヲ補充スルヨリ受理セサル事ニシテハ如何(村田) 原被ノ陳述ヲ聽カサレハ訴權ノ有無判然セサルナリ

(栗塚) 本法ノ各條ヲ讀スル前ニ當ツテ委員會ノ決議ヲ讀ヒ度モノハ保險ニ關スルモノナリ本法ノ陸上保險ハ之ヲ商法ニ移入シテハ如何(元尾崎) 會社ハ總テ商法ニ編入スルヲ可トス(栗塚) 要スルニ無形人ヲ成立スルモノハ商法ニ屬シ無形人ヲ成立

セサルモノハ民法ニ屬スヘキモノナラン(村田) 交互保險ハ民法ニ屬スヘキモ其他ハ商法ニ入ルヘキモノトス(委員長) 交互保險ヲ民法ニ配存スヘシト云フナレハボアソナード氏ノ流義ノ如ク陸上保險ヲ主唱セサルヘカラス(元尾崎) 保險ハ皆悉商法ニ屬セシノテハ如何(委員長) 商法ニ屬セシムル説多數ナルヲ以テ先ツ其議ニ決ス

## 第二節

### 第一款

第八百十四條 終身年金權ハ動產若クハ不動産ノ元本ノ移付ノ報酬トシ又ハ爲シ若クハ爲スヘキ勤勞ノ報酬トシテ有價名義ニテ之ヲ設定スル事ヲ得(第一千九百六十八條)

又贈與又ハ遺囑ヲ以テ無價名義ニテ終身年金權ヲ設定スル事ヲ得(第一千九百六十九條)

此終ノ場合ニ於テハ終身年金ハ恩惠所爲ノ方式、與ヘ竝ニ受クルノ能力及ヒ財產ノ處分スル事ヲ得ヘキ部分ニ付テハ無償名義ノ所爲ニ特別ナル規則ニ從フ（第一千九百六十九條、第一千九百七十條）（栗塚）本條ハ報告委員ニテ第一項ノ又ハ爲シノ下「タル」ノ二字ヲ挿入シ第二項ハ又終身年金權ハ贈與又ハ遺囑ヲ以テ無償名義ニテ之ヲ設定スル事ヲ得トシ第三項ハ恩惠所爲ノトアルヲ恩與ノトシ與ヘ竝ニ受クルノトアルヲ授受ノトシ能力及ヒノ下「財產ノ」三字ヲ刪リ部分ノ上ニ財產ノト云フ三字ヲ挿入シ無償名義ノ所爲ニトアルヲ無償名義ノトセリ（委員長）無償名義ニ於ケルトスルヲ得サルカ（栗塚）無償名義ニ於ケルト云ヒ雖シ（清岡）不動産ノ元本ト云ヘハ不動産ト元本ト二個アルカ如シ（元尾崎）元金ノ資本ト云フニ異ナラス不動産ノ元本ノ移付ト云ヘハ假令ハ代價一萬圓ノ家宅アリ其家宅ノ代價即チ一萬圓

ヲ移付シ置クカ如ク思惟セラルヘシ（西）元本ト云フハ年金ノ起由スルモノナルヲ以テ要用ナリ（元尾崎）元本ト云ヘハ金圓ノ如シ（清岡）不動産ノトアルヲ不動産ナルトシテハ如何可決ス（元尾崎）終ノ場合ト云フハ前項ト云フヲ得サルカ（栗塚）前項ヲ指スモノナリ（委員長）無償名義ノトアルハ無償名義ニ於ケルトシテハ如何可決ス（栗塚）特別ノ下「ナル」ノ二字ヲ刪ルヘシ可決ス

第八百十五條 終身年金ハ對價物ヲ供給シタル人ニアラサル他ノ人ノ利益ノ爲メ之ヲ要約スル事ヲ得

此場合ニ於テ終身年金ハ要約者ト諾約者トノ間ニ於テハ有償名義ノ契約ノ規則ニ從ヒ要約者享益者トノ間ニ於テハ贈與ノ規則ニ從フ然レトモ贈與ノ方式ニ從ハス（第一千九百七十三條）

又終身年金ハ有償又ハ無償ノ名義ニテ移付シタル元本ニ付キ之ヲ

控留スル事ヲ得

(栗坂) 本條第一項「他ノ人」ハ報告委員ニテ者トセリ供給シタル人ニアラサルト云ヘハ他ノ人ナルハ明言セストモ明カナルモノナレハナリ又報告委員ニテ第二項要約者ノ下「ト」ノ字ヲ加ヘ又本條末項ハ前條中ニ記示スヘキモノナルニ何故ニ本條ノ末項ニ置キシヤト云フヲ質問シタルニ起案者ノ回答ニハ第八百十四條第一項ト第二項ノ間ニ挿入スヘシト云フニアリ且ツ本項ハ元本以下ヲ「ノ」上ニ留保ニ因リ之ヲ設定スル事ヲ得トセリ(元尾崎) 本項ノ意味ハ如何(栗坂) 虛有權ヲ移付シ其實物ハ之ヲ自己ノ方ヘ留存シテ讓渡ササルヲ云フモノナリ(元尾崎) 年金ヲ得ル以上ハ無償名義トスルヲ得サルニアラスヤ(南部) 有償無償ハ年金ニ關セス移付ニ關スルモノナリ移付スルトキ報償ヲ受ケス讓渡シ年金ヲ得ルヲ云フ(委員長) 本條第二項ノ然

民事三ノ一六七

レトモハ有償名義ノ契約ノ規則ト贈與ノ規則ニ從フト雙方ニ係ルカ(栗坂) 有償名義ノ契約ノ規則ニ關セサルナリ(清岡) 留保ニ因リ之ヲ設定スル事ヲ得ト云ヘハ留保ニ因リテ始マル如クナルモ個ハ元來ヨリ成レルモノニアラスヤ(南部) 否ラス(横村) 本項ヲ前條第二項トスレハ同條第三項ハ此儘ナルカ(委員) 長) 又贈與又ハ云々之ヲ設定スル事ヲ得ト云フ原案ノ儘ニシ終身年金權ノ文字ノミ「之ヲ」トスヘシ可決ス

第八百十六條 終身年金權ハ債權者若クハ債務者ノ終身ヲ期シ又ハ第三者ノ終身ヲ期シテモ之ヲ設定スル事ヲ得(第一千九百七十一條) 此儘ノ場合ニ於テ若シ契約カ有償ナルトキハ其組成ニ付キ右第三者ノ承諾ヲ必要トス然レトモ此承諾前ニ辨濟シタル利子ハ之ヲ取戻ス事ヲ得ス

(栗坂) 本條ノ第三者ハ關係者間ノ第三者ヲ云ヒシモノナルモ

各國ノ法律ニ於テ全ク他人ノ終身チ期シ假令ハ普相ビスマルク  
ガ死スルトキ迄ト云フニテ年金權ヲ設定スル事ナシトセス起案  
者ノ意見ハ其場合チモ認メタルヘキカ果シテ之ヲ認メタルモノ  
トスレハ第二項第三者ノ承諾ヲ必要トスト云フヲ得サルヘシ依  
テ當時起案者ニ質議中ナリ依テ本案ハ未定ニ附置セラレタシ其  
議ニ決ス

第八百十七條 終身年金權ハ同時又ハ順次ニ數人ノ終身チ期シテ之  
ヲ設定スル事ヲ得（第一千九百七十二條）

此場合ニ於テハ用收權ニ關スル第三百三條ノ條例ヲ適用ス

（元尾崎）數人ノ終身チ期シテト云フハ如何（栗塚）假令ハ自  
己ノ姉二人アリトセンニ其二人ノ姉ニ對シ同時ニ年金權ヲ約ス  
ルヲモ得ヘシ又長姉死去ノ後ハ次姉ニ年金權ヲ與フルノ契約ヲ  
爲スヲモ得ヘキチ云フ（元尾崎）只數人ト云フノミニテハ不明

ナリ（村田）共益者トカ債權者トカ云ヘル文字ヲ聞ヒテハ如何  
先ツ債權者ト云フ字ヲ挿入スルニ決ス（橫村）第三者ハ包含セ  
サルカ（栗塚）第三者ハ包含セス共益者ト云フ字ハ第三者ヲ包  
含セサルモ債權者ト云ヘハ共益者トチモ包含スルカ如シ（南部）  
佛蘭西民法ニモ債權者ト云フ字ナシ容易ニ債權者ノ文字ヲ挿  
入スルハ不可ナリ（栗塚）第三者ヲ包含セサル文字アレハ其文  
字ヲ使用シタキモ果シテ然ル事ヲ得サルヘシ本條モ起案者カ前  
條ノ回答アルヲ待テ可決ス

第八百十八條 有債名義ヲ以テ設定シタル終身年金權ノ契約ハ若シ  
年金權ヲ設定スル爲ノ終身チ期セラレタル人カ合意ノ當時ニ於テ  
既ニ死亡シタルトキハ當事者双方其死亡ヲ知ラスト雖モ無効ナリ  
（第一千九百七十四條）

若シ右ノ人カ合意ノ當時ニ於テ既ニ罹リタル疾病ノ爲ノ六十日ノ

期間内ニ死亡シタルトキハ其契約ハ當然解除セラル（第一千九百七十五條）

（村田）本條ノ如キハ無關係者ヲ指シタルモノニアラス必ラスヤ關係者間ニ止マルヘシ（栗塚）佛法ノ如キハ無關係ノ第三者ヲモ包含セリ即チ其條項ヲ援引シタルヲ以テ必ラス關係者ノミト認ムルヲ得ス（元尾崎）六十日間ト云フ期限ハ如何（栗塚）佛法ニハ二十日間ナルモ六十日間トシタルハ賭博心ヲ制限シタルモノナラン（元尾崎）双方互ニ承諾セシモノト雖モ六十日間ニ死亡シタルトキハ其契約解除セラル、カ（栗塚）然リ

第八百十九條 無償名義ニテ設定シタル終身年金權ハ設定者ニ於テ讓渡スヘカラス且差押フヘカラサルモノト定ムル事ヲ得（第一千九百八十一條佛訴第五百八十一條）

右ノ約款ハ設定證書中ニ記入セラレタルトキニアラサレハ第三者

ニ之ヲ對抗スル事ヲ得ス

養料トシテ無償ニテ終身年金權ヲ設定シタルトキハ其年金權ハ贈與又ハ遺贈ニ於テ特ニ定ノスト雖モ當然讓渡スヘカラス且差押フヘカラサルモノタリ（同上第五百八十二條）

此條例ハ贈與シタル財産ニ付キ贈與者ノ利益ニ於テ控留シタル終身年金權ニ之ヲ適用セス

（栗塚）本條ハ報告委員ニテ終身年金權ヲトアル文字ヲ設定シタルノ字ノ下ニ轉入シ「贈與又ハ遺贈ニ於テ特ニ定ノスト雖モ」ノ數字ヲ刪レリ（委員長）本條末項ハ債主ヨリ差押フル事ヲ得ルカ（栗塚）然リ

第八百二十條 終身年金權ノ讓渡スヘカラサル事及ヒ差押フヘカラサル事ハ是等ノ禁止ノ一ノミヲ要約シタルトキト雖モ二者共ニ存立ス

是等ノ禁止ハ決シテ滿期ノ利子ニ之ヲ適用セス

(栗塚)本條第一項ハ終身年金權ノ讓渡及ヒ差押ノ禁止ハ其一ノミヲ要約シタルトキト雖モ二者共ニ存立ストシ第二項是等ヲ此トセリ(横村)同第二項ハ如何(栗塚)既ニ得收シタル利子ハ之ヲ差押フヘカラサルモ未タ得收セサル利子ハ之ヲ差押フル事ヲ得ヘシト云フ譯ナリ(清岡)假令ハ自己ノ子息ノ官ヨリ受タル月給中其年金權ノ利子ヲ得タルニ忽焉債權者ノ爲ノニ得收サレテハ實ニ迷惑ナリ

### 第二款

第八百二十一條 債務者ハ年金權ヲ設定スル爲メ終身ヲ期セラレタル人ノ生存中ハ其年金權ノ利子ヲ拂フ事ヲ要ス但特別ノ合意アラサルトキハ其年金權ノ買戻ヲ行フ事ヲ得ス(第一千九百七十九條)(栗塚)本條ハ報告委員ニテ利子ヲ拂フ事ヲ要ストアル要スチ

要シ且トシ「ス但特別ノ合意アラサルトキハ其年金權ノ」ト云ヘルヲ刪リ末尾ニ但買戻ニ付キ特別ノ合意アルトキハ此限ニ在ラスト云ヘル一句ヲ添ヘタリ可決ス

第八百二十二條 利子ハ債權者日割ヲ以テ之ヲ得取ス但其支拂ヲ月又ハ一層長キ時期ヲ以テ爲スヘキトキト雖モ亦同シ

然レトモ若シ利子ヲ前拂スヘキトキハ既ニ始マリタル時期ノ利子ハ全部負擔セラル(第一千九百八十條)

(栗塚)本條ハ報告委員ニテ第一項ヲ利子ハ其支拂ヲ毎月爲スヘキ又ハ一層長キ時期ヲ以テ爲スヘキトキト雖モ債權者日割ヲ以テ之ヲ得取ストシ第二項「トキハ既ニ始マリタル」ト云ヘルヲ刪リ場合ニ於テハ支拂トシ時期ノトアル下ハ「始マリタル」ト云ヘルキ其一期分ノ利子全部ヲ拂フヘシ」トセリ(清岡)第二項ハ始マリタルトキハ其二期分トシタシ(横村)トキハトセサルモ可



ナリ又第一項ノ毎月ノ下爲スヘキトキト云フハ不可ナリ(栗塚  
一爲スヘキトキチ開リ毎月又ハ一層長キ期ニテ爲スヘキトシテ  
ハ如何(西)時期ニ爲スヘキトキト雖トモトスベシ可決ス(清  
岡)始マリタルトキハトシタシ始マリタルトキト云ヘハ始マリ  
シ時直チニト云フ嫌ヒアリ(南部)トキハトスルニ及ハス  
第八百二十三條 利子ノ支拂ナキトキト雖モ若シ債權者力解除ノ權  
利ヲ留保セサルトキハ其支拂ノ缺無ノ爲ノ契約ノ解除ヲ請求スル  
事ヲ得債權者ハ賣却ヨリ生スヘキ元本ヲ以テ利子ノ支拂ヲ保スル  
爲ノ債務者ノ財産中ニテ利子ヲ受クルニ足ルヘキ部分ヲ差押ヘ之  
ヲ賣却セシムル事ヲ得ルノミ但他ニ參同スヘキ債權者アルトキハ  
之カ參同ヲ受ク(第一千九百七十八)  
年金權力無債名義ニテ設定セラレ又ハ贈與シ若クハ贈遺シタル元  
本ニ控留セラレタルトキモ亦右同一ニ處辨ス

(栗塚)本條ハ報告委員ニテ冒頭ノ利子ノ支拂ナキトキト雖モ  
若シトアルチ開リ債權者カトアルチカチハトシ留保セサルトキ  
ハ其トアルチ留保セサルニ於テハ利子トシ請求スル事ヲ得トア  
ルハ請求スル事ヲ得ストスヘキ寫字ノ誤ナリ又報告委員ニテ債  
權者ハノ上ニ只ト云フ字ヲ加ヘ「賣却ヨリ生スヘキ元本ヲ以テ  
利子ノ支拂ヲ保スル爲ノトアルチ開リ差押ヘ之ヲ賣却セシノ下  
ムル事ヲ開リ」ノ其賣却ヨリ生スヘキ元本ヲ利用シ利子ノ支拂  
ヲレト云フチ挿入シ末項ノ控留ハ原文ニ從ヒ留置トセリ(元尾  
崎)欠無ト云フハ如何(栗塚)支拂ヲ爲サ、ルトキチ云フ(元  
尾崎)欠無ト云ヘハ最初ヨリ一錢モ支拂ハサルカ如シ(委員長  
一此等ノ文字ハ之ニ代ユル字アラサレハ變易スルチ得ス  
第八百二十四條 年金權ノ債務者ハ若シ年金權ヲ設定スル爲ノ終身  
ノ期セラレタル人カ利子滿期ノ日ニ生存セシ證カ供セラレサルト

キハ其利子ノ支拂ヲ拒絶スル事ヲ得（第一千九百八十三條）  
生存ノ保證書ハ其人カ現居所ノ地ノ「コンミューヌ」長又ハ受持  
區公證人ヨリ之ヲ交付ス（一千七百九十一年三月六日ニ決議シ同二  
十七日ニ頒布シタル佛國勅令第十一條、千八百三十九年六月六日  
ノ勅令第一條）

（栗塚）本條ハ第一項ノ生存セシ證カトアルヲ生存セシ證ノト  
シ「コンミューヌ」チ區戸長トシタルモ區戸町ハ市町村制度ニ  
抵觸セリ（委員長）人事篤ニテハ身分取扱所トセリ（西）然リ  
（委員長）假リニ身分取扱人ト爲シ置クヘシ可決ス（元尾崎）  
證ノ供セラレサルトハ如何（栗塚）證ヲ債務者ニ供セラレサル  
トキト云フ譯ナリ（委員長）生存セシ證ヲ債權者ヨリ供セサル  
トキハトスヘシ可決ス

### 第三款

第八百二十五條 若シ有價名義ニテ設定シタル年金權ノ債務者カ利  
子支拂ノ爲メノ約束シタル抵保ヲ供スル事ヲ缺キ又ハ供シタル抵保  
ヲ減少スルトキハ債權者ハ契約ノ解除ヲ請求スル事ヲ得但既ニ得  
取シタル利子ノ何等ノ部分ヲモ返還スルノ責ニ任セス（第一千九百  
七十七條）

右同一ノ權利ハ贈與シ又ハ贈遺シタル元本ニ付キ控留シタル終身  
年金權ノ本主ニ屬ス

其解除ハ若シ年金權ヲ設定スル爲メ終身ノ期セラレタル人カ終局  
判決前ニ死亡シタルトキハ之ヲ宣告セス

（栗塚）末項終局ノ字ハ報告委員ニテ確定トシ控留ハ留置トナ  
ルベシ（清岡）本主ニ屬スト云フハ本主ニモ屬スト云フ譯カ（  
栗塚）終身年金權ハ右同一ノ權利ヲ以テ本主ニ屬スト云フ譯ナ  
リ（西）元本ニ付キトアルハ前例ニヨリ元本ノ上ニトアルカ（

栗塚一然リ

第八百二十六條 普通法ニテ許シタル銷除即チ無効及ヒ廢黜ノ原由ハ終身年金權ニ之ヲ適用ス  
終身年金權ハ尙ホ要約セラレタル買戻、更改、合意上ノ釋放、混同及ヒ時効ニ因テ消滅ス  
然レトモ終身年金權ヲ第八百十九條及ヒ第八百二十條ニ從ヒ法律ノ條例又ハ人ノ處分ニ憑リ讓渡スヘカラス又ハ差押フヘカラサルモノナルトキハ其終身年金權ハ時効ニ係ラス  
總テノ場合ニ於テ利子ハ滿期後五個年ヲ以テ各別ニ時効ニ係ル  
（村田）普通法ニテ許シタルトアル事ハ英文ニテハ法律ニ於テ普通ニ許サレタルトアリ（栗塚）本條第三項ハ報告委員ニテ人ノ處分トアルヲ契約トセリ（元尾崎）要約セラレタルハ買戻更改等ニ關スルカ（栗塚）否買戻ノミニ關スルナリ

民草三ノ一七三

第八百二十七條 終身年金權ハ年金權ヲ設定スル爲ノ終身ノ期セラレタル人ノ死亡ニ因リ消滅ス但第八百十八條ニ記載シタルモノヲ妨ケス（第千九百八十二條）

然レトモ年金權ノ本主力債務者ノ實ニ歸スヘキ不正ノ理由ニ因リ死亡シタル場合ニ於テ若シ年金權カ有價名義ニテ又ハ贈與若クハ贈遺ノ負擔トシテ設定セラレタルトキハ契約又ハ恩惠所爲ハ解除セラレ債務者ハ既ニ拂ヒタル利子ノ何等ノ部分ヲモ回收セヌシテ其得取シタル財産ヲ返還ス

若シ前ニ同シク年金權ノ本主力債務者ノ過愆ニ因リ死亡シタル場合ニ於テ年金權カ直接ニ贈與又ハ贈遺セラレタルトキハ利子ノ支拂ハ裁判所カ其本主ノ生命ノ繼續期ト推測シテ定メタル期間内ハ利害ノ關係人ノ利益ニ於テ繼續セラル

（栗塚）本條ハ報告委員ニテ年金權ヲトアルヲ之ヲトシ第二項

恩惠所爲ヲ惠與トセリ（委員長）生命ノ繼續期ト云フハ假令ハ  
既ニ二十年生存セシニ付キ向後三十年生存スヘキモノト見積ル  
義カ（栗塚）然リ（委員長）若シ前ニ同シクト云フハ必要アル  
ヤ（南部）前項ト同様ニト云フ譯ヲ以テ必要ナルヘシ（清岡）  
前ニ同シクト云フハ實ニ歸スル點ヲ云ヒシモノナラン（南部）  
末項ニ過愆ニ因リ死亡シタルモノ、無償名義ノ場合ニ當ルトキ  
ニシテ過愆モ有償名義ノ場合ハ第二項ニ包含セサルヲ得ス（栗  
塚）末項過愆ヲ實ニ歸スヘキ不正ノ原因トシテハ如何註解ニモ  
不正ト過愆ノ區別アラサルヲ以テナリ（栗塚）冒頭ノ若シト云  
フ文字ヲ年金權カノ上ニ轉置シテハ如何可決ス（委員長）末項  
ハ本主カ死亡シタル場合ニ於テ贈遺セラレタルトキト云ヘハ死  
亡ノ際贈遺セラレシ如キ意味トナルナリ（南部）第二項モ場合  
ニ於テ設定セラレタルトナレルニアラスヤ（清岡）死亡ノ際ニ

年金權ヲ設定スヘキ譯ナケレハ原案ノ儘ニテ可ナリ結局贈遺セ  
ラレタリシトキトスルニ決ス

第十七章 消費貸借及ヒ無期年金權

第一節 消費貸借

第八百七十三條 消費貸借ハ當事者ノ一方カ代補スル事ヲ得ル物ノ所有權ヲ他ノ一方ニ移轉シ他ノ一方カ或ル時間ノ後同量及ヒ同價ノ類似ノ物ヲ返還スルノ義務ヲ負擔スル契約ナリ一第千八百七十四條、第千八百九十二條、第千八百九十四條、第千八百九十七條、第千九百二條

(果報曰)本條ハ報告委員ニテ一方カ代補スル事ヲ得ル物ノトアルチ一方ヨリ代補物ノトシテ双務契約ノ意味ヲ避ケントスルニアリ類似ノトアルチ等シキトセリ(尾崎曰)同價ト云ヘルハ同品質トシタシ可決ス(果報曰)同品質トスルモ等シキト云フ字ハ必要ナルヘシ(清岡曰)等シキトアレハ同價ノト云フヲ以テ足レリ

第八百七十四條 若シ當事者カ辨償ノ時期ヲ定メサリシトキハ當事者ノ推測セラレタル意思ト情況トニ隨ヒ裁判所之ヲ定ム（第九百條、第九百一一條）

若シ辨償ハ貸借カ無利息ニテ爲サレタルトキハ貸主ノ住所ニ於テ又反對ノ場合ニ於テハ借主ノ住所ニ於テ之ヲ爲ス但其他ノ場所ヲ定メタルトキハ此限ニ在ラス（第二百四十七條第二項）

（果報曰）本條ハ報告委員ニテ第一項ノ辨償ヲ返還トシ當事者ノ上ニ裁判所ハノ文字ヲ加ヘ當事者ノ推測セラレタル意思ト、アルヲ當事者ノ意思ヲ推測シトシトニ隨ヒ裁判所之ヲ定ムトアルヲ情況ヲ參酌シテ之ヲ定ムトシ第二項ハ冒頭ニ返還ノ場所ノ定メナキトキハト云ヘルヲ置キ「若シ」ノ下辨償ハトアルヲ無利息ノ下ハ「ナレ」ハ貸主ノ住所ニ於テ又利息附ナレハ借主ノ住所ニ於テ返還ヲ爲ス」ト修正セリ（元尾崎已定メナキトキ

民事三ノ一七六

ハト云ヘハ事物自然ノ義ヲ云ヘルカ如クナルヲ以テ不可ナリ結局其修正ニ可決ス

第八百七十五條 若シ借用物ノ返還カ不可抗力ニ因テ不能ト爲リタルトキハ借主ハ貸借ノ實行セラレタル時日及ヒ場所ニ於テ計算シタル其物ノ評價額ヲ負擔ス（第九百三條）

（果報曰）本條ハ報告委員ニテ貸借ノ實行セラレタルトアルヲ貸借ヲ爲シタルトシ時日及ヒ場所ノ下「ニ於テ計算シタル」トアルヲ「ノ相場ニ從ヒ」トシ負擔スノ文字ノ上ニ計算シテ之ヲト云フ文字ヲ挿入セリ（村田曰）不可抗力トアルニハ若クハ意外ノ事ト云ヘルヲモ併記セサルヘカラス他ノ條項ニ於テモ不可抗力ノ場合ニハ皆意外ノ事ト云ヘル併記アレハナリ（果報曰）不可抗力ト云ヘル原字ハ自ラ意外ノ事ヲ包メリ結局意外ノ事又ハ不可抗力トス

第八百七十六條 貸主ニ屬セサル物ノ貸借ハ無効タリ若シ其貸借カ利息附ニテ爲サレ且借主カ善意ナリシトキハ擔保ヲ生ス

其貸借ハ下ノ場合ニ於ケルニアラサレハ有効ト爲ラス

第一 若シ借主カ善意ニテ借用物ヲ消費シタルトキ

第二 若シ借主カ時効ニ因リ眞所有者ノ回收ノ請求ヲ排却シタルトキ

第三 若シ眞所有者カ貸借ヲ確認シタルトキ

(粟飯曰)本條ハ報告委員ニテ第一項利息附ニテ爲サレトアルヲ利息附ニシテトシ且借主カトアルヲ借主ノトシ善意ナリシトキハノ下貸主ハ借主ニ對シト云フ文字ヲ入レ擔保ヲ生ストアルヲ擔保ノ賣アリトシ第二項下ノ字ヲ左ニ改メリ(元尾崎曰)時効ニ因リト云ヘルトキハ貸借ノ有効ナルノミナラス返還スルノ義務ナシト云フヲ得ヘキカ如シ(粟飯曰)時効ニハ權利ヲ得ル

ノ時効ト義務ヲ免ル、時効トアリ個ハ權利ヲ得ル時効ナリ又本條ノ無効タリト云ヘルハ實際有効ニシテ無効ナルモノニアラス何トナレハ動産ノ貸借ハ瞬間時効ト借主ノ善意ナル旨トヲ以テ第三者ニ抗スルヲ得ヘケレハナリ

第八百七十七條 若シ借用物ニ借主ノ知ラスシテ貸主ノ知りタル不表見ノ瑕疵アリ其瑕疵カ身體又ハ財産ニ損害ヲ加フヘキ本性ニシテ且其瑕疵カ實際借主ヲ害シタルトキハ貸主ハ貸借カ無價ナルトキハ自己ノ方ニ於テ贖贖又ハ害スルノ意思アリタルトキニアラサレハ其損害ノ責ニ任セス(第千八百九十一條、第千八百九十八條)若シ貸借カ利息附ナルトキハ貸主ノ知ラサリシ雖レタル瑕疵ト雖モ之ヲ知ル事ヲ得ヘキトキハ其實ニ任ス

其他賣買ノ廢却訴權ニ關スル第七百四十一條乃至第七百四十八條ノ條例ハ適用スルヲ得ヘキタケハ之ヲ貸借ニ適用ス

(栗坂曰)本條ハ借用物ニ借主ノ知ラスシテ貸主ノ知リタル不  
表見ノ瑕疵アリ其瑕疵カ身体又ハ財産ニ損害ヲ加フヘキ本性ニ  
シテ實際其借主ヲ害シタルトキハ無償ノトキハ損害ノ責ニ任セ  
ス利息アルトキハ其實ニ任スヘシト云フノ理由如何ヲ起案者ニ  
質問中ナリ

第八百七十八條 第四百八十四條乃至第四百八十七條ハ正貨又ハ強  
制通用ノ紙幣ニテ爲シタル貸借ニ之ヲ適用ス

然レトモ貸主力第四百八十六條ニ於テ許サレタル如ク金貨若クハ  
銀貨ヲ以テ指定セラレタル價額ノ辨償ヲ受ケ又ハ是等ノ貨幣ノ一  
ヲ以テ辨償ヲ受クル事ヲ要約スルニハ同本性ノ貨幣ヲ以テ又ハ他  
ノ貨幣若クハ紙幣ニ於ケル其對價ヲ以テ實際同一ノ價額ヲ貸付シ  
タル事ヲ要ス

(栗坂曰)本條ハ報告委員ニテ同一ノ上ニアル實際ノ二字ヲ刪

リ同一ノ價額ヲ實際ニ貸付スル事ヲ要ストセリ(南部曰)他ノ  
貨幣若クハ紙幣ニ於ケル其對價ヲ以テト云ヘハ辨償ヲ受ケント  
スル貨幣ノ相場ニ對スル金額ヲ貸附シ置カサルヘカラス(元尾  
崎曰)金貨百圓ノ辨償ヲ受ケントシ當時金貨百三十圓ノ相場ナ  
ルヲ以テ紙幣百三十圓ヲ貸付シタリトセシニ其返済ノ場合ニ於  
テハ金貨百圓ヲ辨償スレハ格別若シ紙幣ヲ以テ返済セサルニ於  
テハ其際金貨百五十圓ノ相場ナルモ最初ノ百三十圓ヲ辨償スレ  
ハ足レルニアラスヤ(栗坂曰)然ラス(南部曰)辨償ノ際ハ其  
當時ノ相場ニ依ラサルヘカラス(尾崎曰)金貨辨償ノ契約ヲ紙  
幣辨償ニ更ントスルニハ最初借受ケタル金額即チ百三十圓ヲ返  
済スルヲ以テ足レルニアラスヤ(清岡曰)然カセシムルヲ得ハ  
金貨辨償ヲ要約シタル効ナカルヘシ(元尾崎曰)其對價ト云フ  
ハ貸附スル際ノ對價ナルカ辨償スル場合ノ對價ナルカ判然セサ



ルニアラスヤ（栗塚曰）貸附スル場合ニハ返済スル時ノ對價ヲ知ルヲ得ス

第八百七十九條 若シ貸借カ金銀塊ニテ爲サレタルトキハ借主ハ總テ其他ノ商品ニ關シタルトキノ如ク同本性、同重量、及ヒ同品質ノ金銀塊ヲ返還スル事ヲ要ス（第千八百九十六條、第千八百九十七條）

（栗塚曰）本條ハ報告委員ニテ同本性トアルヲ同一ノ本性トシ下ノ二個ノ同ノ字ヲ刪レリ（元尾崎曰）本條ハ如何ナル必要アルカ（栗塚曰）金銀塊ノ貸借ハ金銀塊ヲ以テ返済スヘシ金銀ノ通貨ヲ以テ返還スヘカラサルヲ示シタルモノナリ

第八百八十條 金銀、日用品又ハ商品ノ借主ハ使用ノ報酬トシテ元本ノ外利息ノ名目ヲ以テ借用シタル有價物ノ割合ニ應スル若干ノ金額又ハ有價物ヲ辨済スヘキ事ヲ約スル事ヲ得（第千九百五條）

（栗塚曰）本條ハ借用ノ下シタルヲ刪リ若干ノ、三字ヲ除去セリ

第八百八十一條 利息ハ要約セラレタルトキニ非サレハ借主ニ對シテ之ヲ要求スル事ヲ得ス

若シ借主ヨリ利息ヲ辨済スヘキノ合意アリテ其額ノ定ナキトキハ其利息ハ法律上ノ割合ニ於テ負擔セラル

借主ハ要約セラレサル利息ト雖モ法律上ノ設ケタル制限内ニテ任意ニ辨済シタルモノハ之ヲ還償セシムル事ヲ得ス又之ヲ元本ニ充當スル事ヲ得ス（第千九百六條）

（栗塚曰）本條ハ報告委員ニテ「於テ負擔セラル」トアルヲ從フトシ末項ハ冒頭ノ借主ハノ文字ヲ刪リ利息ト雖モトアルヲ利息ヲトシ法律ノ設ケタルトアルヲ法律上トシ辨済シタルモノハトアルヲ辨済シタル借主ハトセリ（尾崎曰）利息ヲ法律上ノ制

限外ニテ任意シ辨済シタルトキハ向後ト雖モ其利息ハ回收スル  
ヲ得ヘキカ如シ（南部曰）利息制限法アル以上ハ其効力然ラサ  
ルヲ得ス（尾崎曰）不可ナリ（元尾崎曰）利息制限法ハ緊束シ  
タル精神ニアラス（栗塚曰）本條ハ尙ホ次條ト照量ノ上得失ヲ  
議セラレタシ

第八百八十二條 合意上ノ利息ハ法律カ禁セサル場合ニ非サレハ法  
律上ノ利息ヲ超ユル事ヲ得ス（第一千九百七條）

若シ利息カ法律ノ許ス割合ヲ超ユル割合ニ於テ顯ニ定メラレタル  
トキハ其利息ハ法律上ノ割合ニ減スル事ヲ得ヘク其以外ニ辨済シ  
タルモノハ之ヲ元本ニ充當シ又ハ之ヲ還償セシム

若シ又債權者カ實際貸付シタル元本ヲ超ユル元本ヲ認知セシメ或  
ハ總テ其他ノ方法ヲ以テ右不正ノ利息ノ全部又ハ一分ヲ隠蔽セシ  
メタルトキハ其不正ノ利息ハ何等ノ部分ニ付テモ負擔セラレス若

シ之ヲ辨済シタルトキハ其全部還償セラレ（千八百七七年九月三日  
千八百五十年十二月十九日、千八百八十六年一月十四日ノ佛法律）  
（栗塚曰）本條ハ報告委員ニテ第一項ハ合意上ノ利息ハ法律上  
ノ利息ヲ超ユル事ヲ得ス但法律ノ禁セサル場合ハ此限ニ在ラス  
トセリ（清岡曰）但書ハ不必要ナリ（尾崎曰）法律上ノ利息ト  
云フハ如何（栗塚曰）年六歩ヲ法律上ノ利息ナリ合意上ノ利息  
ハ法律ノ許ス割合ヲ超過スル事ヲ得ストシテハ如何可決ス第二  
項ハ報告委員ニテ超ユル割合ニ於テトアルヲ超過シテトシ其利  
息ハノ四字ヲ除去シ法律上ノ割合ニ減スル事ヲ得ヘクトアルヲ  
法律ノ許ス割合ニ之ヲ減スル事ヲ得ヘクトシ第三項ハ何等ノ部  
分ニ付テモノ下負擔セラレストアルヲ辨済スルニハ及ハストシ  
其全部還償セラルトアルヲ全部ヲ還償セシムトセリ（元尾崎曰）  
法律ノ割合ヲ超過シタル利息ト雖モ既ニ辨済シタルモノヲ還

償セシムルト云フハ不種當ナリ（清岡曰）假令利息制限法ニ超過シタル利息ト雖モ已ニ辨済シタル以上ハ最早其利息ヲ回收スルヲ得ス（栗坂曰）已ニ不正ノ利息ニ屬スル以上ハ之ヲ回收セシメサルヘカラス（南部曰）利息制限法アル以上ハ其効力ヲ空シカラシムヘカラス（栗坂曰）尾崎委員ハ債權者已ニ領收シタル利息ヲ還償セサルヲ得サルハ痛憫ニ堪ヘサルト云フカ如シ其理由ニ乏シキ論説ト云ハサルヲ得ス（南部曰）此點ハ暫時未定ニ附シタシ其議ニ決ス

第八百八十三條 若シ貸主カ負擔セラレタル元本ノ全部又ハ一分ヲ受取り満期ノ利息ニ付キ留保ヲ爲サ、ルトキハ貸主ハ反對ノ證アルマテ其利息ヲ受取り又ハ之ヲ拋棄シタリト推定セラル（第九百八條）

（栗坂曰）本條ハ報告委員ニテ負擔セラレタル元本ノ全部又ハ

一分ヲ受取りタルヲ割リ留保ヲ爲サ、ルトキハ貸主ハトアルヲ留保ヲ爲サスシテ元本ノ全部又ハ一分ヲ受取りタルトキハトセリ（元尾崎曰）満期ノ利息ニ付キ留保ヲ爲サスシテトアルハ如何（村田曰）利息ニ付一言ヲモ留メス元金ヲ受取りタルトキハト云フ譯ナリ（元尾崎曰）利息ニ付キ留保ヲ爲サスシテ元本ノ全部又ハ一分ヲ受取りタルモ利息ニ付キ一言ヲモ留メス元本ノ一分ヲ受取りタルトキハ其利息ヲ受取り又ハ之ヲ拋棄シタリト推定セラル、ハ不當ニアラスヤ（南部曰）全部又ハ一分ト云フヲ記存セサレハ綿密ヲ欠クヘシ

第八百八十四條 若シ十個年ヲ超ユル時期ニ付キ利息附貸借ヲ爲シタルトキハ借主ハ如何ナル反對ノ合意アルモ十個年後常ニ之ヲ辨済スルノ權能ヲ有ス

然レトモ若シ年賦金カ利息ノ外元本ノ漸次償却ヲ包含スルトキハ

其取越辨償ヲ爲ス事ヲ得ス（伊民第千八百三十二條）

本條ハ時期ニ付キトアルチ時期ニテトセリ（元尾崎曰）本條第一項ハ假令ハ二十个年若クハ三十个年ノ期限ナルモ十个年ヲ經過スレハ之ヲ償却スルチ得ト云フ義カ（栗塚曰）然リ（横村曰）第二項ハ然レトモ利息ノ外元本ノ漸次償却ヲ包含スル年賦金ハトシテハ如何原案ニ決ス

第八百八十五條 第八百八十一條乃至第八百八十四條ノ條例ハ貸借ヨリ生シタルモノニ非サル金圓又ハ量定物ノ總テノ義務及ヒ合意上竝ニ法律上ノ利息ニ之ヲ適用ス

（元尾崎曰）貸借ヨリ生シタルモノニ非サルト云ヘルハ如何（南部曰）賣懸代金ノ如キモノチ云フ

#### 第二節 無期年金權ノ契約

第八百八十六條 利息附貸主ハ何レノ時ニ至ルモ元本ヲ要求スルノ

權利ヲ拋棄スル事ヲ得此場合ニ於テハ其契約チ「無期年金權ノ設定」ト稱ス（第千九百九條、第千九百十條）

此拋棄ハ明確ナル事ヲ要シ又ハ明ニ情況ヨリ生スル事ヲ要ス（栗塚曰）本條ハ報告委員ニテ第一項權利ヲ拋棄スル事トアルチ自カラ禁止スル事トシ第二項拋棄ハ禁止トセリ（尾崎曰）拋棄ト云フハ不可ナルカ（南部曰）拋棄ト云ヘハ元金ヲ拋棄スル如クナルチ以テナリ（横村曰）禁止トスルチ可トス（尾崎曰）何レノ時ニ至ルモト云フハ何ノ時ト雖モト云フ譯カ（南部曰）永久ニト云フ譯ナリ

第八百八十七條 無期年金權ヲ負擔スル借主ハ如何ナル反對ノ合意アルモ常ニ其受取リタル元本ノ辨償ヲ實行スル事ヲ得（第千九百十一條第一項）

然レトモ其借主ハ十个年ヲ超ユル事ヲ得サル或ル時期前ニ於テ右

ノ辨償ヲ實行セサル事ヲ約スル事ヲ得

右ノ約務ハ常ニ之ヲ更新スル事ヲ得然レトモ十ヶ年ヲ超エルヲ得  
ス若シ之ヲ超ユルトキハ十ヶ年ノ期限ニ短縮ス

辨償ハ反對ノ合意アラサルトキハ全部タル事ヲ要ス

債務者ハ六ヶ月前ニ其辨償スルノ意思ヲ債權者ニ豫告スル事ヲ要

ス但當事者ニ於テ他ノ期間ヲ定メタルトキハ此限ニ在ラス(第一千

九百一十一條第二項)

債務者自己ノ定メタル時期ニ於テ辨償セサルトキハ損害賠償ノ責

ニ任ス然レトモ辨償ニ強要セラル、事ヲ得ス但更改アルトキハ此

限ニ在ラス

(栗塚曰)本條ハ第一項元本ノ辨償ヲ實行スルトアルヲ元本ノ

辨償ヲ爲ストシ第二項ハ十ヶ年ヲ超ユル事ヲ得サルトアルヲ十

ヶ年ヲ超エサルトシ實行セサルヲ爲サ、ルトシ第五項六ヶ月前

ニノ下其ノ字ヲ刪リ(元尾崎曰)十ヶ年ノ期限ニ短縮ストアル

ハ恰モ利息制限法ノ利息ト同シク短縮サルルモ默々ニ經過シタ

ルトキハ何年間ニ渉ルモ不可ナキニアラスヤ(松岡曰)年金ハ

無期ナルヲ本則トス依テ十ヶ年ノ期限ニ短縮スルト云フハ刪除

スベシ(元尾崎曰)末項ノ然レトモ辨償ニ強要セラルル事ヲ得

ストアルハ如何(栗塚曰)強テ返済ヲ要求スルヲ得スト云ヘル

譯ナリ(元尾崎曰)損害賠償ノ訴ハ之ヲ爲シ得ルモ辨償ニ強要

セラル、事ヲ得スト云フハ結果ニ於テ其差異ヲ見ス(栗塚曰)

無期年金權ノ性質ニ於テハ須ラク如此ナラサルヘカラス

第八百八十八條 債務者ハ第四百二十五條ニ總テ債務者ハ法律上ノ

期限ノ利益ヲ失フト定メタル最初ノ三箇ノ場合及ヒ其他正式ノ付

過滞ノ後引續キ二ヶ年間利子ノ辨償ヲ缺キタル場合ニ於テハ元本

ノ辨償ニ強要セラル、事ヲ得(第一千九百十二條、第一千九百十三條)

此終ノ場合ニ於テ第四百二十六條ニ從ヒ債務者ニ恩惠期間及ヒ辨濟ノ分割ヲ許與スル裁判所ノ權利ヲ妨ケス

(横村曰)第四百二十五條ニハ權利上ノ期限トアルニ本條ニハ法律上ノ期限トアルハ如何(栗塚曰)何レモ同意義ナレハ同一ニ權利上トスヘシ(元尾崎曰)正式ノ付遲滯ト云フハ如何(栗塚曰)使丁ヲシテ催促狀ヲ送附セシムルカ如キ是ナリ(元尾崎曰)恩惠期間ト云フハ如何(栗塚曰)借金返済ニ付キ恩惠ノ期間ヲ與フルヲ云フ(元尾崎曰)權利上ノ期限ト法律上ノ期限トハ差異アルニアラスヤ(今村曰)權利上ノ期限ト法律上ノ利息トノ如キハ同シカラス

第八百八十九條 前二條ノ條例ハ不動産移付ノ代價又ハ條件トシテ設定シタル無期年金權ニ之ヲ適用シ又無價名義ニテ設定シタル無期年金權ニモ之ヲ適用ス(第五百三十條)

右孰レノ場合ニ於テモ辨償ハ當事者ノ間ニ評價セラレタル元本又其評價ナキトキハ利息ノ法律上ノ割合ニ從ヒテ計算シタル毎年ノ利子ヲ生スヘキ元本ヲ以テス(同上)

若シ利子カ日用品ナルトキハ元本ノ辨償ハ特別ノ合意アルニ非サレハ終ノ十ケ年間ノ右日用品ノ平均代價ヲ利息ノ基礎ト爲シテ右元本ノ辨償ヲ爲ス(一千七百九十年十二月十八日ニ議決シ同二十九年日ニ頒布シタル佛法律第三條)

(栗塚曰)本條ハ第三項ノ右日用品ヲ其日用品トシ利息トアルヲ利子トシ初項ノ不動産移付ノ代價又ハ條件トシテトアルハ報告委員ニテ不動産移付ノ報酬トシテトスヘシト云フ意見モアリシカ原書ニモ代價又ハ條件トシテトアレハ之ヲ敢テ改ムヘキ理由ナシト云フニアリ(清岡曰)十ケ年ノ日用品ノ平均代價ト云フハ長期ニ過クヘシ(元尾崎曰)西洋ノ如キ經濟社會ノ整頓シ

タルモノハ十ヶ年ノ平均モ敢テ變更ナカルヘキモ日本ノ經濟社會ニ於テ十ヶ年ト云ヘハ大ニ變狀ヲ呈スヘシ（清岡曰）五年トシテハ如何（橫村曰）十ヶ年平均ハ佛國民法ノミカ（栗塚曰）伊太利モ十ヶ年平均ナラン（西曰）法律上ノ割合ト云フハ法律ノ許ス割合トハ同シカラサルカ（栗塚曰）此點ハ法律上ノ利子即チ六分利子ヲ云ヘルモノナリ（元尾崎曰）終ノ十ヶ年ト云フニテ明カナルヤ（委員長曰）日本語ヲ以テ云ヘハ終ノトスルカ後ノトカ云ヘル文字ヲ用ユルヨリ外ナシ（元尾崎曰）終十ヶ年トアルハ前十ヶ年トセサレハ明カナラス可決ス

### 第十八章 使用貸借

#### 第一節 使用貸借ノ本性

第八百九十條 使用貸借ハ當事者ノ一方カ他ノ一方ノ使用ノ爲ノ之ニ動產物又ハ不動產物ヲ交付シ他ノ一方カ明示又ハ默示ニテ定メ

タル時期ノ後借受ケタル原物其物ヲ返付スルノ義務ヲ負擔スル契約ナリ（第八百七十四條、第八百七十五條、第八百七十七條、第八百七十八條）

此貸借ハ本來無償ナリ（第八百七十六條）

本條ハ報告委員ニテ一方カトアルチ一方ヨリトシ双務契約ノ如クナルヲ避ケシナリ（栗塚曰）使用貸借ハ人權ヲ得ヘキチ以テ借主ハ貸主ニ對シテ義務ヲ負擔スヘキモノニシテ片務契約ナルヘシ然ルニ起業者ハ貸主ニモ義務アル如ク記示セシハ擔着タルチ免レス又使用權アレハ使用貸借ハ必要アラサルヘキニアラスヤト云ヘハ二點チ以テ質問中ナリ（今村曰）使用權ヲ物權トシ使用貸借ヲ人權トセシモ實際上ノ差異ヲ見ス使用權ハ貸借ナリ使用貸借ハ貸借ニアラス貸借ト否ラサルトチ以テ物權ト人權トチ區別スヘキ理由ナシ又註釋ニハ使用貸借

チ片務契約トスルモ第八百九十一條ニハ貸主ニ對スル人權ヲ  
得取ストアリ人權ニシテ義務ノ成立セサルモノ天下殆ント其  
理ナシ以上ハ到底支吾タルチ免レス

第八百九十一條 借主ハ使用ノ物權ヲ得取セスシテ貸主及ヒ其相  
續人ニ對スル人權ノミヲ得取ス

借主ノ權利ハ其相續人ニ移ラス但相續人カ當事者ノ意思ノ右ト  
異ナレル事ヲ證スルトキハ此限ニ在ラス又相續人他ニテ右ト同  
一ナル物ノ使用ヲ求ムル爲メ裁判所ヨリ期間ヲ得ル事ヲ妨ケス  
（第一千八百七十九條）

（栗塚曰）本條ハ報告委員ニテ第一項ノ使用ノトアルチ使用  
ニ付キトシ物權ヲ得取セスシテトアル「シテ」チ「只」トシ  
相續人ニ對スルトアル「スル」チ劃リ第二項ノ「右ト」アル  
チ「之ニ」トシ右ト同一ナルトアルチ等シキトセリ（今村曰）

使用ニ付キト云フハ不可ナリ使用ノト云ハサルヘカラス可決ス  
（清岡曰）又相續人他ニテ云々トアルハ如何（栗塚曰）假令ハ  
借主ナル先人死去シタル爲メ直チニ回收サルルハ困難ナルニ付  
他ヨリ右ト同様ノ物品ヲ借受クルチ得ルマテハ前借物ヲ返還セ  
サルモノチ云ヘリ（元尾崎曰）使用貸借權ハ借主ノ相續人ニ移  
ラシムルチ可トス（栗塚曰）使用貸借ノ借主ノ相續人ニ移サル  
ハ三個ノ理アリ一ハ無償ナリ二ハ有期ノ性質ナリ三ハ借主チ借  
用セシナリト云フニアリ（委員長）曰等シキ物ノ使用ヲ求ムル  
爲メト云フハ恰當ナラス（尾崎曰）等シキ物ノ使用ヲ得ル爲メ  
トシテハ如何（清岡曰）等シキト云フハ同一ト云フチ可トス（  
栗塚曰）同一ト云フハ必ラス同形ナラサルヘカラサルカ如シ右  
ニ等シキト云フチ可トス（委員長曰）等シキ物ノ使用ヲ得ルト  
スヘシ可決ス



第二節 貸借ヨリ生シ又ハ貸借ニ關シテ生スル義務

第八百九十二條 借主ハ物ノ本性ニ因リ又ハ合意ニ因リ定マリタル使用ニ於テ且貸付セラレタル時間ニ於テノミ其借用物ヲ用ユル事ヲ要ス(第一千八百八十條)

借主ハ他ノ使用又ハ期限後ノ使用ヨリ生スヘキ滅失又ハ損壞ハ勿論又其使用力遑因ト爲リタル意外ノ滅失ニ付テモ其實ニ任ス(第一千八百八十一條)

(栗塚曰)本條ハ報告委員ニテ第二節ノ貸借ニ關シテトアルヲ第一項ハ貸借ニ際シテトシ借主ハノ下借用ノ二字ヲ挿入シ使用ニ於テトアルヲ使用ニ從ヒトシ且貸付セラレタルノ下時間ニ於テノミテ期限内ニ非ラサレハトシ其借用物ヲトアルヲ其物ヲトシ用ユル事ヲ要ストアルヲ使用ス可カラストシ第二項ハ損壞ノ下「ニ付テ」ト云フ字ヲ入レ其使用力遑因ト爲リトアルヲ其使

用ニ際シテ生シトセリ(元尾崎曰)第二項ハ其使用ニ際シテ意外ノ事又ハ不可抗力ヨリ生スル滅失云々トシタシ可決ス(村田曰)第八百七十五條ニモ意外ノ事又ハト云ヘルヲ入ルヘシ可決ス(村田曰)本條末尾ノ滅失トアリテ損壞ノアラサルハ不可ナリ(栗塚曰)滅失ト云ヘルニテ類推スルヲ得ヘキニアラスヤ(委員長)曰如此ハ凡テ此法律ノ文体如何ニ依ルモノニシテ或ル場合ニハ之ヲ詳記シ或ル場合ニハ省略スルハ不可ナリ(栗塚曰)然ラハ損壞ノ字ヲ挿入スヘシ可決ス

第八百九十三條 若シ借主カ自己ノ物ヲ用キテ借用物ニ右ノ滅失ヲ免カレシムル事ヲ得ヘキトキ又ハ自己ノ物ト借用物ニ共同ノ危險ニ於テ自己ノ物ヲ救護シタルトキハ其借主ハ亦意外ノ事又ハ不可抗力ヨリ生スル滅失ノ責ニ任ス(第一千八百八十二條)

(栗塚曰)本條ハ報告委員ニテ冒頭ノ若シトアルヲ除去シ借主

ハ若シトシ借用物ニ右ノトアル「ニ右」ノ二字ヲ削リ自己ノモ  
ノアルヲ自己ノ物及ヒトシ借用物ニトアルヲ借用物ノトシ危険  
ニ於テトアルヲ危険ニ際シトシ救護シタルノ下「ハ其借主ハ」  
トアルヲ削リ救護シタルモトシ又前修正例ニ依リ滅失ノ下ニ又  
ハ損壊ノ字ヲ挿入セリ（委員長曰）本條ハ借用物ノ滅失又ハ損  
壊シタルヲ云ハサルハ如何（南部曰）亦ハ前條ヲ受クルヲ以テ  
其意味ヲ顯ハスニ足ルヘシ（委員長曰）本條上ノ字面上ニテハ  
借用物ノ滅失又ハ損壊ノ實ト云フヲ見ル能ハス結局不可抗力ヨ  
リ生スルノ下へ借用物ノト云フ字ヲ挿入シ前條第二項モ使用ヨ  
リ生スヘキトアルヲ使用ヨリ生スル借用物ノトセリ

第八百九十四條 借主ハ借用物保持ノ通常費用ヲ負擔ス但貸主ニ對  
シテ還價ヲ求ムル事ヲ得ス（第一千八百八十六條）  
（栗塚曰）本條ハ報告委員ニテ保持ノ通常トアルヲ使用ニ關ス

ルトセリ（横村曰）使用ニ關スルト云フハ譬へハ車ヲ使用スル  
ニ油ヲ注クト云フ譯カ（栗塚曰）然リ（清岡曰）保持ト云フヲ  
可トス（委員長曰）馬匹ヲ借ルモ食物ヲ與ヘルノミナラス鐵履  
ヲモ附セサルヲ得サレハナリ即チ原案ニ決ス

第八百九十五條 借主ハ合意セラレタル時期ニ於テ其借用物ヲ返還  
スル事ヲ要ス又右ノ時期前ニ於テモ若シ許サレタル使用ヲ終リ又  
ハ貸主カ自ラ其物ニ付キ急要ニシテ且豫期セサル需用ヲ有スルト  
キハ其借用物ヲ返還スル事ヲ要ス（第一千八百八十八條、第一千八百  
八十九條）

若シ何等ノ時期ヲモ合意セサル場合ニ於テ物ノ使用ニ際限ナキト  
キハ裁判所ハ貸主ノ請求ニ因リ返還ノ爲メ適當ノ期間ヲ定ム  
（栗塚曰）本條ハ報告委員ニテ第一項合意セラレトアルヲ合意  
シトシ又右ノトアルヲ其トシ時期前ニ於テモ若シトアルヲ時期

前ト雖モトシ使用カトアルヲ使用ヲトシ終リノ下「タルトキ」ト云フヲ加ヘ其借用物トアルヲ之ト改メ第二項ハ合意ノ下ハ合意セス且物ノ使用カ繼續シ得ルトキハ云々トセリ（元尾崎曰）第二項ハ删除スヘシ（清岡曰）時期ヲ合意セス貸附シタルモノ、期間ヲ定ムルト云フハ必要ニアラス返付セサリシトキハ之ヲ裁判所ニ訴ヘテ可ナリ（村田曰）第二項ノ規定ナクンハ所有者ハ隨意ニ回收スヘキヲ以テ借主ハ不安心ナリト云フヘシ（元尾崎曰）凡ソ物ヲ貸付シタルトキハ必ラス裁判所ニ訴ヘサルヲ得スト云フハ不可ナリ遂ニ第二項ヲ删除（元尾崎曰）初項ノ需用ヲ有スルトアルハ需用ノ生シタルトキトシテハ如何可決ス

第八百九十六條 返還ハ借主カ物ノ第三者ニ屬スル事ヲ知ルトキト雖モ貸主又ハ其代人ニ之ヲ爲ス事ヲ要ス但返還ニ付キ第三者ノ正式ニ成シタル故障アルトキハ此限ニ在ラス

此終ノ場合ノ外返還ハ貸主ノ住所又ハ其代人ノ住所ニ於テ之ヲ爲ス

（栗塚曰）冒頭ノ返還ノ上ニ借用物ト云フ字ヲ加ヘテハ如何（清岡曰）其必要ナシ（元尾崎曰）代人ト云フハ總代理人ナルヘシ（栗塚曰）起案者ノ註釋ニハ未丁年者ノ後見人失踪者ノ管財人ニ返還スヘシトセシナリ

第八百九十七條 若シ數人カ連合シテ同時又ハ交替ニ用ユル爲メノ一箇ノ物ヲ借用シタルトキハ各自ハ他ノ者ト連帶ニテ前記ノ義務ヲ負擔ス（第千八百八十七條）

（栗塚曰）本條ハ報告委員ニテ交替ヲ交互ト改メ各自ノ下「ハ他ノ者ト」アルヲ删除レリ可決ス

第八百九十八條 貸主ハ其借用物保存ノ爲メシタル必要ニシテ且急要ナル出費ヲ借主ニ辨償スルノ責ニ任ヌ（第千八百九十條）

(栗塚曰)本條ハ報告委員ニテ其借用物トアルヲ借主カ借用物トシ出費ヲ費用トシ借主チ之トセリ(清岡曰)借主チ之トスルハ不可ナリ(村田曰)原案ノ通り借主トスヘシ可決ス

第八百九十九條 貸主ハ亦貸付物カ其瑕疵ニ因リ借主ニ加ヘタル損害ヲ之ニ賠償スルノ責ニ任ス但不表見ニシテ且貸主ノ知リタル此瑕疵ヲ借主カ知ラサルトキニ限ル

(栗塚曰)本條ハ起案者ニ質問中ナルヲ以テ意見書中ニハ修正ヲ呈セサルモ報告委員ハ貸付物カ其トアル其チ刪リ貸付物ノトシ借主ニ加ヘトアルヲ借主ノ受ケトシ但以下ハ但此瑕疵ハ不表見ニシテ貸主之ヲ知リ借主之ヲ知ラサルトキニ限ルトセリ

第九百條 借主ハ前二條ニ照リ己レノ受クヘキモノ、辨償ヲ得ルマテ借用物ニ付キ留置權ヲ行フ事ヲ得(第千八百八十五條)

(栗塚曰)本條ハ前條ヲ改正スルトキハ自ラ其修正ヲ要スヘシ

第十九章 寄託及ヒ保爭物寄託

第一節 真正ノ寄託

第九百一條 真正ノ寄託ハ一人カ他ノ一人ニ動産物ヲ交付シ他ノ一人之ヲ保存シ請求次第直チニ原物其モノヲ返還スル契約ナリ(第千九百十五條、第千九百十八條、第千九百十九條)

寄託ハ本來無償ナリ(第千九百十七條)

寄託ハ純然任意ノモノタリ又ハ已ムヲ得サルモノタリ(第千九百二十條)

(栗塚曰)本條ハ報告委員ニテ第一節ノ下真正ノ字ト又本條中ノ真正ノ字トチ刪リ一人カトアルチ一人ヨリトシ他ノ一人之ヲトアルチ他ノ一人カ之ヲトシ保存トアルチ遵守トセリ(横村曰)第二項「タリ」ノ文字ハ「アリ」トセサルヘカラス(栗塚曰)然ラス寄託ハニアラス寄託ニハトセサルヘカラス

第一款 任意ノ寄託

第九百二條 任意ノ寄託ハ寄託者カ寄託ノ時日、場所及ヒ受寄者其人ヲ自由ニ撰擇スル事ヲ得ル情況ニ於テ生スルモノナリ（第一千九百二十一條）

（栗塚曰）本條ハ報告委員ニテ情況ニ於テ生ストアルチ場合ニ於テ成トセリ

第九百三條 寄託ハ所有者ニ因テ爲サルル事ヲ事ルノミナラス尙ホ物ノ監守及ヒ保存ニ利益ヲ有スル各人又ハ是等ノ者ノ代人ニ因リ爲サル、事ヲ得

又寄託ハ無能力者ノ法律上ノ代人ニ因リ爲サル、事ヲ得（第一千九百二十二條）

（栗塚曰）本條ハ報告委員ニテ第一項ノ所有者ノ下「ニ因テ爲サル、事ヲ得ル」ト云フチ圖リ是等ノ者ノ下アルチ其トシ代人

ヲ代理人トセリ（元尾崎曰）代理人ニ因リ之ヲ爲ス事ヲ得トスヘシ可決ス又第二項ハ代人ニ因リトアルチ代人ヨリ之ヲトセリ

第八百八十二條 （橫村曰）既ニ合意ヲ以テ支拂フタル利息ヲ制限法内ニ束縛シ制限外ノ部分ヲ回收スルチ得セシムルハ不可ナリ（南部曰）利息制限法アラサレハ格別有シクモ其法アル以上ハ之ヲ遺脱スヘカラス又裁判所ニ於テ制限以外ノ利息ハ不當ノ利息ナルチ以テナリ之ヲ回收セシノサルベカラス（元尾崎曰）任意ニ支拂フタル利息ヲ制限以外ニ屬スルモノトシテ回收セシノサルチ得サルモノトスレハ恰モ任意ヲ以テ人ニ放蕩シタルモノヲ回收スルカ如シ豈不理ト云ハサルヘケンヤ（清岡曰）現行ノ利息制限法ハ禁罰法ニアラスシテ微弱ナル制限法ニ過キサレハ其制限法ヲ以テ嚴酷ニ使用スルハ甚不可ナリ（栗塚曰）現行ノ利息制限法ヲ以テ民法ノ範圍内ニ於ケル制裁力ニ依ラシムルノ

可否ハ政治上ノ觀察ナリ民法ニハ利息ニ正當ノ利息ト不當ノ利息トノ二類アルヲ以テ不當ノ利息ハ假許スヘカラスト云フニアリ(尾崎曰)既ニ支拂フタル利息カ制限外ニ屬スルモノハ尙後利息拂ノ場合ニ於テ前ニ支拂フタル制限外ノ利息ヲ回收スルヲ得ヘシ依テ此規定ハ記存セサルヲ可トス(委員長曰)被告ハ任意ノ契約アル利息ヲ拂ヒ來リタルニ半途ニ於テ拂止ノタルヲ以テ原告ヨリ之ヲ裁判所ニ出訴シタルトキ利息制限法以內トスレハ其出訴ノ當時ハ既ニ借金ニ對スル利息ヲ拂ヒ了リタルノミナラス拂過シノ分アルトキハ如何(尾崎曰)拂過シノ利息ハ元金ニ充當スルモ可ナリ又償還セシムルモ可ナリ(委員長曰)元利皆済證文ノ返還ヲモ得タル後チニ至テ已往ニ溯リ償還セシムルヲ得ルハ不當ナルニアラスヤ(栗塚曰)用收權ハ年々ノ期限ヲ以テ支拂フヘキモノナレハ各年期限ヲ滿了スルヲ以テ皆済シタ

民事三ノ一九二

ル利息ニ溯ル事ヲ得サルモノトスレハ不都合ニアラスヤ(委員長曰)合意上チ以テ支拂フタル利息ハ取奪シタルモノニアラサレハ奸惡ナルモノト見ルヲ得ス(栗塚曰)然ラハ但元利皆済ノトキハ此限ニアラストシタシ(南部曰)其但書ハ不可ナリ(委員長曰)民法ヲ論スルニハ刑法ヲ論スルカ如ク階論スヘキモノニアラサルヘシ(栗塚曰)報告委員ハ此時効ヲ短縮ニシテハ如何ト云フニアリ(清岡曰)元利皆済シタルモノハ此限ニアラストスレハ可ナリ時効ヲ短縮スルハ不可ナリ(委員長曰)第八百十一條ニ任意ニテ辨濟シタルモノニ付テハ取戻ス事ヲ許サストアルハ如何(栗塚曰)賭博ハ双方害惡ナルモノナレハ敗給セシ者ヲ保護スルノ道理ナカルヘシ(委員長曰)時効ヲ短縮シテハ如何(元尾崎曰)一旦結了シタル貸借ニ係リ訴訟ヲ起サシムルハ不理ナリト云フニアレハ時効ハ假令一日トスルモ不可ナリ(栗

塚曰一合意ノミチ正トスレハ民法上ニ不當ノ利益ナシ(委員長曰)時効ヲ短縮ニ附スルカ但シ元利皆済シタルトキハ此限ニ在ラストスルカノ二點ニ付キ起案者ニ質問スヘシ

第九百四條 契約スル事ニ付キ完全ノ能力ヲ有スル者ニ非サレハ寄託ヲ受クル事ヲ得ス(第一千九百二十五條)

然レトモ無能力者ハ仍ホ自己ノ手裏ニ存スル寄託物又ハ寄託ニ因テ利ヲ得タルモノ、價額ノ返還ニ付キ民事上責ニ任ス但背信ノ場合ニ於テ刑事ノ訴ヲ爲スヘキトキハ之ヲ爲ス事ヲ妨ケス(第一千九百二十六條)

(栗塚曰)本條ハ報告委員ニテ第一項冒頭ニ寄託ハノ三字ヲ冠シ寄託ヲ受クル事ヲ得ストアルチ之ヲ受クル事ヲ得ストシ第二項寄託物ノ下ニ返還ノ二字ヲ入レ刑事ノ訴トアル下欄アルトキハ之ヲ行フ事ヲ妨ケストセリ(元尾崎曰)無能力者ニ寄託シタ

ルモノハ無能力者之ヲ消費シタルトキハ取戻シスルヲ得サルカ(栗塚曰)然リ(元尾崎曰)假令ハ暫時小童ニ附託シタルニ其小童之ヲ消費シタルトキハ如何(村田曰)小童ニ附託シタル場合ノ如キハ別事タルヘシ

第九百五條 受寄者ハ受寄物ノ監守及ヒ保存ニ付テハ自己ノ財産ニ加フルト同一ノ注意ヲ加フル事ヲ要ス(第一千九百二十七條、第一千九百三十三條)

然レトモ若シ受寄者自ラ求メテ寄託ヲ受ケ又ハ寄託カ單ニ受寄者ノ利益ノ爲メ且需用ノ場合ニ於テ受寄者ニ物ノ使用ヲ許ス爲メ爲サレタルトキハ受寄者ハ善良ナル管理者ノ注意ヲ加フルノ責ニ任ス(第一千九百二十八條)

(栗塚曰)本條ハ報告委員ニテ第二項ノ利益トアル下「テ目的トシ其」ト云ヘル六字ヲ入レ受寄者ニトアルチ之ニトセリ(尾

崎曰)需用ノ場合ニ於テ之ニ物ノ使用ヲ許ス爲ノトアルハ如何  
(栗坂曰)需用アル場合ニハ此物ヲ使用スヘシト云フ義ナリ(尾崎曰)需用ノ場合ヲ云ハサルモ可ナリ(南部曰)需用ノ場合ト云フヲ存セサレハ使用貸借ニ等シカルヘキヲ以テナリ

第九百六條 前條ニ豫定シタル終ノ場合ニ於テ受寄者カ物ヲ使用シタルトキハ第八百九十三條チ之ニ適用ス

總テ其他ノ場合ニ於テ若シ受寄物及ヒ受寄者ノ物カ共同ノ危險ニ罹リ受寄者其一ノミチ救護スル事ヲ得ルトキ受寄物ノ價額カ著シク超ユルニ於テハ之ヲ救護スル事ヲ要ス但自己ノ物ノ價額ノ賠償ヲ受クル事ヲ妨ケス

(横村曰)之ニ適用スト云フ之ニハ不用ナルヘシ可決ス(横村曰)第二項但以下ハ綿密ニ失シ人情習慣ニ反スヘシ(元尾崎曰)但以下ノ如キハ健訟ノ弊風ヲ惹起スルノ害アリ(尾崎曰)第

二項ハ全刪シテハ如何(栗坂曰)但以下ノミチ刪除スヘシ然ルニ強テ此二項ヲ全刪セントナラハ本條ヲ刪リ初項ハ前條第二項ノ下ニ接屬シ但此終ノ場合ニ於テ云々トスルヲ可トス可決ス

第九百七條 返還スル事ノ遲滯ニ付セラレタル受寄者ハ普通法ニ從ヒ意外ノ滅失又ハ不可抗力ニ因ル滅失ノ責ニ任ス(第一千九百二十九條)

本條ハ意外ノ滅失ヲ意外ノ事トセリ

第九百八條 寄託者カ受寄者ニ寄託物ノ本性ヲ隱秘シタルトキハ受寄者之ヲ知ラント求ムル事ヲ得ヌ又如何ナル場合ニ於テモ他人ニ之ヲ知ラシムル事ヲ得ヌ但損害アルトキハ其賠償ヲ爲ス(第一千九百三十一條)

本條ハ報告委員ニテ受寄者之ヲ知ラント求ムルヲ得ヌ云々トアルヲ受寄者之ヲ探求スヘカラス又寄託者其本性ヲ知ラシムル場



合ニ於テモ受託者之ヲ他人ニ泄ス事ヲ得ス但損害アルトキハ其賠償ヲ爲ストセリ(尾崎曰)但損害トアルモ漏泄シタル事ヲ示ササルハ如何(清岡曰)又寄託者以下ハ又其本性ヲ寄託者ノミニ知ラシメタル場合ニ於テモ之ヲ他人ニ泄ス事ヲ得ス若シ之ヲ泄ラシタルカ爲メ損害アルトキハ賠償ノ責ニ任ストスヘシ可決ス

第九百九條 受寄者ハ受寄物ヲ使用スル事ヲモ又其果實ヲ消費スル事ヲモ得ス但此カ爲メ寄託者ヨリ明示又ハ默示ノ許諾ヲ受ケタルトキハ此限ニ在ラス(第九百三十條、第九百三十六條)

此許諾ハ寄託ニ使用貸借ノ性質ヲ與フルニ足ラス  
(栗塚曰)本條第一項ハ報告委員ニテ許諾ヲ受ケトアルヲ許諾アリトセリ(南部曰)消費スル事ノ下「ヲモ」ハ不用ナルニアラスヤ此儘ニ可決ス

第九百十條 受寄者ハ其收取シタル果實及ヒ產物ト共ニ又ハ果實及ヒ產物ヲ金圓ニ換ヘサルヲ得サリシトキハ其代價ト共ニ原物其モノヲ返還スル事ヲ要ス但前條ニ豫定シタル場合ニ妨ケナシ(第九百三十二條、第九百三十六條)

若シ受寄者カ物ニ付キ或ル債金ヲ受取り又ハ或ル權利若クハ利益ヲ得取シタルトキハ之ヲ寄託者ニ移轉スル事ヲ要ス(第九百三十四條)

若シ受寄者カ故意ニテ受寄物ヲ消費シ移付シ又ハ隱物シタルトキハ遲滞ニ付セラレル事無クシテ當然總テノ損害賠償ノ責ニ任ス但背信ノ爲メノ公斷ヲ妨ケス

(橫村曰)果實產物原物ト云フハ如何(栗塚曰)產物ハ家畜ノ產出スル子ノ如キモノヲ云ヒ原物ハ家畜其モノヲ云ヒ果實ハ果物ヲ云ヘリ(村田曰)末項隱物ト云フ字ハ擲移出納ト云フ意味

ナレハ隱物ニテハ妥當ナラス（元尾崎曰）隱物ニテ可ナリ（栗塚曰）稀移出納ト云ヘハ意味狹隘ナルヲ以テ隱物トスルヲ可トス又第一項豫定シタルハ定メタリトセリ可決ス

第九百十一條 若シ受寄者ノ相續人カ寄託ヲ知ラスシテ寄託物ヲ消費シ又ハ移付シタルトキハ相續人ハ因テ得タル利益ノ額ニ滿ツルマテ其實ニ任ス（第一千九百三十五條）

右ノ條例ハ遺忘又ハ混淆ニ因リ自己ノ物ト思量シテ寄託物ヲ處分シタル受寄者ニ之ヲ適用ス

本條ハ報告委員ニテ第一項又ハノ下ニ之ヲト云フ字ヲ入レ相續人ハト云ヘルヲ刪リ第二項混淆ヲ錯誤トセリ相續人ハ刪除セサルニ決ス

第九百十二條 寄託物ノ返還ハ寄託者若クハ其相續人又ハ其法律上若クハ合意上ノ代人ニ之ヲ爲ス事ヲ要ス（第一千九百三十七條、第

千九百三十九條乃至第一千九百四十一條）

無異議

第九百十三條 返還ニ付キ場所ノ定ナキトキハ受寄者カ寄託物ヲ移置シタルトキト雖モ詐偽ナキトキハ其寄託物ノ現在ノ場所ニ於テ其返還ヲ爲ス（第一千九百四十二條、第一千九百四十三條）

無異議

第九百十四條 寄託者ノ請求次第物ヲ返還スヘキ受寄者ノ義務ハ左ノ場合ニ於テ止ム

- 第一 若シ受寄者カ其物ノ已レニ屬スル事ヲ證スル事ヲ得ルトキ
- 第二 若シ受寄者カ次條ニ從ヒ留置權ヲ行フヘキ場合ニ在ルトキ
- 第三 若シ渡方差押即チ返還ニ對スル故障カ正式ヲ以テ受寄者ニ告知セラレタルトキ

第四 若シ受寄者カ其物ノ盜マレタルモノナル事ヲ發見シテ其所

有者ヲ知ルトキ此場合ニ於テハ受寄者ハ所有者ニ寄託ヲ告發シ  
相應ノ期間ヲ定メテ寄託者ト立會ノ上物ヲ要求スヘク若シ此期  
間ヲ過キテ所有者カ來到セサルトキハ寄託者ニ返還ヲ爲スヘキ  
旨ヲ備告スル事ヲ要ス(第千九百三十八條、第千九百四十四條  
第千九百四十六條)

(栗塚曰)本條ハ報告委員ニテ第二ハ「ヘキ」ノ二字ヲ關リ第  
四ハ發見シテトアルヲ發見シ且トシ相應ノ上ニ且定メタルノ五  
字ヲ加ヘ期間ヲ定メテトアルヲ期間内ニトシ來到セサルトアル  
ヲ來ラサルトセリ(横村曰)第四ノ其物ノ盜マレタルモノナル  
事ト云フハ妥當ナラス(栗塚曰)其物ノ盜贓ナル事トシテハ如  
何(村田曰)原案ノ儘ヲ可トス(尾崎曰)然リ(村田曰)寄託  
ヲ告發シトアルハ寄託ノ事實ヲ通知シテハ如何(尾崎曰)  
寄託アリタル事ヲ通知シトスヘシ(清岡曰)寄託ヲ通知シトス

民草三ノ一九七

ヘシ(西曰)寄託アリタル事ヲ通知シテハ如何(元尾崎曰)  
所有者ニ寄託アリタル如クナルヲ以テ不可ナリ結局寄託ノ事ヲ  
通告シト云フニ決ス(横村曰)寄託ノ事ト云ヘル上ニ其ト云フ  
字ヲ入レテハ如何(南部曰)必要ナシ(元尾崎曰)此場合以下  
ヲ同號中ノ別項ニシテハ如何可決ス

第九百十五條 寄託者ハ物ノ保存ノ爲メ受寄者ノ爲シタル必要ノ出  
費ト物カ受寄者ニ加ヘタル損害トチ之ニ賠償スル事ヲ要ス(第千  
九百四十七條)

右ノ償金ノ皆濟ヲ受タルマテ受寄者ハ寄託物ニ付キ留置權ヲ行フ  
事ヲ得(第千九百四十八條)

本條ハ報告委員ニテ第一項必要ノ下ハ「費用ト物ヨリ受寄者ノ  
受ケタル云々」トセリ(元尾崎曰)物ヨリ受寄者ノ受ケタルト  
云フハ如何(栗塚曰)受託物ヨリ受ケタルモノナリ假令ハ病馬

チ寄託サレタル爲ノ受託者ノ他ノ馬ニ其病ノ傳染シ損害ヲ受ケ  
シカ如シ(元尾崎曰)病馬ノ如キハ其害ヲ豫知スルヲ得ヘキモ  
寄託馬驚逸ノ爲ノニ損害ヲ及ホスカ如キハ寄託者モ之ヲ豫知ス  
ルヲ得サルヘシ(横村曰)起案者ノ註解ニテハ馬僻ヲ豫告セス  
惹起シタル害ハ寄託者之ヲ償ハサルヘカラスト雖モ寄託者ノ意  
想外ニ出ツル者ハ之ヲ償フノ責ナシト云フニアリ(栗塚曰)本  
條ハ第八百九十八條及ヒ第八百九十九條ノ意味ヲ合一ニシタル  
モノナリ(元尾崎曰)受寄者ハ受託ニ任スルニハ利益アルヘシ  
(南部曰)受寄者ハ利益ヲ得ルモノニアラス(尾崎曰)物ヨリ  
トアルハ物ノ瑕疵ヨリトセサルヘカラス(村田曰)瑕疵ト云フ  
モ其瑕疵カ受託前ナルカ受託後ナルカヲ知ルニ苦シムヘシ(元  
尾崎曰)瑕疵ノ受託前ヨリ存セシ事ヲ明記スヘシ(南部曰)瑕  
疵ヲ入ルルハ不可ナリ(栗塚曰)寄託ハ無償ナルヲ以テ受託者

民事三ノ一九八

ニ損害アリシトキハ寄託者ハ其損害ヲ償ハサルヘカラス結局物  
ヨリ受寄者ノ受ケタルトスルニ決ス

第二款 已ムヲ得サル寄託及ヒ旅店ニ於ケル寄託

第九百十六條 寄託者カ火災、洪水、難船、地震、暴動ノ如キ不可  
抗ニシテ且不測ノ事變ニ因リ寄託ヲ爲スニ強要セラレタルトキハ  
其寄託ハ「已ムヲ得サル寄託」ト稱セラル(第九百四十九條)  
已ムヲ得サル寄託ハ總テノ方法ニ因リ又情況ヨリ生スル事實ノ推  
定ニ因テモ之ヲ證スル事ヲ得(第九百五十條)  
其他已ムヲ得サル寄託ハ任意ノ寄託ノ規則ニ從フ但背信ノ場合ニ  
於テハ刑法ニ記載シタル刑ノ加重ヲ妨ケス(第九百五十一條)  
(栗塚曰)本條ハ報告委員ニテ第一項其寄託ハ止ムヲ得サル寄  
託トアルヲ其寄託ハ已ムヲ得サルモノト稱ストシ第二項ハ但以  
下ヲ刪除セリ(横村曰)其寄託ハ已ムヲ得サル寄託ト稱ストス